

# 2020年 四季折々【19】

## ■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2020

【神戸で 思いつくまま From Kobe 2020】

コロナ禍に振り回された一年 コロナ禍収束はみんなの願い  
スクラム組んでこの危機をのりこえよう!!

高齢者の劇定化 命の危機が我が身に迫る  
 「密閉・密接・密集の「3つの密を意識した自制の実践」  
 「うつらない うつさない」  
 マスク・手洗い・三密空間に近づかない  
 コロナに負けるな!! 自己の行動節制の毎日  
 仲間にも思いを馳せています





しほらくは  
離れて暮らす  
コロナ  
つぎ逢ふ時は  
君といふ  
なかに

仲間がいる 仲間の笑顔はみんなの応援歌!!  
 お互いスクラム組んで 今を元気に  
 God be with You!!  
 from Kobe Mutsu Nakanishi



By Mutsu Nakanishi

# 2020 年和鉄の道・Iron Road を振り返って *by Mutsu Nakanishi*

2020 年掲載 和鉄の道 9 件 風来坊 10 件 四季折々 From Kobe 8 件

2020 年は何といても世界的大流行を引き起こしているコロナ禍に振り回された 1 年。未だ終息の見通しが立たず。切実にわが身の生命の危機を感じたことはなし。感染防止の常時マスクをつけての「3密」行動自己規制の家籠り。中国・アメリカ・欧州では軒並み 都市封鎖・ロックダウン。日本でも外出自己規制・商店の営業規制ならびに学校や老人施設・病院などクラスター発生に伴う閉鎖等厳しいコロナ封じ込め策がとられ、医療従事者の懸命な治療が続いています。



ですが、まだ道半ば。もう経済も町も人も世界的にどこもかしこも日頃の暮らしがいつ取り戻せるのか見通しが立たぬ状況にある。コロナが終息してももとは戻れず、ポストコロナの新しい変革の時代にいやおうなしにさらされるだろう。一方、世界はモノづくりの時代からグローバル・情報通信の高度情報化社会 効率とスピードそしてあくなき利潤追求の強欲資本主義と呼ばれる時代が進んでいる。気が付いてみると格差が広がり、人が取残される厳しい時代に。この間に世界では中国が飛躍台頭し、GAFA と呼ばれる一握りの巨大世界企業群に利益が集中し、牛耳られる時代に。この GAFA が席卷するのは情報通信に IT・AI を駆使するプラットフォーム。

G AFA の利益はほかには波及せず。よく言われる利益のトリクルダウンは生じない。強欲資本主義も頂点に。彼らが大きくなればなるほど人の居場所がなくなる。その兆候はすでに始まり、格差社会の急伸が表れ始めている。世界の指導者はグローバル化から自国第一主義に転じ、また GAFA の規制に乗り出しているが、GAFA に対抗できるのだろうか??? そんな中で起きたコロナ禍による世界的な経済・社会破壊にさらされている。

また 地球温暖化による自然災害も世界規模で凶暴で牙をむきた。口先でクリーンエネルギー投資などと唱えるだけではどうにもならず。先の国際化の波の中で投資がおろそかになった国土やモノづくりは疲弊しきっている。

いやおうなしに新しいイノベーションを伴う社会構築に踏み出すことが必要であろう。

今の老獪な年寄り指導層ではどうにもならぬ。そのほころびは既に日本の科学技術の遅れ、モノづくり企業の著しい競争力低下(特に日本の中核を担ってきた大企業の没落) 教育の低下等々・・・。

出でよ!! フレッシュな若者たち!! である。かつて「まずは やってみなはれ!!」と教えてくれたリーダー達。「みたり 聞いたり ためしたり」と突っ走り、モノづくり革命を成し遂げた若者たち。その熱気と爽快感を今の若者たちへ。情報・通信革命で手に入れた若者たちが果実を 自己から外へ目をふり向ければ、必ずや この時代を切り開くイノベーションが生まれる。若者たち 前向いて突っ走れ!! とエール!! を送る。

私のライフワークとして、ずっと取り組み、多くの人たちに教えてもらってきた和鉄の道。

ユーラシア大陸の西端で生まれた「鉄」がユーラシア大陸の草原の道を東遷して日本にまで伝わった。

「鉄の起源・ユーラシア大陸アイアンロード」その先々で、新しいイノベーションを糧に新しい鉄文化を作りだし、今に続いている。鉄の惑星地球36億年 地球の上で、繰り広げられてきた鉄の歴史・鉄と人のかかわりの歴史です。そこには「ヒューマン」と呼ばれる互いが互いを思いやる心の歴史があり、それこそ人類が生き延びてきた道だと示している。 そんなことを強く感じつつ、見聞したことを書き綴った2020年でもありました。

コロナ禍の中で、好奇心いっぱい訪ね歩いた「和鉄の道・Iron Road」&「風来坊・Country walk」そして そんな中で、見聞きし、頭に浮かんだことをそのまま書き綴った「四季折々 From Kobe」

全く独りよがりの気の向くままの風来坊ですが、一年を通してみ見ると また新たな顔も見えてくる。

何はともあれ、コロナが早く終息することを祈ります。

また、ここ数年 親しい仲間が次々と先立って旅立って、そんな仲間を思いしのぶことも多くなりました。

この一年 私にとっては喜寿になり、頭は回らなくなりましたが、多くの方々 仲間を支えられ、健康で元気に動けること本当に感謝です。まだまだ 好奇心はある。足も動く これからも元気に前向いてと。よろしくお祈りします。

なにか 毎度くどくど同じことを書いているようでご免なさい。 God be with You!!

2021.1.5. 2020年の資料を前に いろいろ思い浮かべつつ

Mutsu Nakanishi

以下に2020和鉄の道 home page のトピックスから 1 年を振り返りました。

# 2020年 和鉄の道 Iron Road トピックス

## 2020年和鉄の道掲載記事 9件

### 1. 「鉄の起源・鉄の伝播探求<< ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道 Metal Road >>

私のライフワーク <<和鉄の道・たたら探訪>> 「鉄」をキーワードに Country Walk

その中心Itemの一つが鉄の起源と日本のたたら製鉄の源流 鉄の日本への伝播経路の解明

「鉄の起源・ユーラシア大陸の東西を結ぶ金属器&鉄文化東遷の道」探求 2009~2019

愛媛大学東アジア古代文化研究センターが村上恭通センター長を中心として、2007年以來10数年推進してきたユーラシア大陸諸国との共同連携プロジェクト。毎年その成果報告会が国際シンポジウムとして開催されると知って、毎年聴講させていただき、報告される新しい成果に胸わくわくで聴講記録を取らせていただきました。

この毎年の聴講記録を一冊に集成し、系統的に読み出せる記録として、私蔵版の電子Book化させていただきました。

### 「鉄の起源・鉄の伝播探求<< ユーラシア大陸を東西に結ぶ鉄の道 Metal Road >>

人口鉄の起源聴講記録	2007~2019 7件 + 関連和鉄の道掲載記事2件の合計9件
ユーラシア大陸の東西を結ぶ 金属器&鉄文化東遷の道聴講記録	2007~2019 13件 + 関連和鉄の道掲載記事4件の合計17件



- ◎ たたら製鉄の源流 塊煉鉄法の製鉄技術がユーラシア大陸の草原ステップ地帯を東遷して、中国・日本にまで伝播する様子が製鉄遺跡の遺構・遺物で草原の道として明らかになった。  
砂漠地帯のオアシスをつなぐシルクロードも考えられるが、人・物・製鉄炉・採業が連続的につながらねば技術伝播が繋がらぬことを考えるとむづかしく、通商路と伝播路の違いがあると考えられる。
- ◎ これらの調査の中でユーラシア大陸中央草原の支配者 遊牧の民 匈奴の功績は大きく、略奪国家と見られたモンゴル帝国は製鉄技術を有し、大量の強靱な鋼製武器を有する鉄の大帝国。  
遊牧の民モンゴルが中国「前漢」と対峙する大帝国との姿も明らかになった。

長年にわたる関係各国共同の現地発掘調査等に基づく遺構・遺物の積み重ねによる数々の多くの発見と知見すでに、その都度和鉄の道・Iron Roadに掲載してきましたが、聴講記録を一冊にまとめることができ、すべての成果を系統的に読み出せるようにできました。うれしい一区切りに。

村上先生ほか聴講記録を取らせていただきましたプロジェクトメンバーの皆様には本当に感謝です。

また、本年4月NHKBS「アイアンロード~知られざる文明の道~」(前・後編)として、本プロジェクトの成果を中心とした番組が美しい映像放映されました。併せて、私にとってはうれしい私蔵記録となりました。

また、ユーラシア大陸鉄文化東遷の道となったステップ地帯の草原の道の個々で新しい鉄のイノベーションを生み出し、新しい鉄文化をその地に根付かせつつ伝播していったことも特筆される。

特にモンゴルと前漢との激突の中で、それぞれが鉄の大量生産と強靱化両立の新しいイノベーション。

それが新しい社会を切り開き、現在の製鉄のベースにあることも特筆すべき発見。そして、日本に伝来した鉄も同じく、「人とモノが行き交う交易ネットワーク」を作りだし、弥生の新時代を生み出した。

## 2. 「弥生時代は500年さかのぼれる」ことがもたらした衝撃の新弥生時代の時代感

弥生時代水田稲作の始まりはBC9世紀 北部九州で鉄器のない水田稲作からBC4世紀鉄器による水田稲作へ  
 〈新〉弥生時代時代感の変更 弥生時代は「イネと鉄」の文化から「イネと石」の文化への転換

「縄文は平和 弥生は戦さ」の時代認識は過去のもの 心優しき日本人の気質は今にまで受け継がれている



### 水田稲作の始まり 縄文人と弥生人が共生していた大阪湾猪名川河口弥生の集落群 口酒井・田能・勝部遺跡ほか 弥生の村から縄文顔の土偶出土 神戸市西区 玉津田中遺跡の発掘現場 171号地点を訪ねる

コロナ禍の中で、人類が幾多の困難を克服し、乗越えてきた原動力は「他人を思う心・ヒューマン」  
 そして、「日本人の心の故郷 縄文 心優しき縄文人」「鉄とともに水田稲作の弥生時代・弥生時代は戦の時代」

とのフレーズ。でも「大阪湾沿岸では弥生人縄文人が共生して水田稲作を広げていった」との和鉄の道の記事も掲載しました。そして「弥生時代は少なくとも500年遡れる」ことが発表されてもう10数年。新しい時代感が言われる一方、「弥生は鉄と水田稲作そして戦の時代」の弥生の時代感が根強く残っている。

コロナ禍の中 心優しき縄文人 日本の縄文を世界遺産に!! と言ってきたこともあって「弥生の戦」がずっと引っかかて来た。

「日本の心の故郷 心優しき縄文」から「日本の心の故郷 心優しき日本人」と言いたい。

弥生遺跡の話が出るといつも「縄文と弥生の共生」が気になった。

2020年西神戸の弥生の大集落田中遺跡から縄文の顔をした弥生の土偶が出土。また、弥生人と縄文人が共生していたと知られる口酒井遺跡ほか猪名川河口の弥生の集落遺跡群の人骨・墓からみた縄文・弥生人の共生を調べた展示が田能遺跡で開催。

引っかかっていた新弥生時代の時代感 もう一度しっかり確認して古い弥生の時代感を払拭したいと。そんな思いを込め藤尾慎一郎氏著「〈新〉弥生時代 -500年早かった水田稲作-」を教科書に新弥生時代の年代と時代感の整理。

併せて、縄文の顔をした弥生の土偶が出土した弥生の大集落田中遺跡と弥生人と縄文人が共生していたと知られる口酒井遺跡ほか猪名川河口の弥生の集落遺跡群 walk の記事掲載。

縄文人も弥生人もみんな心優しき日本人 日本の心の故郷だと。

またこのコロナ禍の中で お互い共生の中で8000年もの長い永続社会を作った日本の縄文のユネスコ世界遺産登録になることを願っています。





コロナ禍による「3密」防止の自己行動規制によって、遠くに出られず。

同窓会も落語会も仲間の飲み会もみんな中止 毎年の母校の高校野球観戦も 総合運動公園のイベントも  
プロ野球もラグビーも観客制限で 神戸の街の華やかなイベントもアウト そして ついに年末のルミナリエまで 秋にはコロナ終息の根拠税むなく いまだに終息見通せず。唯一は 西六甲に近い我が家 春夏秋冬 せつせとコースを変え  
また、今年ほど季節感がずれたのも気になります。

毎年兵庫西神戸の風物詩として 紹介してきた四季折々の花は外れればなし。

これもコロナのせい??? いやいや 地球温暖化で地球全体が少し変わってきたようだ。

これだけ狂ってきたら季節はどうなるのやら…気象庁も鳥や花・木で季節感を知らせてくれていたのを来年から大部分発表  
から削除するという。それはないよ

ああ 鶯鳴いた・セミ泣いた・目白につばめ・鶉も来る。 春の訪れ 水仙・蟬梅・梅・桜・菜の花・つつじ・石楠花・レンゲ・春のバラそしてアジサイ・夏の高山植物・朝顔・ハオハブ そして秋 稲穂・彼岸花に蕎麦の花・コスモス・秋のバラ・野路菊 そして 柿の実に野鳥そして紅葉が始まるとイチョウに山茶花・椿の冬到来

毎年楽しい季節の移ろいもどう変わるのでしょか… これから 咲く時期はもっと複雑になるのでしょうか…

まだまだ好奇心も健在の毎日 walk。でも 早くコロナが終息するよう。

みんな コロナに負けずに乗り越えよう!!

1. 2020 神戸の春便り 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月 2020.4.1.

神戸の街にもコロナウィルス蔓延の兆し 遠出は避けての家籠  
例年とは違う神戸の春到来に 孫たちもうずうず 京都の家で合宿することに  
目まぐるしく移り行く美しい春の息吹 人込みを避けての毎日 walk に春を探す



2. 6月 梅雨の合間 神戸梅雨時の Country walk 2020.6.5&16.

コロナ神戸家籠りの中で気分も晴ればれ コロナ禍で半分あきらめていましたが、今年もうれしい出会いに

3. 播磨/但馬の境生野峠の北但馬 朝来市竹田 に小さい秋をさがして2020

天空に浮かぶ竹田城再訪 但馬実りの秋の田園風景 2020.9.4  
山上の城郭石垣群がきれいに整備され、見晴らす郷は実りの秋 日本の原風景 うれしい小さい秋 みつけ

4. 西神戸・東播磨 加古川岸の田園 稔りの里の秋巡り 小さい秋をさがして

彼岸花が畔を飾る実りの田園地帯 一面黄金色の田園地帯の里の秋 2020.10.2.  
西神戸から 加古川西岸に里山が続く志方の里&小野町きすみ野へ

5. 2020 秋コロナ禍の中で 西国街道 武庫川麓の渡し 2020.10.11

尼崎にもこんなゆったりと時間が流れる緑の草原がある  
国道 171 号線武庫川甲武橋東岸周辺 六甲を背にした甲山の眺望 & この秋 河川敷に出現した草原

6. コロナ禍の秋 表側の神鉄鶴越駅から 六甲全山縦走路を菊水山に登る 2020.10.13.

**私のミステリー-Walk 鶴越-烏原-菊水山登り口-菊水山-鈴蘭台**

山麓バイパス鶴越バス停をスタートに表側の鶴越から烏原を抜けて菊水山へ登りました。

7. コロナ禍の秋にほっと一息 東播磨 秋の風物詩 志方の郷のコスモス 2020.10.15.

加古川西岸に広がる東播磨志方の郷 黄金色の田園地帯「一面ピンクのコスモス畑を送電線が渡りゆく」  
実りの秋を愛でるかのような志方の郷の秋景色 ここ数年で一番の美しいコスモス畑の秋景色でした

8. 須磨離宮公園 2020 年秋のバラ 2020.10.28. [Photo Album](#) にしてゆっくり秋の夜長を楽しむ  
色鮮やかな大輪のバラ その香りとともに一機にリフレッシュ

9. 私の秋送り 2020.11.10.兵庫県花「野路菊」2020 横尾山山腹 野路菊の丘  
横尾山腹を真っ白にして晩秋 の散歩道を楽しくしてくれる

10. きつい きついと言われる摩耶山黒岩尾根に登る 2020.11.9.

**2020 秋コロナ禍の中で 摩耶山へは登りがつつく長いコース**

摩耶山へは登りがつつく長いコースですが、知らなかった摩耶山の魅力発見の登山道



2020年 更新ページを飾った思い  
高齢者の劇症化 命の危機が我が身に迫る  
密閉・密接・密集の「3つの密を意識した自制の実践」  
「うつらない うつさない」  
マスク・手洗い・三密空間に近づかない  
コロナに負けるな!! 自己の行動節制の毎日  
仲間にも思いを馳せています



一番必要なところの声を救い上げることができぬ日本の社会

自らの実践がない響かぬ日本の施政者の・TVの声 似非専門家の影が見え隠れ

本当の専門家の声の届かぬ刹那の情報化社会のほころびが見えたコロナ禍

高度成長の昭和・日本独り負けの平成を経て いまだに昭和の成功体験にしがみつく日本

人が作るモノづくりからグローバル・国際化の波の中 人を外す刹那の通信・情報化社会に突き進んだ日本

頂点同調を強調しつつ 何もかも自己責任 一番大事な人の暮らしを無視した社会に

判断・知恵を放棄したと見える日本の日本高度情報化社会

世界的コロナ禍感染大流行の真ただ中にある欧州 ドイツメルケル首相の声が心に響く一年でした。

「・・・せねばならない。考えています。専門家の答申を受けて検討します。責任があると承知します」  
何度聞いたことか・・・。この言葉の中には「…です」の言葉がない。

「自分が行動する やります」がない責任転嫁に終始する言葉だから誰の心に響かない。

具体的な行動はせいぜい「指示した」「報告を受けています」どまり。チェック等自分の行動は何もなし。  
それが今の日本を席卷する頂点同調の悪癖です。

ぶつぶつ1年間同じことを言い続けた From Kobe でした。

次の選挙には立ためドイツメルケル首相のコロナに対して 国民に寄り添い、呼びかけた演説を耳にして、  
感動とともに、ギャップの大きさにショックでした。

「ねばならぬ 承知している 考えています」等日本の施政者の常とう句が全くないのです。

まだ先が見えぬコロナ禍の取り組みの参考にも 全文を一度よんでいただければ・・・と。  
2020年コロナ禍の中で コロナ禍対応 心に響いた一文です。

コロナ禍の中 心に響いた一文

2020.12.31. ドイツメルケル首相のコロナ禍で 最後の新年演説

国民に「心の底から感謝」「愛する人たちを守ってください」 2020.31.インターネットより  
心の底から申し訳ない。けれど到底容認できません

「どれだけ多くの人か愛する人を失い、  
最期にそばにいてもできなかったか、  
社会として忘れることは許されない。  
私にはその痛みを和らげることはできないが、  
今も思いを寄せている」と語りかけ、  
新型コロナウイルスで家族や友人などを亡くした人たちに  
寄り添う気持ちを示しました。

そのうえで、最前線で働く医療従事者のほか、スーパーマーケットや公共交通機関、  
それに警察などで働く人たちに感謝の思いを伝えました。

(メルケル首相演説 インターネットより入手した訳文 別添付)



2020年 Home page 更新毎に top の言葉に何を発信しようか…と考えるのですが、  
2020年はコロナ禍一色でした。

でも、コロナ禍の中で、今まで見えなかった日本の社会の歪もここかしこ

非正規雇用が約3割を越える日本の社会 自己責任 多様な働き方改革と胸を張る施政者・大企業家たち  
本当に日常の暮らしに目をむけているのか……とわびしくなった1年。

ひそかな格差の進行と雇用不安が現実問題として噴出した日本 これからどうするのか……

日本が手本としてきたアメリカ アメリカ第一主義を掲げたトランプ政権の行き詰まり・崩壊とそれこそ利己的な  
中国の巨大化と進出に国際社会も大揺れ。

そこにもう待たなしの状況の地球温暖化による地球規模の気象異常と度重なる激甚災害の頻発。

国際協調が一番必要な時にどうなるのか……

コロナを早く終息して、新しい国際秩序作りの担い手とイノベーションを進めねば……。

それがまた、一番必要なのが同時進行で高齢化が進む日本。

ポストコロナの社会・経済そして人の暮らしの安定化復興をもたらす革新的イノベーションが必要に。

そんな日本の課題が次から次へと噴出したコロナ禍。

明日を信じて、スクラム組んで もうひと働き そんな一年。

何やかや言いながら、2020年のトピックスまで、ぶつぶつ。 本当に厳しいコロナ禍の一年  
みんなで スクラム組んで。

---

### Peace on Earth 鉄の惑星地球 今地球規模のスケールでポストコロナを

絶滅を繰り返してきた多くの生物の中で

人類が生き延びてきた道が 鉄と共に唯一人類だけが「相手を思う心」「ヒューマン」を  
持ち合わせていたことにあった。

過酷な今の時代に人々が忘れ、捨てようとしていることが、  
唯一人類が生き延びてきた道。

人類の危機・生命の危険に直面したコロナ禍の中で、  
その重要性が見直され、ポストコロナのキーワードとして  
見直され始めた「相手を思う心・ヒューマン」

「鉄の惑星地球」産業の側面ばかりでなく、

時代時代の中で いつも人の営みに欠かせなかった「鉄」  
このポストコロナの新しい時代に必ずや鉄は新しい顔を見せ、  
新しい産業を生むに違いないと期待している。

そんな鉄の姿も追ってみたい、

考えたこの一年でした。



とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いと。

また、困難の中にある仲間に思いを馳せつつ エールを送ります

仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌 みんなでスクラム組んで 元気に今を  
God Be With You!!

いつになく 静かな年の暮れ いつもの散歩を楽しみながら

From Kobe Mutsu Nakanishi

1月 日本人の心の故郷「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて  
地球46億年 鉄の惑星地球 この激動・変革の時代に新しい姿を見せる「鉄」に希望を託す  
【From Kobe 1月年賀】 2020年迎春 年の初め

日本人の心の故郷「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて  
地球46億年 鉄の惑星地球 この激動・変革の時代に新しい姿を見せる「鉄」に希望を託す

◎ 和鉄の道・Iron Road 「閃光」と「肌光」鉄のまばゆい輝きに希望を託す

2月 澄み渡る須磨の空 庭には春の草花そして梅の花も咲きだして 春もすぐそこに  
でも インフルエンザ・新型肺炎が猛威を奮っています

3月になればすぐ仲間の同窓会・同期会 嬉しい春が待ち遠しい。

巷ではインフルエンザ・新型肺炎が猛威を奮い、まもなく花粉が飛び交うとの警報も。

でも嬉しい春がもうすぐそこに。

毎日のように山から須磨の海を眺めると気にかかるのは気候変動による激甚災害・地球温暖化のこと。

今日はどこまで見通せるか・・・もう毎walkの日課。

体調の変化にご留意 本当に何もかも 高齢者には厳しい令和の春 お互いスクラム組んで 前向いて

【From Kobe 2020 早春2月 春迎え】 春はもうすぐそこに

● 収録 嬉しい春の訪れ、気にかかるは我が身の健康と地球温暖化のこと

.....まだ新型コロナは他人事だった1月末

2月になって、クルーズ船のコロナ感染の拡大とその厳しさが報道されるにつれ

我が身にも生命の危険をかんじるように。ついに、例年の3月7日の同窓会も中止に

3月 2020 神戸の春便り 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月

目まぐるしく移り行く美しい春の息吹 新生の息吹に満ちる春景色。でも 高齢者には厳しいこの春  
新型コロナウイルスに負けないで頑張らねばと人混みを避けての毎日の須磨界限walk に春を探す

【From Kobe 2020 3月 神戸の春便り】 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月

● 収録 弥生3月 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月 Photo Album

4月 コロナウイルス蔓延の厳しい春 命の不安の中で迎える令和2年度の始まり

4月新生の息吹に満ちて我が家の庭も春色に コロナの脅威を一機に吹き飛ばせと

新生の息吹に燃える春の草花は みんなの応援歌

なんとか みんなの力で早く収束できますように God Be with You!!

【From Kobe 2020 4月 令和2年 新しい門出とで合いの春】

でも 厳しいコロナウイルス蔓延の厳しい春に

● 収録 A 1. 神戸の桜2020 中央区宇治川添いの桜並木 & 須磨板宿 妙法寺川岸 桜のトンネル  
2. 正確なコロナウイルスを知るために 知人が送ってくれたyoutube アニメ動画

● 収録 B コロナ理解私見【参考まで】「みんながみんな接触数8割削減でコロナ終息へ」

7月 ひまわりの夏 高齢者の劇症化 命の危機が我が身に迫る

密閉・密接・密集の「3つの密を意識した自制的実践」

「うつらない うつさない」 マスク・手洗い・三密空間に近づかない

仲間に思いを馳せています

ひまわりの夏 2020



こうへ総合運動公園

明石海峡を見下ろす丘 ひまわり畑で

みんながみんなこっちを向いて

よお〜! コロナに負けるなと 笑顔のあいさつ



【From Kobe ひまわりの夏 2020 】ひまわりの夏 新型コロナウイルス蔓延の中で

- 収録 ■ 5月中旬・6月のコロナ禍の中で 神戸籠り by Mutsu Nakanishi
- 2020.7.10. 梅雨の末期 各地で集中豪雨災害 お見舞い申し上げます

9月 いまだにコロナの厳しい毎日 いかがでしょうか

真青な青空 秋の風 田圃には黄金色の稲穂がゆれ、畔を真っ赤な彼岸花 素晴らしい秋景色  
年寄りには厳しい今年の秋 なんとなく 仲間が気になり、人恋しい  
うまい空気を胸一杯 吸い込んで 気分も新らた God Be With You!!  
朝が来れば「よしっ」と元気に今を

【From Kobe 2020 秋 】爽やかな秋の風を一杯吸い込んで 2020.9.22.

- 収録 ■ まだ続くのか? 年寄り仲間うち内閣 もううんざり 朝日も皮肉った紙面満載!  
最近の風潮に疑問一杯 「知恵の学び・行動を軽んじ、自ら考えることを放棄  
通信・情報・AI そのものに頼る」

- 余計なお世話ですが、カード頼りの通帳記載せぬ危うさにご用心  
ドコモ口座事件 一番わかりやすいと感じたインターネット解説  
鈴木貴博：百年コンサルティング代表

ドコモ口座パニック拡大、他人事ではない「本当に怖い落とし穴」より 2020.9.18.

11月 コロナ禍「3密」行動節制が続く中で 秋が猛烈なスピードで駆け抜けてゆく

秋晴れの空に里は秋桜・そして秋のバラが秋を彩る 秋の味覚も届き 里では秋の収穫に忙しい秋景色  
でも、祭りの便りや賑わいもなく なんとなく物足りない11月の始まり  
先の暮らしに不安は募りますが、愚痴は言うまい

ゆっくりとわが道を振り返りつつ 秋の夜長を楽しむ

若者は生意気ぐらいかちょうどいい 年寄りは…………

自分のことばかりは言っておれないのですが、好奇心と気力さえあればと  
「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」  
とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いと。

また、困難の中にある仲間思いを馳せつつ エールを送ります

仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌 みんなでスクラム組んで 元気に今を

God Be With You!! 2020.11.1. 爽やかな秋の風を一杯吸い込んで

【From Kobe 秋 11月 コロナ禍の中で】秋が猛烈なスピードで駆け抜けてゆく 2020.11.1.

2020年の秋を明るくしてくれた秋の草花 秋 11月 コロナ禍の中で 季節の便り届けます

- 収録 1 コロナ禍の中で見たインターネット・通信にははびこる無責任  
無責任な通信・SNS など通信仲介業に仲介責任がとれないのか?
- 2 政権交代一か月 新聞等を読んで もう老練政治家から若者へ政治をわたしては・・・  
老練が負け惜しみで口にするパワーも知恵も・スピードも  
それに裏付けられた判断・直観力も若者はみんな持っている

12月 師走 コロナウィルスの猛威が止まらぬ師走





コロナ禍の3波が急速に拡大、出口が見いだせない中で一年が過ぎてゆく  
 街も家中也「3密」自製のコロナに振り回された一年 師走の雰囲気もなし  
 残念ながら神戸ルミナリエも中止、クリスマス飾りも控え目  
 でも 神戸にはルミナリエに託した思いがふつつと・・・  
 今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走です

【From Kobe 12月 コロナ禍の中で】 コロナウィルスの猛威が止まらぬ師走 2020.12.5.

2020 12月 師走 コロナ禍の中で コロナ収束の道はみんなの願い 季節の便り届けます

街も人も「3密」防止の行動規制に取り組んで 平常の日々と変わらぬコロナと向き合う師走です

●収録 コロナ感染者急増の3波襲来の中で、もう一度基本を問い直そう

私がなにを思ってきたか それがいまの私をつくっている  
 あなたがなにを考えてきたか それがいまのあなたそのもの  
 世界はみんなのところで決まる 世界はみんなのところで変わる  
 谷川俊太郎 「こころの色」より

何はともあれ、近々の課題 早く収束の出口を見たい。ワクチン開発が今一つ希望の出口。  
 これもみんなに行き渡るようにと期待しています。勝手なことをぶつぶつ 他意なく、好奇心のみです。  
 もともと我慢が苦手。ますますわがままに。心せねば……と。

「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」

健康でいることに感謝しつつ、知恵と判断力と行動力そして好奇心 この思いを失わぬようと。



新しい年を迎え、コロナ終息へ向けて もうひと頑張り  
 みんながみんな笑顔で暮らせる日が取り戻せますよう願っています。

また一年 よろしくお祈りします 2021.1.5. by Mutsu Nakanishi



## ドイツ メルケル首相 最後の新年演説 コロナウィルスに向き合うにあたって

「国民に心の底から感謝」「愛する人たちを守ってください」全文 2020.12.31.

2020.1.5. インターネットより採取

[ベルリン 31日 ロイター]

ドイツのメルケル首相は、新年を迎えるにあたっての国民向けの演説で、首相を務めた15年間で2020年が最も困難な年だったと振り返った。一方、新型コロナウイルスワクチンの接種開始により、2021年は希望の年になるとも強調した。首相はロックダウン（都市封鎖）への抗議活動を非難し、ワクチンが普及すれば自身も接種する考えを示した。66歳のメルケル首相は「最後に個人的なことをお話したい。9カ月後に議会選挙があるが、私は出馬しない」と表明。「これが私の最後の新年へのメッセージになる」と述べた。



その上で「15年間のなかで、この1年ほど厳しく感じた年はない。また、懸念や懐疑論もある中、新年をこれほどの期待感を持って待ちわびたこともなかった」とした。

首相は、新型コロナの存在を否定する陰謀論者について「コロナ感染で愛する人を失った人、感染の影響に苦しんでいる人にとっては、苦々しいことだろう。陰謀論は誤りで危険だけでなく、残酷でもある。順番が来たら、私もワクチンを接種する」と付け加えた。

### ◎ コロナウィルスに向き合うにあたって：独メルケル首相の新年演説 全文

大野インクジェットコンサルティング (ohno-inkjet.com) 大埜氏訳文

<https://ohno-inkjet.com/?p=27731>

親愛なる国民の皆様

コロナウィルスは現在わが国の生活を劇的に変化させています。私たちが考える日常や公的生活、社会的な付き合い — こうしたものすべてがかつてないほど試されています。

何百万人という方々が出勤できず、子どもたちは学校あるいはまた保育所に行けず、劇場や映画館やお店は閉まっています。そして何よりも困難なおそらく、いつもなら当たり前前の触れ合いがなくなっているということでしょう。もちろんこのような状況で私たちはみな、これからどうなるのか疑問や心配事でいっぱいです。

私は今日このような通常とは違った方法で皆様に話しかけています。

それは、この状況で連邦首相としての私を、そして連邦政府の同僚たちを何が導いているのかを皆様に伝えたいからです。

**開かれた民主主義に必要なことは私たちが政治的決断を透明にし、説明すること、**

**私たちの行動の根拠をできる限り示して、それを伝達することで、理解を得られるようにすることです。**

もし、市民の皆さんがこの課題を自分の課題として理解すれば、私たちはこれを乗り越えられると固く信じています。

このため次のことを言わせてください。**事態は深刻です。あなたも真剣に考えてください。**

東西ドイツ統一以来、いいえ、第二次世界大戦以来、これほど市民による一致団結した行動が重要になるような課題がわが国に降りかかってきたことはありませんでした。

私はここで、現在のエピデミックの状況、連邦政府および各省庁がわが国のすべての人を守り、経済的、社会的、文化的な損害を押さえるための様々な措置を説明したいと思います。

しかし、私は、あなたが一人一人が必要とされている理由と、一人一人がどのような貢献をできるかについてもお伝えしたいと思います。

エピデミックについてですが、私がここで言うことはすべて、連邦政府とロバート・コッホ研究所の専門家やその他の

学者およびウイルス学者との継続審議から得られた所見です。

世界中で懸命に研究が進められていますが、コロナウイルスに対する治療法もワクチンもまだありません。

この状況が続く限り、唯一できることは、ウイルスの拡散スピードを緩和し、数か月にわたって引き延ばすことで時間を稼ぐことです。これが私たちのすべての行動の指針です。研究者がクスリとワクチンを開発するための時間です。

また、発症した人ができる限りベストな条件で治療を受けられるようにするための時間でもあります。

ドイツは素晴らしい医療システムを持っています。もしかしたら世界最高のシステムのひとつかもしれません。

そのことが私たちに希望を与えています。しかし、わが国の病院も、コロナ感染の症状がひどい患者が短期間に多数入院してきたとしたら、完全に許容量を超えてしまうことでしょう。

これは統計の抽象的な数字だけの話ではありません。お父さんであり、おじいさんであり、お母さんであり、おばあさんであり、パートナーであり、要するに生きた人たちの話です。そして私たちは、どの命もどの人も重要とする共同体です。

私は、この機会にまず、医師としてまたは介護サービスやその他の機能でわが国の病院を始めとする医療施設で働いている方すべてに言葉を贈りたいと思います。あなた方は私たちのためにこの戦いの最前線に立っています。あなた方は最初に病人を、そして、感染の経過が場合によってどれだけ重篤なものかを目の当たりにしています。

そして毎日改めて仕事に向かい、人のために尽くしています

**あなた方の仕事は偉大です。そのことに私は心から感謝します。**

さて、**重要なのは、ドイツ国内のウイルスの拡散スピードを緩やかにすることです。**

そして、その際、これが重要ですが、1つのことに賭けなければなりません。

それは、**公的生活を可能な限り制限することです。もちろん理性と判断力を持ってです。**国は引き続き機能し、もちろん供給も引き続き確保されることになるからです。私たちはできる限り多くの経済活動を維持するつもりです。

しかし、人を危険にさらす可能性のあるものすべて、個人を、また共同体を脅かす可能性のあるものすべてを今減らす必要があります。人から人への感染リスクを可能な限り抑える必要があります。

今でもすでに制限が劇的であることは承知しています。イベント、見本市、コンサートは中止、とりあえず学校も大学も保育所も閉鎖され、遊び場での遊びも禁止です。

連邦政府と各州が合意した閉鎖措置が、私たちの生活に、そして民主主義的な自己認識にどれだけ厳しく介入するか、私は承知しています。わが連邦共和国ではこうした制限はいまだかつてありませんでした。

**私は保証します。旅行および移動の自由が苦勞して勝ち取った権利であるという私のようなものにとっては、このような制限は絶対に必要な場合のみ正当化されるものです。**

そうしたことは民主主義社会において決して軽々しく、一時的であっても決められるべきではありません。

しかし、それは今、命を救うために不可欠なのです。

このため、国境検査の厳格化と重要な隣国数か国への入国制限令が今週初めから発効しています。

経済全体にとって、大企業も中小企業も、商店やレストラン、フリーランサーにとっても同様に、今は非常に困難な状況です。今後何週間かはいっそう困難になるでしょう。

私は皆様に約束します。連邦政府は、経済的影響を緩和し、特に雇用を守るために可能なことをすべて行います。

わが国の経営者も被雇用者もこの難しい試練を乗り越えられるよう、連邦政府は、必要なものをすべて投入する能力があり、またそれを実行に移す予定です。

また、皆様は、食料品供給が常時確保されること、たとえ1日棚が空になったとしても補充されること信じて安心してください。スーパーに行くすべての方にお伝えしたいのですが、備蓄は意味があります。ちなみにそれはいつでも意味のあるものでした。けれども限度をわきまえてください。

何かがもう二度と入手できないかのような買い占めは無意味ですし、つまるところ完全に連帯意識に欠けた行動です。ここで、普段あまり感謝されることのない人たちにもお礼を言わせてください。このような状況下で日々スーパーのレジに座っている方、商品棚を補充している方は、現在ある中でも最も困難な仕事のひとつを担っています。同胞のために尽力し、言葉通りの意味で**お店の営業を維持して下さりありがとうございます。**

さて、今日私にとって最も緊急性の高いものについて申し上げます。私たちがウイルスの速すぎる拡散を阻止する効果的な手段を投入しなければ、あらゆる国の施策が無駄になってしまうでしょう。その手段とは私たち自身です。

私たちの誰もが同じようにウイルスにかかる可能性があるように、今誰もが皆協力する必要があります。

まず第一の協力は、今日何が重要なのかについて真剣に考えることです。

パニックに陥らず、しかし、自分にはあまり関係がないなどと一瞬たりとも考えないことです。不要な人など誰もいません。私たち全員の力が必要なのです。

私たちがどれだけ脆弱であるか、どれだけ他の人の思いやりのある行動に依存しているか、それをエビデミックは私たちに教えます。また、それはつまり、どれだけ私たちが力を合わせて行動することで自分たち自身を守り、お互いに力づけることができるかということでもあります。

一人一人の行動が大切なのです。私たちは、ウイルスの拡散をただ受け入れるしかない運命であるわけではありません。

私たちには対抗策があります。つまり、**思いやりからお互いに距離を取る**ことです。

ウイルス学者の助言は明確です。握手はもうしない、頻繁によく手を洗う、最低でも 1.5 メートル人との距離を取る、特にお年寄りには感染の危険性が高いのでほとんど接触しないのがベスト、ということです。

こうした要求がどれだけ難しいことか私は承知しています。緊急事態の時こそお互いに近くにいたいと思うものです。

私たちが好意を身体的な近さやスキンシップとして理解しています。

けれども、残念ながら現在はその逆が正しいのです。これはみんなが本当に理解しなければなりません。今は、距離だけが思いやりの表現なのです。

よかれと思ってする訪問や、不必要な旅行、こうしたことすべてが感染を意味することがあるため、現在は本当に控えるべきです。専門家がこう言うのには理由があります。おじいちゃんおばあちゃんと孫は今一緒にいてはいけない、と。不必要な接触を避けることで、病院で日々増え続ける感染者の世話をしているすべての方々を助けることになります。こうして命を救うのです。多くの人にとってこれはきついことでしょう。誰も一人にしないこと、声かけと希望が必要な方たちの世話をすることも重要になってきます。私たちが家族として、また社会として別の相互扶助の形を見つけるでしょう。

今でもすでに、ウイルスとその社会的影響に対抗する創造的な形態が出てきています。今でもすでに、おじいちゃんおばあちゃんがさみしくないようにポッドキャストをするお孫さんたちがいます。

私たちは皆、好意と友情を示す別の方法を見つけなければなりません。

スカイプや電話、イーメール、あるいはまた手紙を書くなど。郵便は配達されるのですから。自分で買い物に行けないお年寄りのための近所の助け合いの素晴らしい例も今話題になっています。まだまだ多くの可能性があるとは私は確信しています。私たちがお互いに一人にさせないことを社会として示すことになるでしょう。

皆様をお願いします。今後有効となる規則を遵守してください。私たちは政府として、何が修正できるか、また、何がまだ必要なかを常に新たに審議します。

状況は刻々と変わりますし、私たちがその中で学習能力を維持し、いつでも考え直し、他の手段で対応できるようにします。そうなればそれもご説明します。このため、皆様をお願いします。

噂を信じないでください。公的機関による発表のみを信じてください。発表内容は多くの言語にも翻訳されます。

私たちが民主主義社会です。私たちが強制ではなく、知識の共有と協力によって生きています。

これは歴史的な課題であり、力を合わせることでしか乗り越えられません。

私たちがこの危機を乗り越えられるということには、私はまったく疑いを持っていません。

けれども、犠牲者が何人出るのか。どれだけ多くの愛する人たちを亡くすことになるのか。

それは大部分私たち自身にかかっています。私たちが今、一致団結して対処できます。現在の制限を受け止め、お互いに協力し合うことができます。

この状況は深刻であり、まだ見通しが立っていません。それはつまり、一人一人がどれだけきちんと規則を守って実行に移すかということにも事態が左右されるということです。

たとえ今まで一度もこのようなことを経験したことがなくても、私たちが、思いやりを持って理性的に行動し、それによって命を救うことを示さなければなりません。それは、一人一人例外なく、つまり私たち全員にかかっているのです。皆様、ご自愛ください、そして愛する人たちを守ってください。ありがとうございました。

## 参 考

メルケル首相 TV 演説 新型コロナウイルス感染症対策について 訳文 2020.3.18.

「事態は深刻です。皆さんも深刻に捉えていただきたい。

ドイツ統一、いや、第二次世界大戦以来、我が国における社会全体の結束した行動が、ここまで試された試練はありませんでした。」

新型コロナウイルス感染症対策に関するメルケル首相のテレビ演説（2020年3月18日）ドイツ外務省

<https://japan.diplo.de/ja-ja/themen/politik/-/2331262>

新型コロナウイルスにより、この国の私たちの生活は今、急激な変化にさらされています。

日常性、社会生活、他者との共存についての私たちの常識が、これまでにない形で試練を受けています。

何百万人もの方々が職場に行けず、お子さんたちは学校や保育園に通えず、劇場、映画館、店舗は閉まっています。なかでも最もつらいのはおそらく、これまで当たり前だった人と人の付き合いができなくなっていることでしょう。もちろん私たちの誰もが、このような状況では、今後どうなるのかと疑問や不安で頭がいっぱいになります。



本日は、現下の状況における首相としての、また政府全体としての基本的考えをお伝えするため、このように通常とは異なる形で皆さんにお話することになりました。

開かれた民主主義のもとでは、政治において下される決定の透明性を確保し、説明を尽くすことが必要です。

私たちの取組について、できるだけ説得力ある形でその根拠を説明し、発信し、理解してもらえるようにするのです。本当に全ての市民の皆さんがご自身の課題と捉えてくだされば、この課題は必ずや克服できると私は固く信じています。

ですから申し上げます。事態は深刻です。皆さんも深刻に捉えていただきたい。

ドイツ統一、いや、第二次世界大戦以来、我が国における社会全体の結束した行動が、ここまで試された試練はありませんでした。

私からは、感染拡大の現状についてご説明するとともに、政府や国・地方自治体の機関が、共同体の全ての人を守り、経済・社会・文化の損失を抑え込むためにどのような取り組みを進めているかをお話しします。

さらにそうした取組において、なぜ皆さんが必要なのか、一人ひとりに何ができるのかについてもお伝えしたいと思います。

さて、感染拡大に関してですが、これについて私がお話しすることは全て、政府と、ロベルト・コッホ研究所の専門家、その他の研究者、ウイルス学者の人々との継続的な協議に基づいています。

現在、世界中で急ピッチで研究が進められていますが、未だ、新型コロナウイルスの治療法もワクチンも開発されていません。こうした状況において、あらゆる取り組みの唯一の指針となるのは、ウイルスの感染拡大速度を遅くする、数カ月引き延ばす、そして時間を稼ぐということです。時間を稼ぎ、研究者に治療薬とワクチンを開発してもらいます。同時に、発症した人ができるだけよい医療を受けられるようにするための時間稼ぎでもあります。

ドイツは、世界有数ともいえる優れた医療体制を誇っています。このことは安心材料ではありません。

ただし、あまりに多数の重症患者が極めて短期間のうちに搬送されるようなことになれば、我が国の医療機関も対処できない状況に陥ってしまうでしょう。これは単なる抽象的な統計数値で済む話ではありません。

ある人の父親であったり、祖父、母親、祖母、あるいはパートナーであったりする、実際人間が関わってくる話なのです。そして私たちの社会は、一つひとつの命、一人ひとりの人間が重みを持つ共同体なのです。

**この機会に何よりもまず、医師、看護師、あるいはその他の役割を担い、**

**医療機関をはじめ我が国の医療体制で活動してくださっている皆さんに呼びかけたいと思います。**

皆さんは、この闘いの最前線に立ち、誰よりも先に患者さんと向き合い、感染がいかに重症化するかも目の当たりにされています。そして来る日も来る日もご自身の仕事を引き受け、人々のために働いておられます。

皆さんが果たされる貢献はとてつもなく大きなものであり、その動きに心より御礼を申し上げます。

**現在の喫緊の課題は、ドイツに広がるウイルスの感染速度を遅らせることです。**

そのためには、社会生活を極力縮小するという手段に賭けなければならない。これは非常に重要です。

もちろん、国の機能は引き続き維持され、物資の供給体制は確保され、経済活動は可能な限りの継続を図っていきますので、あくまでも理性と慎重さに基づいて行っていきます。

しかし今は、人々を危険にさらしかねないこと、個人あるいは共同体にダメージを与えかねないことをことごとく縮小していかなければならないのです。

**人から人への感染リスクをできる限り抑えていかなければなりません。**

日常生活における制約が、今すでにいかに厳しいものであるかは私も承知しています。

イベント、見本市、コンサートがキャンセルされ、学校も、大学も、幼稚園も閉鎖され、遊び場で遊ぶこともできなくなりました。連邦と各州が合意した休業措置が、私たちの生活や民主主義に対する認識にとりいかに重大な介入であるかを承知しています。これらは、ドイツ連邦共和国がかつて経験したことがないような制約です。

**次の点はしかしぜひお伝えしたい。**

こうした制約は、渡航や移動の自由が苦難の末に勝ち取られた権利であるという経験をしてきた私のような人間にとり、絶対的な必要性がなければ正当化し得ないものなのです。

民主主義においては、決して安易に決めてはならず、決めるのであればあくまでも一時的なものにとどめるべきです。

しかし今は、命を救うためには避けられないことなのです。こうしたことから、今週はじめより、いくつかの重要な近隣諸国との国境において、国境管理と入国制限措置が強化されています。

**大企業・中小を問わず企業各社にとり、また小売店、飲食店、フリーランスの人たちにとり、状況はすでに非常に厳しくなっています。そしてこれからの数週間、状況は一層厳しくなるでしょう。**

**政府は、経済的影響を緩和し、特に雇用を維持するため、あらゆる手段を尽くす考えであり、このことを私は皆さんにお約束します。私たちには、この厳しい試練に直面する企業や労働者を支援するために必要なあらゆる策を講じる力があり、また意思があります。**

また、食糧供給は常時確保されていますので、どうか安心していただきたい。たとえ商品の棚が一日空になることがあったとしても、商品は補充されます。スーパーに買物に行かれる方に申し上げたいのですが、ストックの買い置きが有意義であるのは、何も今に始まったことではありません。しかしそれは、節度を守ってこそ、です。商品が二度と手に入らないかのごとく買い占めに走るのは無意味であり、結局、他者への配慮に欠ける行為となります。

さてここで、感謝される機会が日頃あまりにも少ない方々にも、謝意を述べたいと思います。スーパーのレジ係や商品棚の補充担当として働く皆さんは、現下の状況において最も大変な仕事の一つを担っています。皆さんが、人々のために働いてくださり、社会生活の機能を維持してくださっていることに、感謝を申し上げます。

ここで、本日、私にとって最も重要な点についてお話しします。国がどのような対策を講じても、急速なウイルス感染拡大に対抗する最も有効な手段を用いないのであれば、それは徒労に終わってしまいます。最も有効な手段とは、私たち自身です。誰もが等しくウイルスに感染する可能性があるように、誰もが助け合わなければなりません。まずは、現在の状況を真剣に受け止めることから始めるのです。そしてパニックに陥らないこと、しかしまた自分一人がどう行動してもあまり関係ないだろう、などと一瞬たりとも考えないことです。関係のない人などいません。全員が当事者であり、私たち全員の努力が必要なのです。

感染症の拡大は、私たちがいかに脆弱な存在で、他者の配慮ある行動に依存しているかを見せつけています。しかしそれは、結束した対応をとれば、互いを守り、力を与え合うことができるということでもあります。

まさに、一人ひとりの取り組みにかかっているのです。私たちは、ウイルス感染拡大を無抵抗に受け入れる以外になすすべがないわけではありません。私たちには対抗する手段があります。

それは、互いへの配慮から人との間に間隔を置くことです。

ウイルス学者の助言ははっきりしています。握手はしない、手洗いを頻繁かつ徹底して行う、他の人との間隔を最低1.5メートルあける、そして今は、特にリスクの高い高齢者との接触を極力避ける。

これらを実際に行うのが私たちにとっていかに大変なことか、私も承知しています。

困難な時期であるからこそ、大切な人の側にいたいと願うものです。私たちにとって、相手を慈しむ行為は、身体的な距離の近さや触れ合いを伴うものです。しかし残念ながら現状では、その逆こそが正しい選択なのです。今は、距離を置くことが唯一、思いやりなのだということを、本当に全員が理解しなければなりません。

よかれと思って誰かを訪問したり、不要不急の旅行に出かけたりすることが、感染につながりかねない今、こうした行動は控えるべきです。

専門家の方々が今は祖父母と孫が会わないほうがよい、と助言しているのは、十分な根拠があるからこそなのです。

不要な接触を避けることは、感染者数の増加に日々直面している全ての医療機関関係者のサポートになります。

そうすることで私たちは命を救っているのです。

接触制限は多くの人にとって厳しいものであり、だからこそ、誰も孤立させないこと、励ましと希望を必要とする人のケアを行っていくことも重要になります。私たちは、家族や社会として、これまでとは違った形で互いを支え合う道を見つけていくことになるでしょう。

ウイルスが社会に与える影響に対し、さまざまな形で立ち向かおうとする創意工夫が見られます。おじいさん、おばあさんが寂しくならないよう、ポッドキャストを録音してあげるお孫さんなども一例でしょう。

私たちは皆、親愛や友情を表す手段を見出していかなければなりません。それはスカイプ、電話、メールであったり、あるいは郵便の配達が続いていますから手紙であったりするかもしれません。買物に行けない高齢の人を近所の人が支援する活動など、素晴らしい取り組みの例を耳にしますし、きっと他にもいろいろできることはあるでしょう。私たちは、互いに置いてきぼりにしないという共同体の姿勢を見せていきます。

皆さんに呼びかけます。どうか、今後しばらくの間適用されるルールを守ってください。政府としては、再び戻せるところはないかを継続的に点検していきます。しかし、さらに必要な措置がないかについても検討を続けます。

事態は流動的であり、私たちは、いつでも発想を転換し、他の手段で対応ができるよう、常に学ぶ姿勢を維持していきます。新たな手段をとる場合には、その都度説明を行っていきます。

ですから皆さん、どうか噂話は信じないでください。様々な言語にも翻訳されている公式な発表だけを信じてください。我が国は民主主義国家です。私たちの活力の源は強制ではなく、知識の共有と参加です。現在直面しているのは、まさに歴史的課題であり、結束してはじめて乗り越えていけるのです。

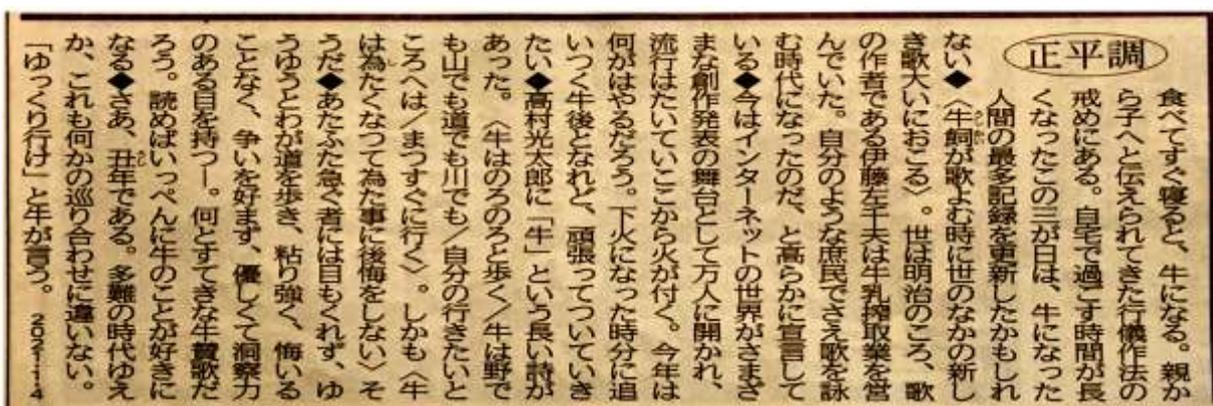
私たちはこの危機を克服していくと、私は全く疑っていません。ただ、犠牲者数はどれほど増えるでしょうか？ 私たちは大切な人を何人、失うことになるでしょうか？ このことは相当程度、私たち自身の行動にかかっています。今こそ、固い決意のもと、皆でともに行動するときです。制約を受け入れ、互いに助けあうのです。

現状は深刻ですが、この先はいろいろな展開があり得ます。ということは、一人ひとりがどれだけ自制してルールを守り、実行するかが、全てではないにせよ、今後の展開を決める一つの要素なのです。

かつて経験したことのない事態ではありますが、私たちは、思いやりと理性を持って行動し、命を救っていくことを示していかなければなりません。例外なく全ての人、私たち一人ひとりが試されているのです。

皆さんご自身と大切な人の健康に気をつけてください。ご静聴ありがとうございました。

ドイツ外務省 総領事館 <https://japan.diplo.de/ja-ja/themen/politik/-/2331262>



2021.1.4. 神戸新聞朝刊「平正調」より

1. 【From Kobe 1月 年賀】 2020年 迎春 年の初め fkobeR020nenga.pdf  
日本人の心の故郷「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて  
地球46億年 鉄の惑星地球 この激動・変革の時代に新しい姿を見せる「鉄」に希望を託す  
◎ 和鉄の道・Iron Road 「閃光」と「肌光」鉄のまばゆい輝きに希望を託す
2. 【From Kobe 2020 早春2月 春迎え】 春はもうすぐそこに fkobeR0202.pdf  
● 収録 嬉しい春の訪れ、気にかかるは我が身の健康と地球温暖化のこと
3. 【From Kobe 2020 3月 神戸の春便り】 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月 fkobeR0203.pdf  
● 収録 弥生3月 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月 Photo Album
4. 【From Kobe 2020 4月 令和2年 新しい門出とで合いの春】 fkobeR0204.pdf  
2020年4月春 コロナウイルス蔓延の厳しい春に fkobeR0204B.pdf  
● 収録 A 1. 神戸の桜2020 中央区宇治川添いの桜並木 & 須磨板宿 妙法寺川岸 桜のトンネル  
2. 正確なコロナウイルスを知るために 知人が送ってくれたyoutube アニメ動画  
Youtube Kurzgesagt In a Nutshell 「CORONA VIRUS」 コロナウイルス あなたは何をすべきか  
<https://www.youtube.com/channel/UCsXVk37bltHxD1rDPwtNM8Q>  
<https://www.youtube.com/watch?v=BtN-goy9VOY&t=17s&app=desktop>  
● 収録 B コロナ理解私見【参考まで】「みんながみんな接触数8割削減でコロナ終息へ」
5. 【From Kobe ひまわりの夏 2020】 2020.7.20 fkobeR0207.pdf  
ひまわりの夏 新型コロナウイルス蔓延の中で  
● 収録 ■ 5月中旬・6月のコロナ禍の中で 神戸籠り by Mutsu Nakanishi  
■ 2020.7.10. 梅雨の末期 各地で集中豪雨災害 お見舞い申し上げます
6. 【From Kobe 2020 秋】 実りの秋 爽やかな秋の風を一杯吸い込んで 2020.9.22. fkobeR0209.pdf  
● 収録 ■ まだ続くのか? 年寄り仲間うち内閣もうんざり朝日も皮肉った紙面満載!! 最近の風潮に疑問一杯  
「知恵の学び・行動を軽んじ、自ら考えることを放棄し 通信・情報・AI そのものに頼ろうとする」  
■ 余計なお世話ですが、カード頼りの通帳記載せぬ危うさにご用心  
ドコモ口座事件 わかりやすいと感じたインターネット解説 鈴木貴博:百年コンサルティング代表  
ドコモ口座/パニック拡大、他人事ではない「本当に怖い落とし穴」より 2020.9.18.  
<https://diamond.jp/articles/-/249070>
7. 【From Kobe 秋 11月 コロナ禍の中で】 秋が猛烈なスピードで駆け抜けてゆく 2020.11.1. fkobeR0211.pdf  
2020年の秋を明るくしてくれた秋の草花 秋 11月 コロナ禍の中で 季節の便り届けます  
● 収録 1 コロナ禍の中で見えたインターネット・通信にははびこる無責任  
無責任な通信・SNSなど通信仲介業に仲介責任がとれないのか?  
2 政権交代一か月 新聞等を読んで もう老練政治家から若者へ政治をわたしては・・  
老練が負け惜しみで口にする/パーも知恵も・スピードも  
それに裏付けられた判断・直観力も若者はみんな持っている
8. 【From Kobe 12月 コロナ禍の中で】 コロナウイルスの猛威が止まらぬ師走 2020.12.5. fkobeR0211.pdf  
2020 12月 師走 コロナ禍の中で コロナ収束の道はみんなの願い 季節の便り届けます  
街も人も「3密」防止の行動規制に取り組んで 平常の日々と変わらぬコロナと向き合う師走です  
● 収録 コロナ感染者急増の3波襲来の中で、もう一度基本を問い直そう

# 2020年 四季折々From Kobe を振り返って

2020年 四季折々 From Kobe 思いつくまま トピックス

2021. 1. 5.

四季折々 From Kobe 思いつくまま 掲載記事 8件

Mutsu Nakanishi

2020年 更新ページを飾った思い  
高齢者の劇症化 命の危機が我が身に迫る  
密閉・密接・密集の「3つの密を意識した自制的実践」  
「うつらない うつさない」  
マスク・手洗い・三密空間に近づかない  
コロナに負けるな! 自己の行動節制の毎日  
仲間にも思いを馳せています



一番必要なところの声を救い上げることができぬ日本の社会

自らの実践がない響かぬ日本の施政者の・TVの声 似非専門家の影が見え隠れ

本当の専門家の声の届かぬ刹那の情報化社会のほころびが見えたコロナ禍

高度成長の昭和・日本独り負けの平成を経て いまだに昭和の成功体験にしがみつく日本人が作るモノづくりからグローバル・国際化の波の中 人を外す刹那の通信・情報化社会に突き進んだ日本  
頂点同調を強調しつつ 何もかも自己責任 一番大事な人の暮らしを無視した社会に  
判断・知恵を放棄したと見える日本の日本高度情報化社会

世界的コロナ禍感染大流行の真ただ中にある欧州 ドイツメルケル首相の声が心に響く一年でした。

「・・・せねばならない。考えています。専門家の答申を受けて検討します。責任があると承知します」  
何度聞いたことか・・・。この言葉の中には「…です」の言葉がない。

「自分が行動する やります」がない責任転嫁に終始する言葉だから誰の心に響かない。

具体的な行動はせいぜい「指示した」「報告を受けています」どまり。チェック等自分の行動は何もなし。それが今の日本を席卷する頂点同調の悪癖です。

ぶつぶつ1年間同じことを言い続けたFrom Kobeでした。

次の選挙には立たぬドイツメルケル首相のコロナに対して 国民に寄り添い、呼びかけた演説を耳にして、感動とともに、ギャップの大きさにショックでした。

「ねばならぬ 承知している 考えています」等日本の施政者の常とう句が全くないのです。

まだ先が見えぬコロナ禍の取り組みの参考にも 全文を一度よんでいただければ・・・と。  
2020年コロナ禍の中で コロナ禍対応 心に響いた一文です。

コロナ禍の中 心に響いた一文

2020.12.31. ドイツメルケル首相のコロナ禍で 最後の新年演説

国民に「心の底から感謝」「愛する人たちを守ってください」 2020.31.インターネットより  
心の底から申し訳ない。けれど到底容認できません

「どれだけ多くの人か愛する人を失い、  
最期にそばにいてもできなかったか、  
社会として忘れることは許されない。  
私にはその痛みを和らげることはできないが、  
今も思いを寄せている」と語りかけ、  
新型コロナウイルスで家族や友人などを亡くした人たちに  
寄り添う気持ちを示しました。

そのうえで、最前線で働く医療従事者のほか、スーパーマーケットや公共交通機関、  
それに警察などで働く人たちに感謝の思いを伝えました。



(メルケル首相演説 インターネットより入手した訳文 別添付)

2020年 Home page 更新毎に top の言葉に何を発信しようか…と考えるのですが、2020年はコロナ禍一色でした。

でも、コロナ禍の中で、今まで見えなかった日本の社会の歪もここかしこ

非正規雇用が約3割を超える日本の社会 自己責任 多様な働き方改革と胸を張る施政者・大企業家たち 本日に日常の暮らしに目をむけているのか……とわびしくなった1年。

ひそかな格差の進行と雇用不安が現実問題として噴出した日本 これからどうするのか……

日本が手本としてきたアメリカ アメリカ第一主義を掲げたトランプ政権の行き詰まり・崩壊とそれこそ利己的な中国の巨大化と進出に国際社会も大揺れ。

そこにもう待たなしの状況の地球温暖化による地球規模の気象異常と度重なる激甚災害の頻発。

国際協調が一番必要な時にどうなるのか……

コロナを早く終息して、新しい国際秩序作りの担い手とイノベーションを進めねば……。

それがまた、一番必要なのが同時進行で高齢化が進む日本。

ポストコロナの社会・経済そして人の暮らしの安定化復興をもたらす革新的イノベーションが必要に。

そんな日本の課題が次から次へと噴出したコロナ禍。

明日を信じて、スクラム組んで もうひと働き そんな一年。

何やかや言いながら、2020年のトピックスまで、ぶつぶつ。 本当に厳しいコロナ禍の一年

みんなで スクラム組んで。

Peace on Earth 鉄の惑星地球 今地球規模のスケールでポストコロナを

絶滅を繰り返してきた多くの生物の中で

人類が生き延びてきた道が 鉄と共に唯一人類だけが「相手を思う心」「ヒューマン」を持ち合わせていたことにあった。

過酷な今の時代に人々が忘れ、捨てようとしていることが、唯一人類が生き延びてきた道。

人類の危機・生命の危険に直面したコロナ禍の中で、その重要性が見直され、ポストコロナのキーワードとして見直され始めた「相手を思う心・ヒューマン」

「鉄の惑星地球」産業の側面ばかりでなく、

時代時代の中で いつも人の営みに欠かせなかった「鉄」このポストコロナの新しい時代に必ずや鉄は新しい顔を見せ、新しい産業を生むに違いないと期待している。

そんな鉄の姿も追ってみたい、

考えたこの一年でした。



とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いと。

また、困難の中にある仲間に思いを馳せつつ エールを送ります

仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌 みんなでスクラム組んで 元気に今を

God Be With You!!

いつになく 静かな年の暮れ いつもの散歩を楽しみながら

From Kobe Mutsu Nakanishi

1月 日本人の心の故郷「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて  
地球46億年 鉄の惑星地球 この激動・変革の時代に新しい姿を見せる「鉄」に希望を託す  
【From Kobe 1月 年賀】 2020年 迎春 年の初め

日本人の心の故郷「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて  
地球46億年 鉄の惑星地球 この激動・変革の時代に新しい姿を見せる「鉄」に希望を託す

◎ 和鉄の道・Iron Road 「閃光」と「肌光」鉄のまばゆい輝きに希望を託す

2月 澄み渡る須磨の空 庭には春の草花そして梅の花も咲きだして 春もすぐそこに  
でも インフルエンザ・新型肺炎が猛威を奮っています

3月になればすぐ仲間の同窓会・同期会 嬉しい春が待ち遠しい。

巷ではインフルエンザ・新型肺炎が猛威を奮い、まもなく花粉が飛び交うとの警報も。

でも嬉しい春がもうすぐそこに。

毎日のように山から須磨の海を眺めると気にかかるのは気候変動による激甚災害・地球温暖化のこと。

今日はどこまで見通せるか・・・もう毎walkの日課。

体調の変化にご留意 本当に何もかも 高齢者には厳しい令和の春 お互いスクラム組んで 前向いて

【From Kobe 2020 早春2月 春迎え】 春はもうすぐそこに

● 収録 嬉しい春の訪れ、気にかかるは我が身の健康と地球温暖化のこと

.....まだ新型コロナは他人事だった1月末

2月になって、クルーズ船のコロナ感染の拡大とその厳しさが報道されるにつれ

我が身にも生命の危険をかんじるように。ついに、例年の3月7日の同窓会も中止に

3月 2020 神戸の春便り 新型コロナウィルス蔓延 家籠りの春三月

目まぐるしく移り行く美しい春の息吹 新生の息吹に満ちる春景色。でも 高齢者には厳しいこの春  
新型コロナウィルスに負けないで頑張らねばと人混みを避けての毎日の須磨界限walk に春を探す

【From Kobe 2020 3月 神戸の春便り】 新型コロナウィルス蔓延 家籠りの春三月

● 収録 弥生3月 新型コロナウィルス蔓延 家籠りの春三月 Photo Album

4月 コロナウィルス蔓延の厳しい春 命の不安の中で迎える令和2年度の始まり

4月新生の息吹に満ちて我が家の庭も春色に コロナの脅威を一機に吹き飛ばせと

新生の息吹に燃える春の草花は みんなの応援歌

なんとか みんなの力で早く収束できますように God Be with You!!

【From Kobe 2020 4月 令和2年 新しい門出とで合いの春】

でも 厳しいコロナウィルス蔓延の厳しい春に

● 収録 A 1. 神戸の桜2020 中央区宇治川添いの桜並木 & 須磨板宿 妙法寺川岸 桜のトンネル  
2. 正確なコロナウィルスを知るために 知人が送ってくれたyoutube アニメ動画

● 収録 B コロナ理解私見【参考まで】「みんながみんな接触数8割削減でコロナ終息へ」

7月 ひまわりの夏 高齢者の劇症化 命の危機が我が身に迫る

密閉・密接・密集の「3つの密を意識した自制的実践」

「うつらない うつさない」 マスク・手洗い・三密空間に近づかない

仲間に思いを馳せています



こうへ総合運動公園

明石海峡を見下ろす丘 ひまわり畑で

みんながみんなこっちを向いて

よお〜! コロナに負けるなと 笑顔のあいさつ



【From Kobe ひまわりの夏 2020 】ひまわりの夏 新型コロナウイルス蔓延の中で

- 収録 ■ 5月中旬・6月のコロナ禍の中で 神戸籠り by Mutsu Nakanishi
- 2020.7.10. 梅雨の末期 各地で集中豪雨災害 お見舞い申し上げます

9月 いまだにコロナの厳しい毎日 いかがでしょうか

真青な青空 秋の風 田圃には黄金色の稲穂がゆれ、畔を真っ赤な彼岸花 素晴らしい秋景色  
年寄りには厳しい今年の秋 なんとなく 仲間が気になり、人恋しい  
うまい空気を胸一杯 吸い込んで 気分も新らた God Be With You!!  
朝が来れば「よしっ」と元気に今を

【From Kobe 2020 秋 】爽やかな秋の風を一杯吸い込んで 2020.9.22.

- 収録 ■ まだ続くのか? 年寄り仲間うち内閣 もううんざり 朝日も皮肉った紙面満載!  
最近の風潮に疑問一杯 「知恵の学び・行動を軽んじ、自ら考えることを放棄  
通信・情報・AI そのものに頼る」

- 余計なお世話ですが、カード頼りの通帳記載せぬ危うさにご用心  
ドコモ口座事件 一番わかりやすいと感じたインターネット解説  
鈴木貴博：百年コンサルティング代表

ドコモ口座パニック拡大、他人事ではない「本当に怖い落とし穴」より 2020.9.18.

11月 コロナ禍「3密」行動節制が続く中で 秋が猛烈なスピードで駆け抜けてゆく

秋晴れの空に里は秋桜・そして秋のバラが秋を彩る 秋の味覚も届き 里では秋の収穫に忙しい秋景色  
でも、祭りの便りや賑わいもなく なんとなく物足りない11月の始まり  
先の暮らしに不安は募りますが、愚痴は言うまい

ゆっくりとわが道を振り返りつつ 秋の夜長を楽しむ

若者は生意気ぐらいかちょうどいい 年寄りは…………

自分のことばかりは言っておれないのですが、好奇心と気力さえあればと  
「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」  
とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いと。

また、困難の中にある仲間思いを馳せつつ エールを送ります

仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌 みんなでスクラム組んで 元気に今を

God Be With You!! 2020.11.1. 爽やかな秋の風を一杯吸い込んで

【From Kobe 秋 11月 コロナ禍の中で】秋が猛烈なスピードで駆け抜けてゆく 2020.11.1.

2020年の秋を明るくしてくれた秋の草花 秋 11月 コロナ禍の中で 季節の便り届けます

- 収録 1 コロナ禍の中で見たインターネット・通信にははびこる無責任  
無責任な通信・SNS など通信仲介業に仲介責任がとれないのか?
- 2 政権交代一か月 新聞等を読んで もう老練政治家から若者へ政治をわたしては・・・  
老練が負け惜しみで口にするパワーも知恵も・スピードも  
それに裏付けられた判断・直観力も若者はみんな持っている

12月 師走 コロナウィルスの猛威が止まらぬ師走





コロナ禍の3波が急速に拡大、出口が見いだせない中で一年が過ぎてゆく  
 街も家中也「3密」自製のコロナに振り回された一年 師走の雰囲気もなし  
 残念ながら神戸ルミナリエも中止、クリスマス飾りも控え目  
 でも 神戸にはルミナリエに託した思いがふつつと・・・  
 今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走です

【From Kobe 12月 コロナ禍の中で】 コロナウィルスの猛威が止まらぬ師走 2020.12.5.

2020 12月 師走 コロナ禍の中で コロナ収束の道はみんなの願い 季節の便り届けます

街も人も「3密」防止の行動規制に取り組んで 平常の日々と変わらぬコロナと向き合う師走です

●収録 コロナ感染者急増の3波襲来の中で、もう一度基本を問い直そう

私がなにを思ってきたか それがいまの私をつくっている  
 あなたがなにを考えてきたか それがいまのあなたそのもの  
 世界はみんなのところで決まる 世界はみんなのところで変わる  
 谷川俊太郎 「こころの色」より

何はともあれ、近々の課題 早く収束の出口を見たい。ワクチン開発が今一つ希望の出口。  
 これもみんなに行き渡るようにと期待しています。勝手なことをぶつぶつ 他意なく、好奇心のみです。  
 もともと我慢が苦手。ますますわがままに。心せねば……と。

「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」

健康でいることに感謝しつつ、知恵と判断力と行動力そして好奇心 この思いを失わぬようと。



新しい年を迎え、コロナ終息へ向けて もうひと頑張り

みんながみんな笑顔で暮らせる日が取り戻せますよう願っています。

また一年 よろしくお祈りします 2021.1.5. by Mutsu Nakanishi



## ドイツ メルケル首相 最後の新年演説 コロナウィルスに向き合うにあたって

「国民に心の底から感謝」「愛する人たちを守ってください」全文 2020.12.31.

2020.1.5. インターネットより採取

[ベルリン 31日 ロイター]

ドイツのメルケル首相は、新年を迎えるにあたっての国民向けの演説で、首相を務めた15年間で2020年が最も困難な年だったと振り返った。一方、新型コロナウイルスワクチンの接種開始により、2021年は希望の年になるとも強調した。首相はロックダウン（都市封鎖）への抗議活動を非難し、ワクチンが普及すれば自身も接種する考えを示した。66歳のメルケル首相は「最後に個人的なことをお話したい。9カ月後に議会選挙があるが、私は出馬しない」と表明。「これが私の最後の新年へのメッセージになる」と述べた。



その上で「15年間のなかで、この1年ほど厳しく感じた年はない。また、懸念や懐疑論もある中、新年をこれほどの期待感を持って待ちわびたこともなかった」とした。

首相は、新型コロナの存在を否定する陰謀論者について「コロナ感染で愛する人を失った人、感染の影響に苦しんでいる人にとっては、苦々しいことだろう。陰謀論は誤りで危険だけでなく、残酷でもある。順番が来たら、私もワクチンを接種する」と付け加えた。

### ◎ コロナウィルスに向き合うにあたって：独メルケル首相の新年演説 全文

大野インクジェットコンサルティング (ohno-inkjet.com) 大埜氏訳文

<https://ohno-inkjet.com/?p=27731>

親愛なる国民の皆様

コロナウィルスは現在わが国の生活を劇的に変化させています。私たちが考える日常や公的生活、社会的な付き合い — こうしたものすべてがかつてないほど試されています。

何百万人という方々が出勤できず、子どもたちは学校あるいはまた保育所に行けず、劇場や映画館やお店は閉まっています。そして何よりも困難なことはおそらく、いつもなら当たり前前の触れ合いがなくなっているということでしょう。もちろんこのような状況で私たちはみな、これからどうなるのか疑問や心配事でいっぱいです。

私は今日このような通常とは違った方法で皆様に話しかけています。

それは、この状況で連邦首相としての私を、そして連邦政府の同僚たちを何が導いているのかを皆様に伝えたいからです。

**開かれた民主主義に必要なことは私たちが政治的決断を透明にし、説明すること、**

**私たちの行動の根拠をできる限り示して、それを伝達することで、理解を得られるようにすることです。**

もし、市民の皆さんがこの課題を自分の課題として理解すれば、私たちはこれを乗り越えられると固く信じています。このため次のことを言わせてください。**事態は深刻です。あなたも真剣に考えてください。**

東西ドイツ統一以来、いいえ、第二次世界大戦以来、これほど市民による一致団結した行動が重要になるような課題がわが国に降りかかってきたことはありませんでした。

私はここで、現在のエピデミックの状況、連邦政府および各省庁がわが国のすべての人を守り、経済的、社会的、文化的な損害を押さえるための様々な措置を説明したいと思います。

しかし、私は、あなたが一人一人が必要とされている理由と、一人一人がどのような貢献をできるかについてもお伝えしたいと思います。

エピデミックについてですが、私がここで言うことはすべて、連邦政府とロバート・コッホ研究所の専門家やその他の

学者およびウイルス学者との継続審議から得られた所見です。

世界中で懸命に研究が進められていますが、コロナウイルスに対する治療法もワクチンもまだありません。

この状況が続く限り、唯一できることは、ウイルスの拡散スピードを緩和し、数か月にわたって引き延ばすことで時間を稼ぐことです。これが私たちのすべての行動の指針です。研究者がクスリとワクチンを開発するための時間です。

また、発症した人ができる限りベストな条件で治療を受けられるようにするための時間でもあります。

ドイツは素晴らしい医療システムを持っています。もしかしたら世界最高のシステムのひとつかもしれません。

そのことが私たちに希望を与えています。しかし、わが国の病院も、コロナ感染の症状がひどい患者が短期間に多数入院してきたとしたら、完全に許容量を超えてしまうことでしょう。

これは統計の抽象的な数字だけの話ではありません。お父さんであり、おじいさんであり、お母さんであり、おばあさんであり、パートナーであり、要するに生きた人たちの話です。そして私たちは、どの命もどの人も重要とする共同体です。

私は、この機会にまず、医師としてまたは介護サービスやその他の機能でわが国の病院を始めとする医療施設で働いている方すべてに言葉を贈りたいと思います。あなた方は私たちのためにこの戦いの最前線に立っています。あなた方は最初に病人を、そして、感染の経過が場合によってどれだけ重篤なものかを目の当たりにしています。

そして毎日改めて仕事に向かい、人のために尽くしています

**あなた方の仕事は偉大です。そのことに私は心から感謝します。**

さて、**重要なのは、ドイツ国内のウイルスの拡散スピードを緩やかにすることです。**

そして、その際、これが重要ですが、1つのことに賭けなければなりません。

それは、**公的生活を可能な限り制限することです。もちろん理性と判断力を持ってです。**国は引き続き機能し、もちろん供給も引き続き確保されることになるからです。私たちはできる限り多くの経済活動を維持するつもりです。

しかし、人を危険にさらす可能性のあるものすべて、個人を、また共同体を脅かす可能性のあるものすべてを今減らす必要があります。人から人への感染リスクを可能な限り抑える必要があります。

今でもすでに制限が劇的であることは承知しています。イベント、見本市、コンサートは中止、とりあえず学校も大学も保育所も閉鎖され、遊び場での遊びも禁止です。

連邦政府と各州が合意した閉鎖措置が、私たちの生活に、そして民主主義的な自己認識にどれだけ厳しく介入するか、私は承知しています。わが連邦共和国ではこうした制限はいまだかつてありませんでした。

**私は保証します。旅行および移動の自由が苦勞して勝ち取った権利であるという私のようなものにとっては、このような制限は絶対に必要な場合のみ正当化されるものです。**

そうしたことは民主主義社会において決して軽々しく、一時的であっても決められるべきではありません。

しかし、それは今、命を救うために不可欠なのです。

このため、国境検査の厳格化と重要な隣国数か国への入国制限令が今週初めから発効しています。

経済全体にとって、大企業も中小企業も、商店やレストラン、フリーランサーにとっても同様に、今は非常に困難な状況です。今後何週間かはいっそう困難になるでしょう。

私は皆様に約束します。連邦政府は、経済的影響を緩和し、特に雇用を守るために可能なことをすべて行います。

わが国の経営者も被雇用者もこの難しい試練を乗り越えられるよう、連邦政府は、必要なものをすべて投入する能力があり、またそれを実行に移す予定です。

また、皆様は、食料品供給が常時確保されること、たとえ1日棚が空になったとしても補充されること信じて安心してください。スーパーに行くすべての方にお伝えしたいのですが、備蓄は意味があります。ちなみにそれはいつでも意味のあるものでした。けれども限度をわきまえてください。

何かがもう二度と入手できないかのような買い占めは無意味ですし、つまるところ完全に連帯意識に欠けた行動です。ここで、普段あまり感謝されることのない人たちにもお礼を言わせてください。このような状況下で日々スーパーのレジに座っている方、商品棚を補充している方は、現在ある中でも最も困難な仕事のひとつを担っています。同胞のために尽力し、言葉通りの意味で**お店の営業を維持して下さりありがとうございます。**

さて、今日私にとって最も緊急性の高いものについて申し上げます。私たちがウイルスの速すぎる拡散を阻止する効果的な手段を投入しなければ、あらゆる国の施策が無駄になってしまうでしょう。その手段とは私たち自身です。

私たちの誰もが同じようにウイルスにかかる可能性があるように、今誰もが皆協力する必要があります。

まず第一の協力は、今日何が重要なのかについて真剣に考えることです。

パニックに陥らず、しかし、自分にはあまり関係がないなどと一瞬たりとも考えないことです。不要な人など誰もいません。私たち全員の力が必要なのです。

私たちがどれだけ脆弱であるか、どれだけ他の人の思いやりのある行動に依存しているか、それをエビデミックは私たちに教えます。また、それはつまり、どれだけ私たちが力を合わせて行動することで自分たち自身を守り、お互いに力づけることができるかということでもあります。

一人一人の行動が大切なのです。私たちは、ウイルスの拡散をただ受け入れるしかない運命であるわけではありません。

私たちには対抗策があります。つまり、**思いやりからお互いに距離を取る**ことです。

ウィルス学者の助言は明確です。握手はもうしない、頻繁によく手を洗う、最低でも 1.5 メートル人との距離を取る、特にお年寄りには感染の危険性が高いのでほとんど接触しないのがベスト、ということです。

こうした要求がどれだけ難しいことか私は承知しています。緊急事態の時こそお互いに近くにいたいと思うものです。

私たちは好意を身体的な近さやスキンシップとして理解しています。

けれども、残念ながら現在はその逆が正しいのです。これはみんなが本当に理解しなければなりません。今は、距離だけが思いやりの表現なのです。

よかれと思ってする訪問や、不必要な旅行、こうしたことすべてが感染を意味することがあるため、現在は本当に控えるべきです。専門家がこう言うのには理由があります。おじいちゃんおばあちゃんと孫は今一緒にいてはいけない、と。不必要な接触を避けることで、病院で日々増え続ける感染者の世話をしているすべての方々を助けることになります。こうして命を救うのです。多くの人にとってこれはきついことでしょう。誰も一人にしないこと、声かけと希望が必要な方たちの世話をすることも重要になってきます。私たちは家族として、また社会として別の相互扶助の形を見つけるでしょう。

今でもすでに、ウイルスとその社会的影響に対抗する創造的な形態が出てきています。今でもすでに、おじいちゃんおばあちゃんがさみしくないようにポッドキャストをするお孫さんたちがいます。

私たちは皆、好意と友情を示す別の方法を見つけなければなりません。

スカイプや電話、イーメール、あるいはまた手紙を書くなど。郵便は配達されるのですから。自分で買い物に行けないお年寄りのための近所の助け合いの素晴らしい例も今話題になっています。まだまだ多くの可能性があるとは私は確信しています。私たちがお互いに一人にさせないことを社会として示すことになるでしょう。

皆様をお願いします。今後有効となる規則を遵守してください。私たちは政府として、何が修正できるか、また、何がまだ必要なのかを常に新たに審議します。

状況は刻々と変わりますし、私たちがその中で学習能力を維持し、いつでも考え直し、他の手段で対応できるようにします。そうなればそれもご説明します。このため、皆様をお願いします。

噂を信じないでください。公的機関による発表のみを信じてください。発表内容は多くの言語にも翻訳されます。

私たちが民主主義社会です。私たちが強制ではなく、知識の共有と協力によって生きています。

これは歴史的な課題であり、力を合わせることでしか乗り越えられません。

私たちがこの危機を乗り越えられるということには、私はまったく疑いを持っていません。

けれども、犠牲者が何人出るのか。どれだけ多くの愛する人たちを亡くすることになるのか。

それは大部分私たち自身にかかっています。私たちが今、一致団結して対処できます。現在の制限を受け止め、お互いに協力し合うことができます。

この状況は深刻であり、まだ見通しが立っていません。それはつまり、一人一人がどれだけきちんと規則を守って実行に移すかということにも事態が左右されるということです。

たとえ今まで一度もこのようなことを経験したことがなくても、私たちが、思いやりを持って理性的に行動し、それによって命を救うことを示さなければなりません。それは、一人一人例外なく、つまり私たち全員にかかっているのです。皆様、ご自愛ください、そして愛する人たちを守ってください。ありがとうございました。

## 参 考

メルケル首相 TV 演説 新型コロナウイルス感染症対策について 訳文 2020.3.18.

「事態は深刻です。皆さんも深刻に捉えていただきたい。

ドイツ統一、いや、第二次世界大戦以来、我が国における社会全体の結束した行動が、ここまで試された試練はありませんでした。」

新型コロナウイルス感染症対策に関するメルケル首相のテレビ演説（2020年3月18日）ドイツ外務省

<https://japan.diplo.de/ja-ja/themen/politik/-/2331262>

新型コロナウイルスにより、この国の私たちの生活は今、急激な変化にさらされています。

日常性、社会生活、他者との共存についての私たちの常識が、これまでにない形で試練を受けています。

何百万人もの方々が職場に行けず、お子さんたちは学校や保育園に通えず、劇場、映画館、店舗は閉まっています。なかでも最もつらいのはおそらく、これまで当たり前だった人と人の付き合いができなくなっていることでしょう。もちろん私たちの誰もが、このような状況では、今後どうなるのかと疑問や不安で頭がいっぱいになります。



本日は、現下の状況における首相としての、また政府全体としての基本的考えをお伝えするため、このように通常とは異なる形で皆さんにお話することになりました。

開かれた民主主義のもとでは、政治において下される決定の透明性を確保し、説明を尽くすことが必要です。

私たちの取組について、できるだけ説得力ある形でその根拠を説明し、発信し、理解してもらえるようにするのです。本当に全ての市民の皆さんがご自身の課題と捉えてくだされば、この課題は必ずや克服できると私は固く信じています。

ですから申し上げます。事態は深刻です。皆さんも深刻に捉えていただきたい。

ドイツ統一、いや、第二次世界大戦以来、我が国における社会全体の結束した行動が、ここまで試された試練はありませんでした。

私からは、感染拡大の現状についてご説明するとともに、政府や国・地方自治体の機関が、共同体の全ての人を守り、経済・社会・文化の損失を抑え込むためにどのような取り組みを進めているかをお話しします。

さらにそうした取組において、なぜ皆さんが必要なのか、一人ひとりに何ができるのかについてもお伝えしたいと思います。

さて、感染拡大に関してですが、これについて私がお話しすることは全て、政府と、ロベルト・コッホ研究所の専門家、その他の研究者、ウイルス学者の人々との継続的な協議に基づいています。

現在、世界中で急ピッチで研究が進められていますが、未だ、新型コロナウイルスの治療法もワクチンも開発されていません。こうした状況において、あらゆる取り組みの唯一の指針となるのは、ウイルスの感染拡大速度を遅くする、数カ月引き延ばす、そして時間を稼ぐということです。時間を稼ぎ、研究者に治療薬とワクチンを開発してもらいます。同時に、発症した人ができるだけよい医療を受けられるようにするための時間稼ぎでもあります。

ドイツは、世界有数ともいえる優れた医療体制を誇っています。このことは安心材料ではありません。

ただし、あまりに多数の重症患者が極めて短期間のうちに搬送されるようなことになれば、我が国の医療機関も対処できない状況に陥ってしまうでしょう。これは単なる抽象的な統計数値で済む話ではありません。

ある人の父親であったり、祖父、母親、祖母、あるいはパートナーであったりする、実際人間が関わってくる話なのです。そして私たちの社会は、一つひとつの命、一人ひとりの人間が重みを持つ共同体なのです。

**この機会に何よりもまず、医師、看護師、あるいはその他の役割を担い、医療機関をはじめ我が国の医療体制で活動してくださっている皆さんに呼びかけたいと思います。**

皆さんは、この闘いの最前線に立ち、誰よりも先に患者さんと向き合い、感染がいかに重症化するかも目の当たりにされています。そして来る日も来る日もご自身の仕事を引き受け、人々のために働いておられます。皆さんが果たされる貢献はとてつもなく大きなものであり、その動きに心より御礼を申し上げます。

**現在の喫緊の課題は、ドイツに広がるウイルスの感染速度を遅らせることです。**

そのためには、社会生活を極力縮小するという手段に賭けなければならない。これは非常に重要です。

もちろん、国の機能は引き続き維持され、物資の供給体制は確保され、経済活動は可能な限りの継続を図っていきますので、あくまでも理性と慎重さに基づいて行っています。

しかし今は、人々を危険にさらしかねないこと、個人あるいは共同体にダメージを与えかねないことをことごとく縮小していかなければならないのです。

**人から人への感染リスクをできる限り抑えていかなければなりません。**

日常生活における制約が、今すでにいかに厳しいものであるかは私も承知しています。

イベント、見本市、コンサートがキャンセルされ、学校も、大学も、幼稚園も閉鎖され、遊び場で遊ぶこともできなくなりました。連邦と各州が合意した休業措置が、私たちの生活や民主主義に対する認識にとりいかに重大な介入であるかを承知しています。これらは、ドイツ連邦共和国がかつて経験したことがないような制約です。

**次の点はしかしぜひお伝えしたい。**

こうした制約は、渡航や移動の自由が苦難の末に勝ち取られた権利であるという経験をしてきた私のような人間にとり、絶対的な必要性がなければ正当化し得ないものなのです。

民主主義においては、決して安易に決めてはならず、決めるのであればあくまでも一時的なものにとどめるべきです。しかし今は、命を救うためには避けられないことなのです。こうしたことから、今週はじめより、いくつかの重要な近隣諸国との国境において、国境管理と入国制限措置が強化されています。

**大企業・中小を問わず企業各社にとり、また小売店、飲食店、フリーランスの人たちにとり、状況はすでに非常に厳しくなっています。そしてこれからの数週間、状況は一層厳しくなるでしょう。**

**政府は、経済的影響を緩和し、特に雇用を維持するため、あらゆる手段を尽くす考えであり、このことを私は皆さんにお約束します。私たちには、この厳しい試練に直面する企業や労働者を支援するために必要なあらゆる策を講じる力があり、また意思があります。**

また、食糧供給は常時確保されていますので、どうか安心していただきたい。たとえ商品の棚が一日空になることがあったとしても、商品は補充されます。スーパーに買物に行かれる方に申し上げたいのですが、ストックの買い置きが有意義であるのは、何も今に始まったことではありません。しかしそれは、節度を守ってこそ、です。商品が二度と手に入らないかのごとく買い占めに走るのは無意味であり、結局、他者への配慮に欠ける行為となります。

さてここで、感謝される機会が日頃あまりにも少ない方々にも、謝意を述べたいと思います。スーパーのレジ係や商品棚の補充担当として働く皆さんは、現下の状況において最も大変な仕事の一つを担っています。皆さんが、人々のために働いてくださり、社会生活の機能を維持してくださっていることに、感謝を申し上げます。

ここで、本日、私にとって最も重要な点についてお話しします。国がどのような対策を講じても、急速なウイルス感染拡大に対抗する最も有効な手段を用いないのであれば、それは徒労に終わってしまいます。最も有効な手段とは、私たち自身です。誰もが等しくウイルスに感染する可能性があるように、誰もが助け合わなければなりません。まずは、現在の状況を真剣に受け止めることから始めるのです。そしてパニックに陥らないこと、しかしまた自分一人がどう行動してもあまり関係ないだろう、などと一瞬たりとも考えないことです。関係のない人などいません。全員が当事者であり、私たち全員の努力が必要なのです。

感染症の拡大は、私たちがいかに脆弱な存在で、他者の配慮ある行動に依存しているかを見せつけています。しかしそれは、結束した対応をとれば、互いを守り、力を与え合うことができるということでもあります。

まさに、一人ひとりの取り組みにかかっているのです。私たちは、ウイルス感染拡大を無抵抗に受け入れる以外になすすべがないわけではありません。私たちには対抗する手段があります。

それは、互いへの配慮から人との間に間隔を置くことです。

ウイルス学者の助言ははっきりしています。握手はしない、手洗いを頻繁かつ徹底して行う、他の人との間隔を最低1.5メートルあける、そして今は、特にリスクの高い高齢者との接触を極力避ける。

これらを実際に行うのが私たちにとっていかに大変なことか、私も承知しています。

困難な時期であるからこそ、大切な人の側にいたいと願うものです。私たちにとって、相手を慈しむ行為は、身体的な距離の近さや触れ合いを伴うものです。しかし残念ながら現状では、その逆こそが正しい選択なのです。今は、距離を置くことが唯一、思いやりなのだということを、本当に全員が理解しなければなりません。

よかれと思って誰かを訪問したり、不要不急の旅行に出かけたりすることが、感染につながりかねない今、こうした行動は控えるべきです。

専門家の方々が今は祖父母と孫が会わないほうがよい、と助言しているのは、十分な根拠があるからこそなのです。

不要な接触を避けることは、感染者数の増加に日々直面している全ての医療機関関係者のサポートになります。

そうすることで私たちは命を救っているのです。

接触制限は多くの人にとって厳しいものであり、だからこそ、誰も孤立させないこと、励ましと希望を必要とする人のケアを行っていくことも重要になります。私たちは、家族や社会として、これまでとは違った形で互いを支え合う道を見つけていくことになるでしょう。

ウイルスが社会に与える影響に対し、さまざまな形で立ち向かおうとする創意工夫が見られます。おじいさん、おばあさんが寂しくならないよう、ポッドキャストを録音してあげるお孫さんなども一例でしょう。

私たちは皆、親愛や友情を表す手段を見出していかなければなりません。それはスカイプ、電話、メールであったり、あるいは郵便の配達が続いていますから手紙であったりするかもしれません。買物に行けない高齢の人を近所の人が支援する活動など、素晴らしい取り組みの例を耳にしますし、きっと他にもいろいろできることはあるでしょう。私たちは、互いに置いてきぼりにしないという共同体の姿勢を見せていきます。

皆さんに呼びかけます。どうか、今後しばらくの間適用されるルールを守ってください。政府としては、再び戻せるところはないかを継続的に点検していきます。しかし、さらに必要な措置がないかについても検討を続けます。

事態は流動的であり、私たちは、いつでも発想を転換し、他の手段で対応ができるよう、常に学ぶ姿勢を維持していきます。新たな手段をとる場合には、その都度説明を行っていきます。

ですから皆さん、どうか噂話は信じないでください。様々な言語にも翻訳されている公式な発表だけを信じてください。我が国は民主主義国家です。私たちの活力の源は強制ではなく、知識の共有と参加です。現在直面しているのは、まさに歴史的課題であり、結束してはじめて乗り越えていけるのです。

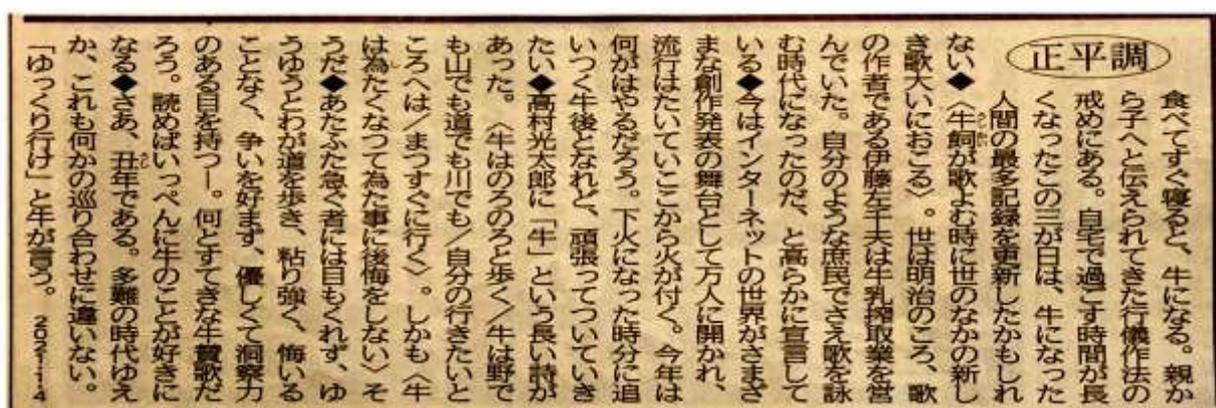
私たちはこの危機を克服していくと、私は全く疑っていません。ただ、犠牲者数はどれほど増えるでしょうか？私たちは大切な人を何人、失うことになるでしょうか？このことは相当程度、私たち自身の行動にかかっています。今こそ、固い決意のもと、皆でともに行動するときです。制約を受け入れ、互いに助けあうのです。

現状は深刻ですが、この先はいろいろな展開があり得ます。ということは、一人ひとりがどれだけ自制してルールを守り、実行するかが、全てではないにせよ、今後の展開を決める一つの要素なのです。

かつて経験したことのない事態ではありますが、私たちは、思いやりと理性を持って行動し、命を救っていくことを示していかなければなりません。例外なく全ての人、私たち一人ひとりが試されているのです。

皆さんご自身と大切な人の健康に気をつけてください。ご静聴ありがとうございました。

ドイツ外務省 総領事館 <https://japan.diplo.de/ja-ja/themen/politik/-/2331262>



2021.1.4. 神戸新聞朝刊「平正調」より

【From Kobe 2020 nenga 迎春】

後期高齢者出迎える新時代 日々新

願いは一つ 平和で穏やかな暮らしでまた一年

2020.1.1. Mutsu Nakanishi



和鉄の故郷 Iron Road

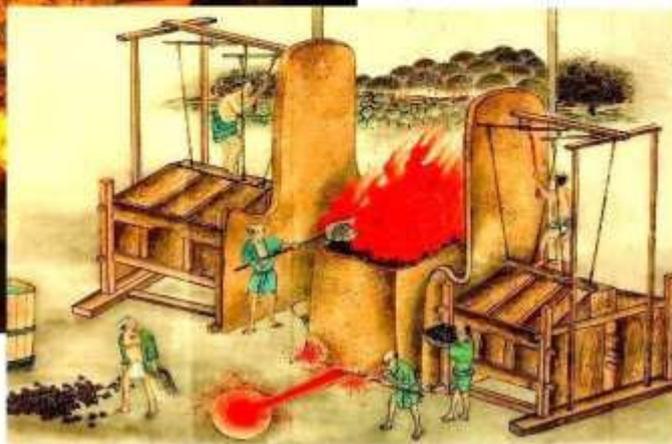
閃光と肌光

島根 日ノ保たたら

山口 白須たたら

鉄のまばゆい輝きに希望を託す

後期高齢で迎える新時代 日々新た  
願いは一つ 平和で穏やかな暮らし



本年もどうぞよろしくおねがいします

令和2年元旦



皆様のご健康とご多幸を お祈りします  
お互い無理せず 仲間の元気を活力に!!  
本年もよろしくお願ひ致します  
令和2年 元旦

2020.1.1. from Kobe Mutsu Nakanishi

日本人の心の故郷「縄文」・そして太古から国土・海を豊かにしてきた「鉄」に思いをはせて  
地球 46 億年 鉄の惑星地球 この激動・変革の時代に新しい姿を見せる「鉄」に希望を託す

◆ [和鉄の道・Iron Road 「閃光」と「肌光」](#)

◆ 山口県阿武町 白須たたら <https://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/4iron13.pdf>

たたら製鉄の各工程の現場を描いた素晴らしい絵図「先大津阿川村山砂鉄洗取之図。」が残っている。

◆ 2019年 和鉄の道・Iron Road を振り返って

<http://www.infokkna.com/ironroad/book/2019bookallironroadtopics.pdf>

■ 神戸淡路大震災 記念日 1.17. を前に 神戸ルミナリエ 2019 *まびかい希望の灯がともりました*



第25回神戸ルミナリエ 2019.12.10.  
今年もたくさんの笑顔にてあえました  
25年前の記憶と失った人々の思い出を胸に  
鎮魂から希望の光の環  
随分感じがわかりましたが、  
でも 光りの環の中に入ると  
初めて灯がともった時の感動がふつふつと  
忘れない 忘れまい あの日の笑顔



25年前の記憶と失った人々の思い出を胸に鎮魂そして希望を託す光の環  
それぞれ一人ひとりの献身、努力、そして愛の象徴

このルミナリエの光が、私たちの心に永遠に輝き続け、世界への希望のメッセージとなりますように。  
全世界に向け、神戸ルミナリエの灯が、今年も灯りました

初めてルミナリエの灯がともったときを今も忘れない  
ルミナリエの灯に託して 震災の記憶を語り継ぎ、互いの「希望」・「つながり」を確かめ合う  
今年も数多くの人たちの笑顔に出会えました  
ルミナリエの灯に 仲間・家族 そして元気に動けたことの感謝と穏やかな日常と平和の願いを託して祈る  
2019.12.10. From kobe Mutsu Nakanishi



ルミナリエの灯に 想いも新た

平和な生活 とともに生きるありがたさをかみしめ 心も新らた

また 一年 前むいて お互いスクラム組んで 老いを笑顔で

God be with You!! 12月師走 Mutsu Nakanis

## ■ 兵庫県花「のじぎく」2019

今年も 逝った仲間をゆづり偲ぶ秋送り 2019.11.18.&11.26

秋の終わり 横尾山の丘を真っ白に飾る兵庫県花「野路菊」

毎日の散策路 須磨アルプス横尾道の丘に、待ち兼ねた兵庫の県花「野路菊」の花が丘一面を真っ白に



兵庫県花「のじぎく」 花言葉は「ありのままの姿・真実」 横尾道 野路菊の丘で

2019.11.18 須磨 横尾道の丘で 2019.11.18



横尾山を真っ白に染める兵庫県花「のじぎく」2019.11.18.&11.26.



横尾山腹を真っ白に染める兵庫県花「のじぎく」 J2019.11.18.&11.26.

今年の秋 街の紅葉も真っ赤に色づいて 例年になく素晴らしい秋景色。

11月の後半 毎日の散策路 須磨アルプス横尾道の丘に、待ち兼ねた兵庫の県花「野路菊」の花が丘一面を真っ白に。

一本の茎から四方に手を伸ばして沢山の白い小さな花をつけ、一斉に南の須磨の海に顔を向けて斜面一面を真っ白にする。花一つ一つは 見過ごしてしまいそうな清楚で地味な白い小菊ですが、牧野富太郎が故郷の路傍で発見した日本固有の純粋種。兵庫県六甲山系が自生地の東限で 東日本では見られぬ花。

兵庫ではかつてごく普通にみられるもあって、兵庫県民みんなが愛し親しむ花として兵庫県花となった。のじぎく国体・のじぎく賞などと色々な名前に冠され、庭先や道端に植えて、楽しんでいる人も多い。

この花が咲き出すと丘にたたずみ、須磨の景色を眺めながら先に逝ってしまった仲間や一年の想いにふける私の秋送り。。昨年もそうでしたが、後期高齢者に仲間入りした今年は本当に親しい仲間が何人も先に逝ってしまってひとしお。

大学時代から今の神戸の生活まで、いつも一緒だった鉄鋼マンの仲間

世界をいつも一緒に走り回った会社の仲間・山仲間の先輩そして会社の上司も

みんな老化・病魔と闘いながらも 元気にエールを送ってくれた仲間でした。

God be with You!! 旅行く仲間を思い浮かべつつ小一時間、惜別の歌を口ずさんでの見送り。

元気で動ける今を感謝しつつ、今も想いは同じ 共に歩むと前向いて

老齢の身には厳しい激動の時代 お互い笑顔で 日々新た

今できることを精一杯 無理せずゆっくりと

「まあええか 元気だして行こう」と励まして  
心は行ったり来たりですが、好奇心さえあれば・・・

🌈 平和を願って 決意も新たに!!



へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。  
ねこがわらう、おなかがいっぱい、やぎのんびり  
あるいてる。ちようめいそうがたくさんはえ、  
よなぐにうまが、ヒビーンとなく。  
みんなのころから、へいわがうまれるんだね。  
これからも、ずっとへいわがつづくように、  
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

安里有土君/詩 長谷川義史/画

- ◆ 安里有土君の詩 (2013.6.23.発表当時小学1年生.)

「へいわって すてきだね」

- ◆ PDF Photo「原爆資料館 & オバマさんの折り鶴」

- ◆ 原爆資料館 映像展示資料 原爆を投下された広島

平和憲法は日本の柱 平和憲法を守ろう  
国の大きな転換点 今 声を上げねば !!

平和を今 自分の頭で考えよう

🌈 困難の中に居られる方々にエールを!!

日々新た 今できることを 精一杯 無理せずゆっくりと

いつも 思いをはせています。

「忘れまい 忘れないで 仲間がいる

暖かい希望の輪がつながっていることを」

神共に居まして

得られるものを変える「勇気」

変えられないものを受け容れる「心の静けさ」

両者を見分ける「叡智」を

ニパーの折り より

God be With you !!



from Kobe Mutsu Nakanishi

🌈 一万年も平和な生活が続いた日本の縄文をユネスコ世界遺産に

家族・仲間に思いを寄せつつ平和の願いもまたひとしお  
平和で穏やかな暮らしが ひろく行き渡るよう

日本人の心の故郷「縄文」を世界の人たちに知ってもらいたい  
一万年も平和で豊かな生活が続いた時代  
世界に類のない日本の「縄文」そのエンジンは「他人を思いやる心」

北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



◆ 日本人の心の故郷 縄文 ◆ PDF 縄文帰りの勧め ◆

一万年も平和で豊かな生活が続いた世界に類のない  
日本の「縄文」社会 そのエンジンは「他人を思いやる心」だった。  
北東北・北海道の縄文遺跡を ユネスコ世界遺産に



「北海道・北東北の縄文遺跡群」を  
ユネスコ世界遺産に

日本の縄文が世界遺産に登録されるようしっかり応援したい

PDF 縄文帰りの勧め <https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomongaerinew.pdf>

縄文のこころを映すストーンサークル <https://www.infokkna.com/ironroad/2015htm/iron11/jyomonslide.htm>

🌈 参考 ジョージ・カーリンの名言  
「老いを楽しく生きるために」



「ストレスをためずに100まで」と。なかなかむづかしい時代。  
それだけに心に響く。

また、仲間・家族がいるのはありがたい。こちらも 同じだけ 意識せねばと

■ 要約「老いを楽しく生きるために」

■ 動画(WMV 動画に変換

“ [Philosophy\\_For\\_Old\\_Age.pps](#) ”

■ 紹介日本語訳全文

【From Kobe 2020 早春2月 春迎え 春はもうすぐそこに】

2020.2.10. Mutsu Nakanishi



仲間がいる 仲間の元気を活力に!!  
お互い 無理せず元気に前向いて  
今日も一日 Good Day  
多くの人にささえられながらも  
元気に過ごしています本当に感謝です  
まだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、  
また一年前向いて  
お互いスクラム組んで 老いを笑顔で



心待ちにしていた福寿草 2020.2.3.  
庭で2つも バッと明るく 春近し



澄み渡る須磨の空 神戸の街・大阪湾がくっきりと。庭先には春の草花 そして梅の花も咲きだして 本当にびっくりするような暖かさ。春もすぐそこに 3月になればすぐ仲間の同窓会・同期会 嬉しい春が待ち遠しい。でも 巷では インフルエンザ・新型肺炎が猛威を奮い、まもなく花粉が飛び交うとの警報も。でも嬉しい春がもうすぐそこに。

毎日のように眺める須磨の海をと 気にかかるのは 気候変動による激甚災害・地球温暖化のこと。今日はどこまで見通せるか・・・もう毎 walk の日課に。



名産「須磨海苔」の摘み取りが始まる養殖筏が並ぶ須磨の海 2020.2.4.  
背後にかすんで紀淡海峡の鳥々が見えている

老化・病気など困難に直面している知人や仲間 過酷な災害に見舞われた人たちへ。

いつも 思いをはせています。「忘れまい 忘れないで 仲間がいることを」  
まだまだ好奇心もある 我が身の健康に感謝しつつ、また 一年 お互いスクラム組んで 老いを笑顔で  
老い行く先のことが気にかかりだしましたが、みんなに助けてもらいながらも、相変わらずの風来坊  
孫バカもやっています。どお互い元気に前向いて God Be With You!!

2020.2.10. Mutsu Nakanishi



空澄み渡る須磨の海 2020.2.4. 鉄拐山より神戸の街



空澄み渡る須磨の海 2020.2.4. 鉄拐山より神戸の街



2020.2.4. 久しぶりに鉄拐山より一の谷 須磨の海にける



名産「須磨海苔」の摘み取りが始まる養殖筏が並ぶ須磨の海 2020.2.4. 背後にかすんで紀淡海峡の島々が見えている



2月4日 鉄拐山から眺める澄みわたる海と須磨海岸遠望 久しぶりにまっすぐ南一の谷を下って須磨海岸へ梅にはちょっと早いが、孫の高校入試のお願いもせねばと須磨海岸の網敷天満宮へ walk の道を取る。まだ 咲き始めでしたが、今年は本当に早い。ほのかに香って心地よい。



梅の花とその根本に菜の花・水仙 早春の花と一緒に見られる須磨離宮の梅林の梅 2020.2.10.

天神さんの梅が咲けば、須磨離宮の梅林の梅も咲いている。今年是我が家の水仙がだめだったので、どうだろうか……。2月10日目ぐるしく日差しが変化する午後 離宮の梅はちょうど見頃に。水仙も菜の花もきれいに咲いて、嬉しい梅見に。さあ 確定申告作って 税務署へ持ってゆく。これで 2020年春迎への作業は終わる。いよいよ春到来 仲間の会・ラグビーそして一番好きな春の妖精 カタクリも咲き始める。待ち遠しい春です。

【From Kobe 2020 早春2月 春迎え 春はもうすぐそこに】

嬉しい春の訪れ、気にかかるは我が身の健康と地球温暖化のこと

地球温暖化にストップをかける炭素固定の循環新技術が 早く生み出されること期待



ぐちは言うまいと思いますが、毎日のように山から須磨の海を眺めると、気にかかるのは気候変動による激甚災害・地球温暖化のこと。今日はどこまで見通せるか・・・もう毎 walk の日課に  
今も世界各地で激変する気候変動が猛威を奮い、地球規模の災害を引き起こし、日本もまた、経験したことがない猛威にさらされている。もう 自分さえ良ければは通用しない。まして 年寄りには・・・  
この早い春の訪れも 地球環境変化による温暖化がもたらした物となると素直には喜べない。

ストップ ザ 地球温暖化!! ストップ ザ CO2 排出増加!!

便利さと暮らしの豊かさと引き換えにもたらした産物。

いまストップをかけないと映画に見るフィクションが現実のものになって我が身を襲う。

でも 現実はそれらに目をつぶり、自分さえ良ければの刹那の豊かさを謳歌の楽観。

もう 刹那に走る 政治家に舵取りを任してもどうにもならない現状だ。

地球温暖化にストップをかける炭素固定の循環新技術が早く生み出されることに期待するしか無し。

澄み渡る早春の須磨の海 神戸の街・大阪湾を遠望しながらぼんやりと・・・

毎日の午後のWalk 鉄拐山山頂から澄み渡る須磨の海 大阪湾を遠望しつつ

2020.2.4. 西六甲 鉄拐山の頂上で ぼんやりと

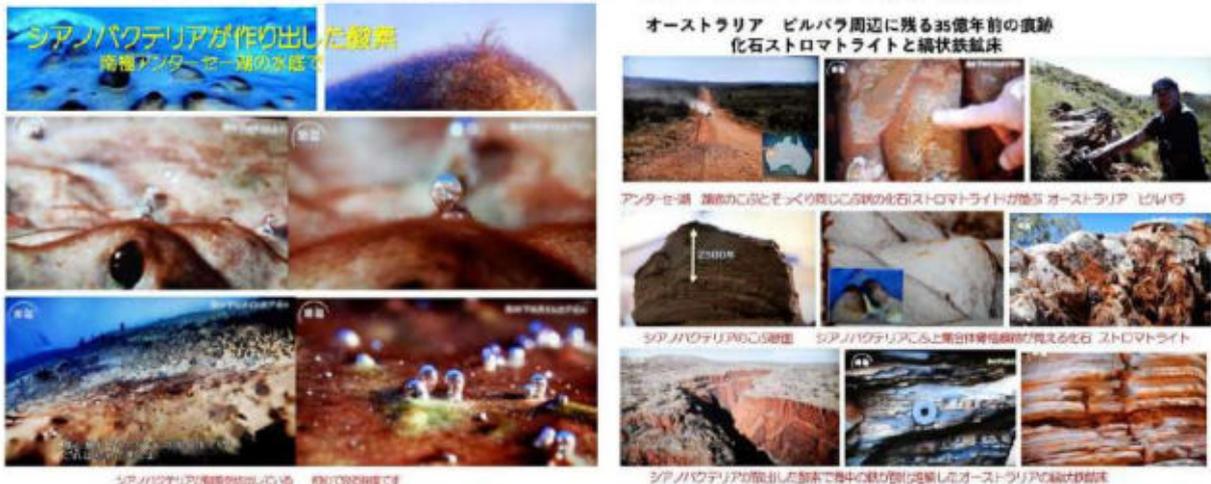
Mutsu Nakanishi

35 億年前 炭酸ガスで満ちていた地球 その海中に溶けていた鉄の助けも借りて、シアノバクテリアがこの炭酸ガスを原料に光合成を行い、CO<sub>2</sub> を減じ、酸素とエネルギーを作り出し、今の現世世界をを作り出した。

地球温暖化にストップをかける炭素固定の循環新技術・環境技術開発に鉄の役割があるかもしれない

口絵-2 地球 35 億年前の痕跡

シアノバクテリアが作り出した酸素と 化石ストロマイトと縞状鉄鉱床



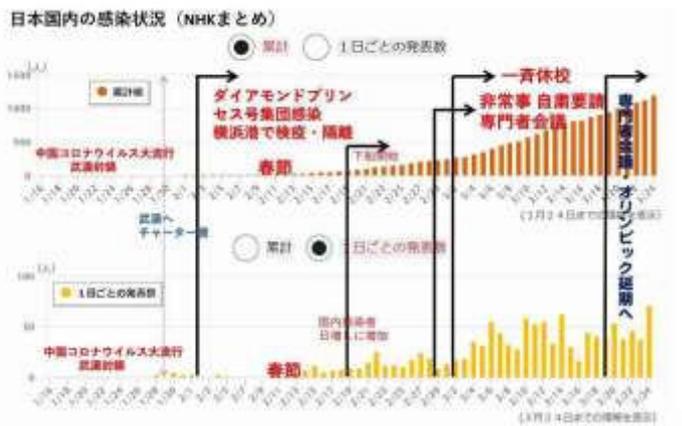
◎ 鉄の惑星「地球」 35 億年前 現在の生物起源に遡る Iron Road の絶景  
南極氷の下のタイムカプセル

光合成を初めて行い、大気の酸素を作るシアノバクテリアの不思議な世界

<https://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/2018iron/18iron02.pdf>

【From Kobe 2020 3月春便り】

### 2020 神戸の春便り 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月



紀淡海峡を背に 春の恵み名産「須磨海苔」の摘み取りの船が見える。 例年だと神戸の春を告げるイカナゴ漁の船も数多く見えるのですが、今年はその姿なし。また、神戸の街にも新型コロナウイルス蔓延の兆し 人の集まる所は避けねば…

同窓会・落語界も中止 ライブハウス・老人施設はえらいことになっている。  
高齢者には劇症化・命の危険が頭をよぎる毎日  
例年とは違う神戸の春到来 遠出は避けての家籠りに。  
なにか明るい話題はないやろか……………



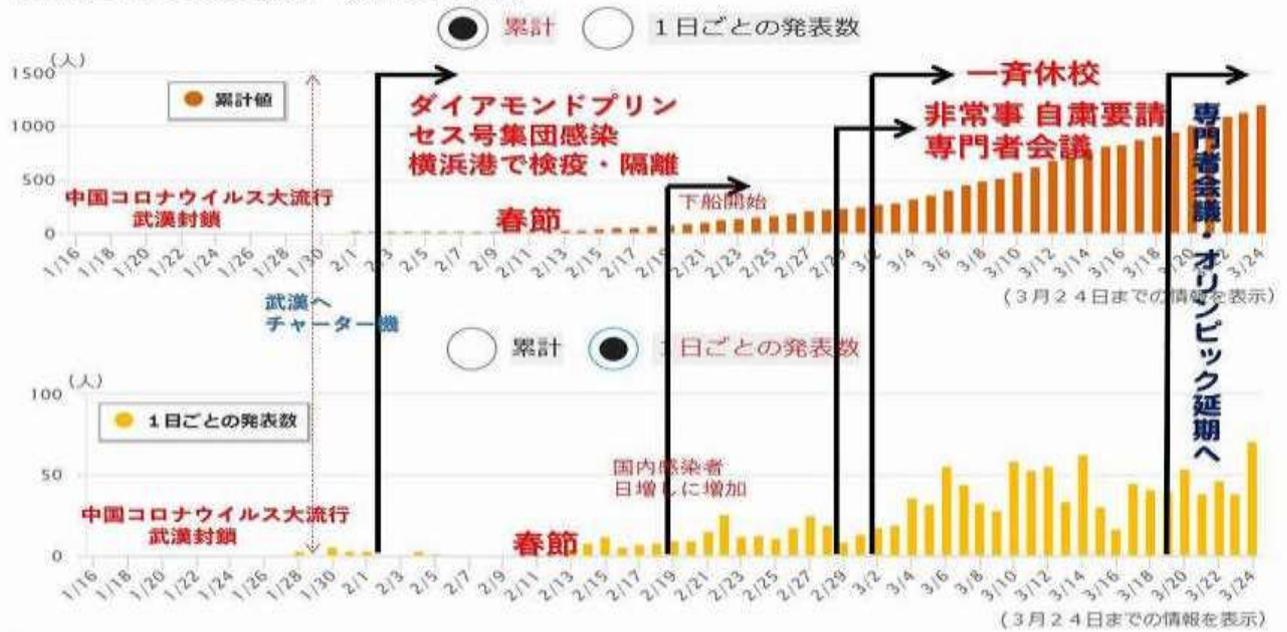
目まぐるしく移り行く美しい春の息吹 新生の息吹に満ちる春景色。でも 高齢者には厳しいこの春

新型コロナウイルスに負けないで頑張らねばと人混みを避けての毎日の須磨界隈 walk に春を探す。  
今年の春到来の便りをスライド動画と Photo Album にして、 気晴らしにでもなればとお届けします



かつてない新型コロナウイルス蔓延の経過と神戸籠り Walk の記録概要 2020.3.1.-3.26.

日本国内の感染状況 (NHKまとめ)



- 紀淡海峡を背に 春の恵み 名産「須磨海苔」の摘み取りの船が見える須磨の海  
例年西神戸の春を告げるイカナゴ新子漁は不漁で見られず
- 西神戸に春到来を告げる菜の花 2020.3.3. 神戸総合運動公園の丘で 例年になく素晴らしい
- コロナウイルス蔓延 全国に拡散 厳しい状況に緊急事態宣言 そして遂に一斉臨時休校に 2020.3.2.
- 出口が見えぬコロナウイルス 長引く外出自粛にストレス一杯の孫たち 2020.3.11.  
家内の実家下鴨の家で京都合宿 コロナウイルスをふっ飛ばして元気一杯 駆けまわる
- 妙法寺車集落の田園地へ土筆探し 2020.3.13.夕
- 久しぶりに須磨アルプス馬の背縦走路を歩くもう春を告げるミツバツツジ 2020.3.18.
- 神戸の春 桜に先駆けて咲くアーモンドの花 2020.3.19.
- 中国から始まったコロナウイルス蔓延 遂に全世界各国で感染爆発 2020.3.19.  
各国の国境閉鎖 経済活動停止・外出禁止の厳しい制限  
専門者会議日本の感染爆発&医療崩壊の危機発表 大都市圏での感染経路のわからぬ感染者が急増
- 東京オリンピック2020 一年延期 2020.20.24.

ワクチン・劇症化改善の薬等の治療法はまだ見えず。治療法のない中での感染爆発の状況と 献身的な医療関係者の新型コロナウイルス封じ込め対応が続いています。

手を下さぬ無責任な評論は無用 現場第一での支援にエールを

高齢者には春到来と浮かれていられぬ命の危機が続いています。そんな受け止めを。

早く終息することを願いつつ、感染せぬよう身を守りましょう

また、手探りで劇症化改善治療に使われはじめた治療薬をはじめ、治療法が確立され、

この新型コロナウイルス克服の日が早くきますよう願っています。



# 2020 神戸 弥生3月 Photo Album

## 新型コロナウイルス蔓延 家籠りの春三月



### 早春 須磨の海 2020.2.28. 西六甲鉄拐山より

予定申告も済 須磨御膳天満宮の梅も咲いて 孫の高松入試も決まり、ホッと一息き  
 思いがけない驚の初陽きにも出会えました さあ この春を楽しまねば…  
 そんな今年の早春に 劇定化するコロナウィルス 高齢の我が身を守らねば…  
 毎年春到来一番の春竹げ行事 高や仲夜の同窓会も老淡の中止に  
 高齢の身に迫りくる切実な足跡 また神戸神戸の星松屋 いかなご新子漁も不漁という  
 なにか もやもやを吹っ飛ばす明るい話題はないやろが…  
 まあ 人のいない山歩きは許されるやろ…と いつものwalkingに  
 意外にも遠望が利く早春の須磨の海  
 今日は曇りの中に四方の景色がよく見える 久しぶりの四方遠望にデジカメバチリと





高齢者には春到来と浮かれていられぬ命の危機が続いています。  
 そんな受け止めを。  
 早く終息することを願いつつ、感染せぬよう身を守りましょう

また、手探りで劇症化改善治療に使われはじめた治療薬ほか、  
 治療法が確立され、このコロナウィルス克服の日が早くなりますように

このコロナウィルスの世界的蔓延により、世界経済がめっちゃめっちゃ  
 リーマンショックをを上回る新型コロナウイルス ショックに

それぞれの生活立て直しにも 多くの手が差し伸べられますよう  
 世界は一つ お互いスクラム組んで  
 God Be With You!!



医療現場で奮闘する医療従事者の皆さんへ  
 感謝です 我が身のお体も大切に

みんなが今できること  
 さくらは来年も咲きます  
 3つの「密」密集・密接・密閉を頭に入れて今は「自制」すること  
 それが自分を守り、家族・仲間を守り、社会・世界を守ります

2020.3.27. NHKニュース 山中伸一氏の言葉より



2020.3.26. From Kobe Mutsu Nakanishi

【From Kobe 4月】

コロナウイルス蔓延 命の危機の中で迎える2020 イースター 復活日

## 4月12日イースター・復活日

愛と希望と幸せが みんなに 降りそそぎますように

草木萌え 花の香漂う春 身も心もあらた

神共にいまして 行く道を守りたもう

新生の息吹に満ちて 我が道を行く

**God Be with You !!**

今の我が身を感謝しつつ

家族・仲間そして世界の人々に思いをはせています

コロナウイルス蔓延 命の危機と自制の日々の中で迎えた本年イースター

独り一人みんなの力を合わせ 一日も早く終息の日が来ますように

奮闘中の医療従事者のみなさまには感謝です  
でも 御身も大切に いつも祈っています

桜に先駆けて咲く  
「アーモンドの花」

アーモンドの花の香りが漂う春  
花言葉は「希望」「自制」「愛」「優しさ」

まだまだ元気 好奇心はある  
仲間が頼りですが、今できることを精一杯



2020年 Easter  
Mutsu Nakanishi from Kobe

Happy

Easter

2020



今 子供から学生・現役・高齢者

みんながみんな一人独りが自分に出来る「コロナにうつらない うつさない」との役割を確実に担うこと。

それが自分・家族 そして日本・世界を救うと知っている。

一つになった心。今 命の危機 感染爆発を食い止めねために、しっかり自覚し、このアクションを起こすことが重要だと。

原点回帰というか 人間が幾多の滅亡の危機と苦難を乗り越えてきた人間の原動力が「相手を思いやる心」。

それが今コロナによる脅威から逃れる一番の武器になっています。

本当に厳しい令和2年度の始まりです。

今 感染者に寄り添いながら奮闘している医療従事者の皆さまほか多くの人のご苦勞を思い浮かべつつ

2020.4.2. From Kobe

Mutsu Nakanishi

医療現場で奮闘する医療従事者の皆さんへ

感謝です 我が身のお体も大切に

みんなが今できること

さくらは来年も咲きます

3つの「密」密集・密接・密閉を頭に入れて今は「自制」すること

それが自分を守り、家族・仲間を守り、社会・世界を守ります

2020.3.27. NHKニュース 山中伸一氏の言葉より



2020.3.26. From Kobe Mutsu Nakanishi



4月12日イースター・復活日  
 春と希望と幸せが みんなに 舞りそまぎますように

春本朝え 花の香まらぬ 身も心もあらた  
 神様にいまして 行く道を守りたもう  
 新生の息吹に満ちて 我が道を行く

God Be with You !!

この春の息吹を感じよう

涙涙・希望でして世界の人の心に響きかけています

コロナウィルス蔓延 命の危機と自製の日々の中で迎えた本年イースター

皆の一人みんなの力を合わせ 一日も早く終息の日が来ますように

世界中の医療従事者のみなさまには感謝です  
 でも 御身も大切に いつも祈っています



春に先駆けて咲く  
 「アーモンドの花」

アーモンドの花の香りが漂う春  
 花言葉は「希望」「自製」「愛」「優しく」



まだまだ元気 好奇心はある  
 仲間がいますが、できることを精一杯

2020年 Easter  
 Mutsu Nakanishi from Kobe



神戸の春 2020.3.19.  
 桜に先駆けて咲くアーモンドの花  
 花言葉は「希望」

コロナウィルス蔓延  
 お見舞い申し上げます

もう 春はずっとそこに  
 お互い 心と口々にまじめよう  
 体調変化に留意して この危機を乗り切りましょう  
 2020.3.22 神戸 中西

4月野山は新生の息吹に満ちて草木萌える春 多くの若者たちが新しい門出と出会いに胸膨らませる令和2年度始まり。

でも 全世界がコロナウィルス蔓延の危機に見舞われ、街は火が消えたよう。世界の経済も動きもみんなストップ  
 特に高齢者にとってはコロナ感染がそのまま劇症化して、死の恐怖に不安一杯。

神戸籠りが続き、感染者数推移の報道に耳を傾け、一向に出口が見えぬ毎日がもう1ヶ月。  
 高齢者はもとより、現役世代・学生そして小さな子供たちもみんなが向き合うぎびしい現実。  
 負けてなるものかと自らを奮い立たせる毎日 如何でしょうか

どうか自分のできることを無理せず今を大事に。

まだ ワクチンも治療薬も開発途上で治療法も確立されていない現状。感染すれば なんとか自己免疫力をたかめて、  
 回復につなげねばならぬ現状。奮闘されている医療関係者に感謝です。どうか御身をも大切に。

2月中国武漢で発生した新型コロナ感染の猛威。そしてクルーズ船客の大量感染。そして韓国・ヨーロッパに波及。  
 まだまだ他人事でしたが、伝えられる武漢の街やヨーロッパの様子に他人事でなくなった。

そして日本国内でも感染者が伝えられ、コロナウィルス感染の危険性が絶叫的な報道にこれはただ事ではないと。  
 感染者の増加とともに、刻々と伝えられる国内の感染状況。我が身にもその危険感じ出す。

高齢者の劇症化のニュースとともに、非常事態宣言・一斉学校休校。そして外出自粛要請が出された。  
 ただ事ではない。絵空事だった海外の様子が一機にわが身のものに。

そして、感染が広がり行く中 桜咲く4月 早く終息してほしいと願いつつ 今も自製の日々が続く。

それぞれの行動が自分ばかりでなく家族・仲間そして世界の人の命に今自らが関わっている。

おかげさでなく 命にかかわる不安感の中にいる。なんとか早く終息の糸口が見つからぬかと。

愚痴は言うまい 数々の問題噴出も 若いも若者も今は一つになって、それぞれ一人独りが

「感染せず、人にも絶対移さない」との意識と自制ある行動」でこのコロナに打ち勝たねば。。。。。

ノーベル賞受賞の山中伸一氏の言葉が心に響きます

コロナの猛威の収束は先が見えぬ長期戦。一人一人の自制がみんなの命 コロナ収束にかかわっています。  
 治療に奮闘している医療従事者の皆さんには本当に感謝 でも御身も大切に。

今れそれが出来ること 密接・密集・密閉の重なる3密空間に絶対近づかぬよう自制すること。

それが自分 家族・仲間 日本を守り、そして世界を守ります。 桜は来年も咲きます。

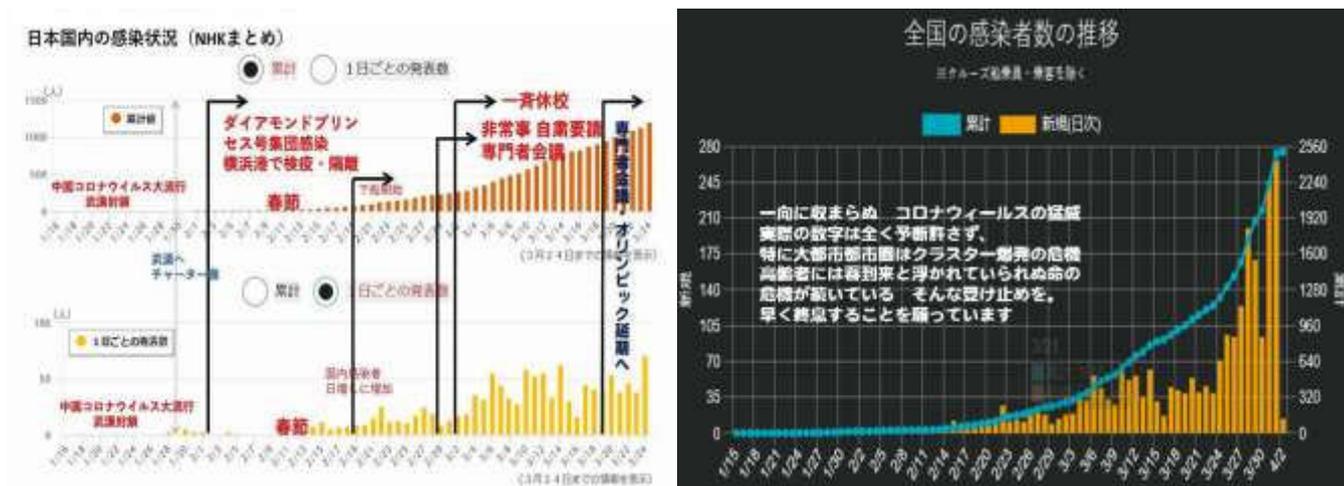
— 2020.3.27. NHKニュースより ノーベル賞受賞の山中伸一氏の言葉

厳しい門出となった若者たちも例外はない。  
でもみんなの力を合わせコロナを撲滅すれば、それはそれで素晴らしい宝物。  
いつもみんながそして世界がつながっている体感を感じての船出  
どうか自分を大切に、元気に前向いて。  
何よりも健康であることの大切さを胸に 仲間と共に大きく羽ばたいてほしい。  
また 高齢者には本当に厳しい現実が突き付けられている。  
でも 独りではない。みんなの助けも得て この難関を生き抜きましょう  
God be with You!! From Kobe



Mutsu Nakanishi

中国武漢で始まったコロナ もう2か月を過ぎても一向に収まらず 世界全体に広がる大流行  
さくらが咲き出せばと思いましたが 今が日本では感染爆発が起こる瀬戸際に



感染爆発の危機に直面している今 死の恐怖を乗り越えコロナ蔓延を収束へ  
老いも若者それぞれが 感染せず また人に移さない行動こそいま必要に

**ワクチン・劇症化改善の薬等の治療法はまだ見えず。治療法のない中での感染爆発の状況と  
献身的な医療関係者のコロナウイルス封じ込め対応が続いています。  
手を下さぬ無責任な評論は無用 現場第一での支援にエールを**  
高齢者には春到来と浮かれていられぬ命の危機が続いています。そんな受け止めを。  
早く終息することを願いつつ、感染せぬよう身を守りましょう  
また、手探りで劇症化改善治療に使われはじめた治療薬をはじめ、治療法が確立され、  
このコロナウイルス克服の日が早くきますよう願っています。

【参考】 いろんな情報が飛び交っていますが、  
正確で具体的な行動判断ができるコロナの情報が必要  
医療につながる知人が送ってくれたわかりやすい  
コロナウイルス解説のアニメ動画。  
英語のYouTube 動画ですが、画像の下に短い日本語訳があります。  
参考になればと添付



■Youtube [Kurzesagt - In a Nutshell](https://www.youtube.com/channel/UCsXV/k37btHxD1rDPwtNM8Q) 「CORONA VIRUS」

コロナウイルス あなたは何をすべきか

<https://www.youtube.com/channel/UCsXV/k37btHxD1rDPwtNM8Q>

<https://www.youtube.com/watch?v=BtN-goy9VOY&t=17s&app=desktop>

## 神戸の春 神戸の桜2020 ほっとした気休めになればと

毎日自製の厳しい毎日 ちょっとほっとした気休めになればと 神戸の春 神戸の桜2020 を届けます  
 もっとも神戸の一本桜「奥平野の舞桜」のある水の科学博物館も休館となり、残念ながら出会えずでしたが。



◎ 桜に先立って咲くアーモンドの花 花言葉は「希望」「自制」

孫たちもみんな門出の春 みんな元気にはばたけ!!と

恵奈は新成人大学3年に 大朗は高校生に 祐森は4年生 祥麻に新小学生に



# 神戸の桜 2020 【1】

中央区宇治川添いの桜並木 & 須磨板宿 妙法寺川岸 桜のトンネル 2020. 3. 31.



右手奥に 諏訪山ピーナスブリッジが遠望  
神戸大倉山 宇治川添いの桜 楠谷町 2020. 4. 7.



2020.3.31. 大倉山の麓 宇治川添いの桜



神戸大倉山 宇治川添いの桜 楠谷町



2020.3.31. 大倉山の麓 宇治川添いの桜



2020.3.31. 大倉山の麓 宇治川添いの桜 楠谷町



2020.3.31. 大倉山の麓 宇治川添いの桜 楠谷町



神戸大倉山 宇治川添いの桜 楠谷町 2020. 4. 7.

六甲再度谷から神戸の中央市街地を流れる宇治川添いの桜並木 大倉山楠谷町で 2020.3.31.



2020.3.31. 大倉山の麓 宇治川添いの桜 楠谷町



2020.3.31. 大倉山の麓 宇治川添いの桜 楠谷町



2020.3.31. 大倉山の麓 宇治川添いの桜 楠谷町

須磨板宿 妙法寺川岸 桜のトンネル 2020.3.31.

神戸の桜 2020 (2) 奥平野の舞桜 & 宇治川添いの桜並木再訪 2020. 4. 7.



3月31日訪れた時の写真があまりにモノトーンに近く、印象と違ったので再度4月7日に訪れ、別のデジカメに替えてパチリ。うまく取れましたので 3月31日の分に加えて掲載させていただきました。どうもカメラ故障のようだが腕かも?



宇治川のすぐ北の高台 水の科学博物館 奥平野の舞桜  
新型コロナ蔓延で休館の為 外側の街から見上げる 2020. 4. 7.

神戸の街を見下ろす一本桜 水の科学博物館構内高台にある 奥平野の舞桜 2020.4.7.



楠谷町を流れる宇治川のすぐ北の高台 水の科学博物館の広場の南端 神戸の街を見晴らす一本桜。満開の桜を精一杯  
拵げ優雅に舞う姿 満開の時だけに見られる姿 今年にはコロナウイルス蔓延で休館中の為、外側から見上げる形に。←  
この春一番の桜 ぱっと気分も明るくなりました。再度出かけきてよかった。これで引っかけりもとれました。←  
少し枝が乱われ、こぶりになった印象 それと構内からの舞姿を見られなかったのは少し残念でした。←



神戸中央区の市街地 大倉山の麓 宇治川添いの桜並木再訪 2020. 4. 7.



右手奥に 諏訪山ピーナスブリッジが遠望  
神戸大倉山 宇治川沿いの桜 楠谷町 2020. 4. 7.



2020. 4. 7. 神戸大倉山 宇治川沿いの桜 楠谷町



神戸大倉山 宇治川沿いの桜 楠谷町 2020. 4. 7.



2020. 4. 7. 神戸大倉山 宇治川沿いの桜 楠谷町



2020. 4. 7. 神戸大倉山 宇治川沿いの桜並木



神戸大倉山 宇治川沿いの桜 楠谷町 2020. 4. 7.



2020.4.7 神戸大倉山 宇治川添いの桜 楠谷町で



2020.4.7. 神戸大倉山 宇治川添いの桜 楠谷町で

神戸大倉山 宇治川添いの桜 楠谷町 2020.4.7.



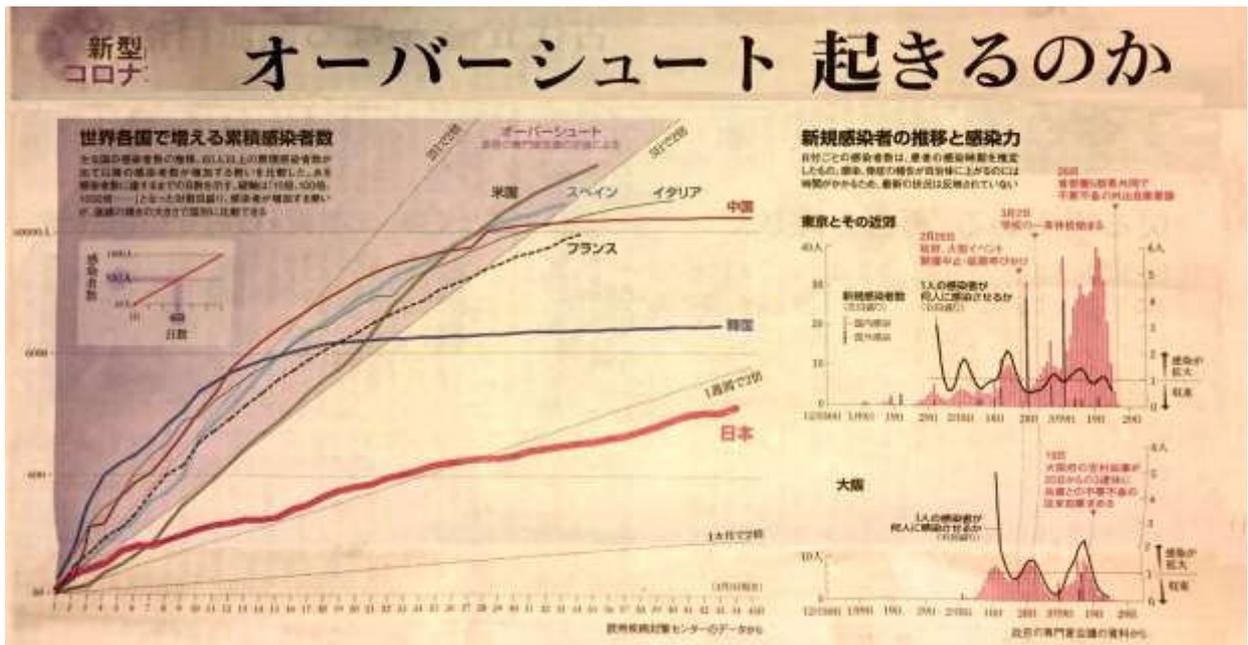
2020.4.7. 神戸大倉山 宇治川添いの桜 楠谷町で

2020.4.7. 神戸大倉山 宇治川添いの桜



# 「みんながみんな接触数 8 割削減でコロナ終息へ」 中西の理解私見

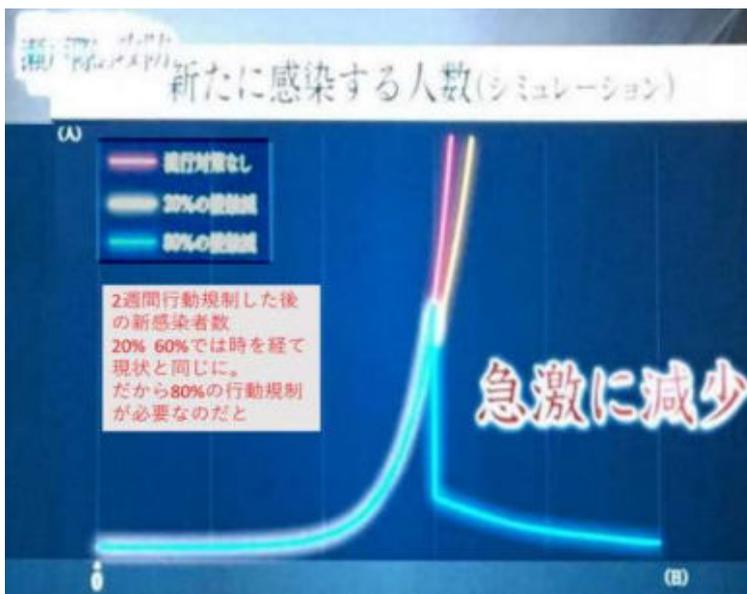
2020.4.11. Mutsu Nakanishi



## 政府コロナ対策班専門家チームのコロナ収束への唯一のアプローチ提案

ウイルス感染の公衆衛生やシミュレーションなどの一級の実践専門家たちが一つのチームを作り、それぞれの専門性を生かしつつ収束できる道を探ったプロジェクトの今できる唯一の道の提案

## 「みんなみんな 2 週間の接触数 8 割削減の行動規制でコロナ終息へ」



コロナにたいして 何もできずなすすべなし。みんな色々貢献してるのに何かできないやろか・・・と「週明けから みんな接触数 8 割削減の行動削減が強く要望されている。

TV ニュース画面で急に大きくクローズアップ 声高で叫ばれる「接触行動 8 割削減の自制行動」

当初 「そんなこと今言われても 誰も行動起こさない 出来っこない」

「また政府や行政 そして中央官僚が聞きかじりの自分勝手なあおり」と。

私も懐疑的な中で 昨日夜 NHKTV スペシャル「新型コロナウイルス瀬戸際の攻防」を見て一遍に替わった。これは大変やと・・・

何が専門かも自認せぬわけのわからん専門家? 集団が出した結論ではないぞと

ウイルス感染の公衆衛生やシュミレーションほかの一級の実戦専門家たちが一つのチームを作り、それぞれの専門性を生かしつつ 収束できる道を探ったプロジェクトの今できる唯一の道の提案だ。

「ここに入ってくる具体的な日本の感染者個々の最新 Data を集積、日本のコロナ感染ビッグデータを解析・シュミレーションした科学的根拠に基づく確かな結論。 先を見通せる唯一の指針情報だと。

私にはシュミレーションの中身そのものの正確さ(精度)は理解できないが、コロナ撲滅への想い そしてきっちり謎解きされる科学的アプローチと解析結果の積み重ね。

過去の対策を今論議 振り返っても仕方がない。過去は具体的な感染者と濃厚接触者のデータに丹念に組み込んだと。医療崩壊 感染爆発が起こる前の今やらんとあかんのや。今でないといけないのだとの思いがひしひしと伝わってくる。

ワクチンも治療法も確立されず、感染者急増が続く毎日。

我が身に迫る 命の危機の不安感から逃れ、コロナ収束にはこれをやるしかないんだと。

やっと接触数 8 割削減と自制期間 2 週間の専門家集団の真意が理解できた。

もっとも私なりの理解ですが……

勝手な私の私見 お役に立てば。すでにご承知の向きにはごめんなさい。

政府・行政そして一般我々も 「なんでやねん 接触数 8 割削減と言ったって電車も動いているし、できっこない話や」と諦め気味だった昨日まで。でも やっとその真意が見えてきた。やらねば収束はできないのだと。

成功・不成功は別にして、 収束へ 確実に一步前へ進める道だ。

本当に命の危機 いまこの接触数 8 割削減を達成しないと感染急増が再スタート。

感染爆発・医療崩壊への道の再開

今 短絡的な経済論が幅を利かしているが、まず、この医療崩壊・感染爆発の道を食い止めないとストップのかからぬ医療崩壊・感染爆発への道 経済・社会の破壊へ一直線だ。まず 先が見えれば 解決策は色々取れる。

## ◎ 専門家たちは言う 約 2 週間我慢するだけで先に光が差し込み

経済・社会崩壊のふちから戻れるのだと。この声に耳を傾けない法はない。

専門家たちが示したデータは確実に今手を打たないと 何か月もいつ終わるかわからぬ都市封鎖間違いなく経済・社会の崩壊を招くと data が示している。

なぜ これらの Data が広く説明されないのだと… 偽らざる私の感想。

この私の感想・理解を知らせるのも 今回の「接触数 8 割減要請」成功の一助にもと。

とにかく 誰一人もれずに接触数 7 割~8 割削減しないと都市崩壊を招く。

## ◎ プロジェクトの解析・シュミレーションから専門家チームが見つけた科学的根拠は次の通り。

### 一番 衝撃的な理由は 3 密空間での感染

日本では 一般の都市生活空間にいる感染者の 8 割はほかの人に感染せず完治。

残りの 2 割の感染者が約 1.8 人に感染させていることがわかってきた。

この 2 割の感染者がクラスター集団を作って感染を広げているので、これを隔離すれば新たな感染は止まる。

でも 3 密空間では 一人の感染者かが感染させる数は 1.8 人とデータが示しているという。

倍々ゲームのすごい数字だ。 初めて知る 3 密空間の感染力。

ところが、今このクラスターと呼ばれる 3 密空間の感染が感染急増の中に隠れて、見つけ出せなくなっている。

これがすべて……。

2 週間 誰もが感染しない空間(非接触空間)に身をひそめる自制を行えば、

理論上この期間内に感染発症がみな生じる。感染している人をすべて隔離し、街には一人も感染者がいなくなる。

また、同時に感染者隔離と濃厚接触者を辿る管理をすれば、多数者の感染者を作るクラスター集団が発生する三密空間がうきぼりになる。 この未知の三密空間の徹底叩き潰しが今回の意図だとわかってきた。

この二週間の自制後のスタート時点では 街には感染者はおらず、海外からの感染者の入国を止めれば、理論上日本に感染者はいなくなる。ところが、この自制が緩んでいると、未知の三密空間・クラスターが街に残り、そこから感染がまた急激に進む。

接触数 8 割削減が完全な 10 割削減(外国がやっている都市封鎖がこれにあたる)とどれほどの差が出たのか、シミュレーションの詳細な差をわれわれが知ることはできない。でも この丹念な解析構成は理解できる。

プロジェクトのメンバーたちはシミュレーションの結果から、接触数 8 割削減を行うことで、未知の三密空間とクラスター集団をあぶりだし、感染者を管理して、クラスター集団撲滅を図れると自信を持っている。

一人ぐらゐと隠れて自制行動を行わず、この接触数 8 割削減が崩れると 再開後 街にはそれだけ未知の三密空間とそこに集まった人たちの感染者が生き続けることになり、解除後爆発的感染を引き起こす。

患者数が倍々ゲームで感染者が膨らむ。

**この未知の三密空間の徹底叩き潰しに必要なのが「接触数 8 割削減と 2 週間の一斉自制期間」である**

**この「接触数 8 割削減 2 週間の一斉自制」の提案が 成功することに協力したいと。**

**そして 街からまず 3 密クラスター集団が消えて 収束の道が開けるよう期待しています。**

- ◎ 専門家たちはこのシミュレーションからこれからの感染方向をはっきり見据えている。接触数の 8 割削減してみんなが 2 週間過ごせば、クラスター集団全部が表に出て完全に管理できる。これで感染全体を制御できる方向へ転じることが出来る。これに失敗すれば……・どつぽと。示されたデータ詳細は分からぬが よくコントロールされた専門家の論議である。
- ◎ ニュースは命の危機を忘れた損得を考えた経済論ばかり それも方向が見えぬ相変わらずの理念なき損得論でも今 専門家が示した接触数 8 割削減行動 2 週間 すごい説得力あり。経済論はそれからでも???? やらなくても 1 か月以内に都市封鎖に。それももっと先が見えぬ中で。

専門家チームもプロジェクトの途中 感染者急増に、皆制御の道を諦め、疲れ切って一時は何もできなくなり、思考もストップ。諦めの中にいたという。でも、あきらめず一つの望みとして見つけた突破口がこの接触数 8 割削減の行動自制の達成だと聞く。

一方 今急速に TV 等では 治療薬と休業補償の話ばかり…。もう 封じ込め諦めたというのか… 確かに治療薬開発が間に合えば それが一番であることはたれも知っている。

でも 直ぐ間に合う治療薬がいきわたる道はない。医療従事者の献身的奮闘が続いている。

また 医療従事者の感染も広がっている。

今 希望的幻想の中に諦めて浸っていても収束の道は見えぬ。

私は諦めず 2 週間我慢すれば、道が開けるといふ専門家にみんなで かけたい。

ほっとけばこの経済もさらに深刻が倍加する。

暢気に構えている間はない。これで本当に先が見えるなら 2 週間の行動自制。

先が見えるなら政治家集団よりそちらにかけたい。

また、政府はなぜ休業補償をためらうのか… それこそが政府・政治の一番の仕事だろう。

株の下落の支えや東京改造にかけた金額を考えれば…。

世界はすでにどこも数兆円規模の休業補償 広範な所帯給付に舵を切っている。

政治家の墮落がまた日本の高度成長情報社会の負の遺産指導力のなさが今噴き出しているとするのは私 年寄りボケのあほな議論なのでしょうか……

NHK を見ているデータ等を下記添付させていただきました。

### 専門家のシュミレーション

#### 「接触7〜8割削減」効果は「感染抑制できる」

日本では感染者の8割はほかの人に感染せず完治。残りの2割の感染者が約1.8人に感染させていることがわかってきた。この2割の感染者がクラスター集団を作っている感染を広げているので、これを隔離すれば新たな感染は止まる。

日本ではクラスターをすべてを早期に見つけ出し、隔離する態勢が取られ、第一波の感染急増が防止されてきた。

ところが、現在の状況はクラスターの急増で、隔離できていぬクラスターが後で活動していて、感染爆発の危機、みんながみんな余の危機に直面している。

一方、専門家集団は、第一波の感染者解析から一般環境では感染者の8割はうつさず、残りの2割がほぼ2人に感染させていることや三密空間では18人に感染させるというびっくりする数字であることを見つけ出した。

ここから諦めかけていた医療現場・感染爆発から逃れる唯一の突破口を見出した。

感染者が急増している現状では、見えない感染者・クラスターが多数存在し、すべてのクラスターを全部もれなく見つけ出せない。隠れたクラスターが感染を広げ、急激な感染者急増を招いている。一波の対策が全くなかなくなっている。

99%の感染者の6割が行動規制しても、1%の感染者が行動を変えないと感染者数は1.2倍に。さらに感染者は日とともに急増してゆく。でも8割が行動規制すれば・・・「少くぐらい ひとりぐらい」の勝手な行動が許されぬ事態になっている。

この重大な危機を日本では、なかなか共有されていない。

専門家集団がこの危機を訴え始めた。

未感染者も感染者も含め、住民全員が行動規制して、接触を8割減して新たな感染を防止すれば、今は隠れているクラスターも含め、この2週間で、発病しているほぼすべてのクラスターを見つけ出すことができる。

ワクチンも治療薬もなく、治療法が確立しておらず、感染者の自己回復力をたかめる治療しかできぬ現状の突破口の発見

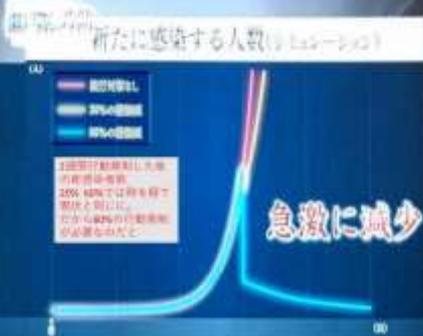
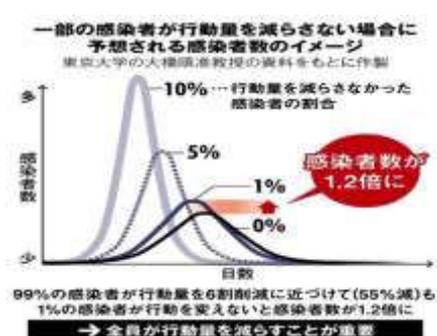
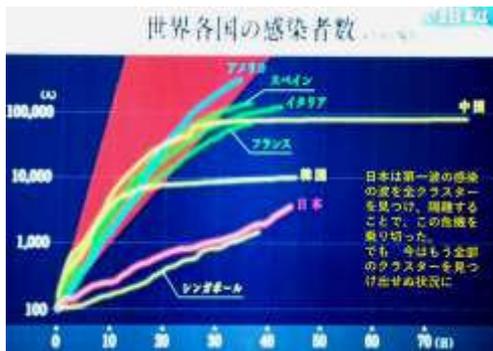
この2週間で、落ちこぼれなくすべてのクラスター群を管理できる状態を作る。これで医療崩壊・感染爆発も防止し、コロナ克服の展望が開ける。これが専門家集団が見つけ出した今取れる唯一の方法だ。

8割なんて日本では幻想、それこそ都市封鎖でもしないと経済も社会もつぶれる。でも専門家集団はたった2週間克服するだけで、あとは回復の道がたどれる。「経済・社会がつぶれる」というが、今の状態だって、真綿で首を絞めているようなもの。それも回復不可能になる状況をただ待っているだけだと、2週間みんな何としてもがんばろう!!と。

出来る8出来ないの議論ではない。落ちこぼれない8割削減をやらねばならぬ。これで落ちこぼれなく、クラスターをすべて見つけ出す。これが、専門家集団の出した結論です。

考えてみると5月は10連休、正月だって5連休ではないか、2週間の活動規制が我慢できないか???

対応が遅れば遅れる程、経済・社会の回復力は養えるだけ。そしてその結果は同じ効果をもくろむ各国がやってきた都市封鎖。そして、経済も社会もずたずたに。いまだたら、元の元気な姿に戻れると。



見えないクラスター感染はほっておけば倍々ゲーム。麻雀をやる人は周知のとおり。このクラスターを全部 表に出し管理するのに今でなければ・・・そして接触行動を8割削減して2週間我慢する必要がある。ここから立て直しに走ったって十分ではないか・・・でも、脱落者が出ればそれこそ砂上の楼閣。今は専門家たちの健闘にかけたい。

長くなりましたが、コロナ抑え込みの理解にちょっとでも役に立てれば・・・と。私の勝手な思い、こんな意見もあると、皆様の理解・ご判断の役に立てばと。2週間後、先に光が差し込みますよう長々とごめんなさい。なににはさておいてもみんな、三密を頭において接触行動の自粛で「うつらず うつさず」でこの2週間をご批判もあると思いますが、私見披露で少しでもお役に立てば・・・ピンボケならば年寄りのたわごとと切り捨ててください。今日は、くしくもイースター、復活日人も街も復活の光が差し込みますように God be with You!!

2020.4.11. Mutsu Nakanishi 4.11 仲間に送った PDF file を整理加筆しました

【From Kobe 7月 2020】

コロナ禍の中で迎えた ひまわりの夏 2020

2020.7.20. Mutsu Nakanishi

密閉・密接・密集の  
「3つの密を意識した自製の実践」  
「うつらない うつさない」  
マスク・手洗い・三密空間に近づかない  
仲間に思いを馳せています



仲間がいる 仲間の笑顔はみんなの応援歌!!  
お互いスクラム組んで 今を元気に  
新型コロナも乗り越えて ホッと一息  
でも寂しいのは道半ば  
嵐は思わぬ 途中でにもどる世を  
God Be with You!!  
From Kobe, Mutsu Nakanishi



ひまわりの夏 2020



神戸運動公園の丘で 2020.7.1. from Kobe  
Mutsu Nakanishi

## 暑中お見舞い申し上げます

いまだに新型コロナ禍収束は道半ば  
梅雨末期の集中豪雨にコロナ禍 わが身に迫る厳しい夏に  
コロナ感染・集中豪雨・熱中症にも気を付けて  
仲間の笑顔はみんなの応援歌 スクラム組んで元気に今を

コロナ禍がまたぞろ増加しだし、地球温暖化の激変気象 梅雨末期の集中豪雨が各地を襲う  
晴天時の猛烈な暑さも加わって、高齢者には命の危険を感じる厳しい時節 自製の毎日 いかがでしょうか。  
被災された皆様に思いをはせつつ、一日も早く穏やかな暮らしに戻れますよう お見舞い申し上げます。  
例年ならばもう梅雨明けなんですけど、今年はまだ梅雨明けの厳しい夏 神戸籠りの毎日に  
これが日本か・・・と思える政治に振り回されるドタバタは目に余る。  
でも みんな懸命。愚痴は言うまい。前向いて。  
何はともあれ、政府の行動規制は解除となり、コロナ封じ込め道は見えたと。  
でも またぞろじわじわ増えるコロナ クラスターの増加。終息には道半ば。

わが身の安全・コロナ撲滅なくして 生活・経済再建の道なし。  
政治・TVなどの勝手な利益誘導に惑わされずにと。  
この厳しい夏 無理せず 体調に留意して 時には声出して 助け合いながら御身をお守りください。  
**行動が自分 家族や仲間 日本そして世界の命を守ります。**

**治療に奮闘する医療従事者のみなさんへ 本当に感謝です 御身も大切に**  
また、困難の中にある仲間に思いを馳せつつ エールを送ります  
仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌  
みんなでスクラム組んで 元気に今を  
**God Be With You!!**

2020.7.20. ひまわりの夏  
From Kobe Mutsu Nakanishi





この梅雨時にひっそりと雑木林の中でひっそりと咲く合歓の木  
静かな散歩道の道すがら「合歓の木のその下で」の歌を口ずさむ夏



コロナの行動規制が解けて ホットー息

学校も再開 生徒や生徒たちの華やぐ声に街に活気が戻ってきました もっともみんな街ではマスク姿です  
我が家の孫たちも元気に登校 先日は車でのサッカー観戦 TVや地元紙に掲載されました  
また、例年 仲間と応援観戦する高校野球も観戦はできませんが、試合が始まりました。  
また再流行の兆し、またまた仲間の会は中止に。何とか収束に向かってほしい。  
でも 今朝 朝顔が今年初咲きでした。うれしい初咲き 毎日が楽しみに 2020.7.22.

夏の高校野球兵庫大会 2020.7.19.  
県尼2回戦 県尼8-4 市西宮で快勝3回戦へ

高神地区2回戦 県尼崎 8 - 4 市西宮

県尼崎 >

1	2	3	4	5	6	7	8	9	取
3	0	0	3	0	0	2	0	0	8
0	0	1	0	0	2	0	0	1	4

市西宮 >



県尼崎、市西宮に快勝 主将矢野、投打でチームけん引



■夏季大会 県尼崎8-4市西宮

エースで4番の主将。昨秋県大会8強の市西宮との公立対決を制した県尼崎の快勝劇は、矢野の存在なくして語れない。「これまでたくさん経験させてもらったので」。1年夏から公式戦で心身を鍛えてきた矢野の口調は、落ち着きかつマウンドさばきそのものだ。



本年初咲きの京朝顔 ふら〜と一息  
これから毎朝が楽しみに

2020.7.22 月

何はともあれ、この厳しい夏を お互い無理せず 前向いて 乗り切りましょう

4月以降 コロナ対応行動規制の家籠り ちょうどインターネットに収蔵しているホームページの収蔵容量も満杯近くになって、ホームページの手入れをはじめ、ホームページ更新できずのまま、づるづるひまわりの夏に。ひまわりの夏の便りをお送りせねばと。

この間 神戸家籠りの不安定な状況がいまだ続いています、家族ともども元気に過ごしています。

コロナで時代・社会が変わる 高齢者には厳しい混乱の時代 よろしくお願ひします。

以下5月・6月 自己行動規制の家籠り中 勝手気ままに感じたことなど書き残しメモです。

気持ちはもう口癖にもなりましたが、God be with You!! 無理せず 前向いて

---

## ■ 5月中旬から6月のコロナ禍の中で 神戸籠りの記録 by Mutsu Nakanishi

---

### ◎ 2020.5.22. 仲間への便り from Kobe 5月 やつと行動規制がとけました

近畿圏はやっとコロナ対応行動規制の緊急事態宣言延長も解けて普通の生活に戻れる道が開けました。

kobe から一歩も出られずでもう飽き飽き。 さあ これからや・・・と。

でも 関東首都圏はまだ道半ば・・・ まだまだ不安感が募る日々 もうひと頑張り。

クラスター対策を肌で感じた大阪と東京の差ですかねえ・・・

大阪府の吉村知事みたいな理のわかるリーダー居ないのか・・・と。 いかがでしょうか・・・。

でも 関西も経済活動が始まると またクラスターが発生も視野に当分は注意せねばと。

今回でクラスター防止の自己規制でクラスター封じ込めればカバーできるとわかったので 気分的には楽に。

なんせクラスター3 密環境の感染力は1人が40人も感染させる40/感染者再生産係数になるというから大変です。

通常の街では最近の関西は <0.1/感染者再生産係数ですから、クラスター撲滅成功がコロナ封じ込めのカギ。

東京はまだまだ分からぬ発生が多く不安感ばかりが募る緊急事態宣言継続に。

◎ 高校野球 今頃は毎年 仲間と一緒に母校の応援観戦に出かけていましたが、 今年も秋の大会までオール中止。

去年は県体に出場し、今年もと期待一杯でしたが、寂しい限りです。

同窓会も来年。一度みんなと会いたいなあ。

◎ 仲間が集うホームグランド串焼き栄太郎の店も 夜営業再開とマスターから聞いていますので、

仲間の会も順調にコロナおさまれば・・・。

「準備 ok みんな集まろう」との声がかれば集まりましょう。

まだ お互い予定決まらずですが、まず 通常の日常に。 無理せず元気に。

この5月もどこも出かけられずですが、孫とあそんだり、昔作ったのホームページの手入れをしています。

色々眺めたり、作り直したり。思わぬ発見もあったなかなか進まずです。

コロナの私見と最近のWalk の動画送ります。コロナがやっぱり気にかかるつぶつぶ。

気分変えたいなあ動画のBGM カントリーにして。

#### ■ 20200512 鶴崎獅子が池 walk

<https://www.infokkna.com/xfree/coronakobe3/sisigaik2020.mp4>

#### ■ コロナ対策政府緊急事態宣言解除について私見 & 5月 walk スナップ

<https://www.infokkna.com/xfree/coronakobe3/coronafkobe20200522.pdf>

病気と対峙されている仲間にとっては まだまだ予断許せぬ状況と察しつつ、

またの復帰を期待しつつ、見守ることしかできませんが、仲間がいる 仲間の元気を活力に!!

お互い 無理せず 今を笑顔で次の再会を期待して God be with you!!

引き続きよろしくお願ひします。 また近況や日頃の話等お知らせください。

2020.5.22. 神戸中西

---

### ◎ 「心でつながる」誰かにそばにいて欲しい

小橋昭彦氏からのメール 今日の雑学+(プラス)3月31日号に見つけました

困難や大きな災害に直面した時 人は「誰かそばにいてほしい」と思う。

今回のコロナ対策として、外出自粛がこれほどストレスになるとは想像していなかった。

ならば人間にしかできない方法で立ち向かおう。

この世界には同じように不安におびえる人たちがいると想像しよう。

それらの人たちと連帯していることを。 心でつながっていることを。

また、この期間中 気に掛かっていた親しい仲間や実兄など幾人もが先に逝ってしまった。

もう一度 会いたかったあいたなあ・・・と丘に登り惜別の歌を口ずさむ。

God be with you!! もう そんな歳になったとつくづく。 仲間にあいたいなあ・・・

またロンドンデリーの歌(ダニーボーイ)のメロディが

クリスチャンの聖歌にあるのを初めて知りました。 何とはなしにいつも懐かしいメロディです。

## 2020.5.21.政府のコロナ対応行動規制の政府緊急事態宣言延長解除 中西私見From Kobe 大阪ほか近畿3府県解除と東京都ほか関東首都圏・北海道の継続 2020.5.21.

2012.5.19.に延長が発表された政府の緊急事態宣言が解除された。

ニュース報道などの情報を聞いているとやっぱり関西と関東圏でその受け止めが非常に異なっている。

関西圏では 吉村大阪府知事が示す具体的な現状とコロナ防止アプローチ・出口戦略に耳を傾け、それぞれが自分のこととして自己規制し、コロナ撲滅の道を注視したことが現在の状況を作り出した。

なんといっても吉村知事・専門家委員会のメンバーが示した「ほっといたら40万を超える感染志望者が出る」との警鐘を一般に公表し、クラスターつぶしの重要性和3密自主規制を訴えた成果は大きかった。

それにひきかえ 関東圏知事や政府はいまだに感染者数の推移のみに着目した報告「まだコロナが収まりきらぬ」と傍観者の報告を繰り返しているのとは大きな差がある。情報が市民の意識も……。

関東圏ではこの間全くと言ってよい程 クラスター対策の具体的な中身は情報がなく、十分な対策が取られているとは見えず、ほころびが見え隠れ。そして 市民・国民との一体感そして切迫感もTV等の報道を見る限り、施施政者側・市民側どちらにも感じられない。騒ぎ立ててもクラスターが2波・3波の感染爆発の根にあることを見ていない。すなわち行く先が見えず、不安感をあおる出口の見える情報が一つもなし。

市民までもが関西吉村知事の方に耳を傾けている。このままでは また2波・3波の感染爆発が目に見えよう。

関東圏ではみんなが宣言継続やむなしと。でも継続でどんな行動起こすの?。不安な行動規制に身をまかすのか?

また 最近では感染対策チーム・専門家会議が出した40万人死亡の警告を批判する学者まで。

この警告シミュレーションに呼応したみんなの3密行動規制がもたらした成果すら見えていないのである。

先日ある学者が発表した最近のシミュレーション結果が今回の発生者カーブやピークを経て減少するカーブが一致していると、40万人警告を批判している記事を見た。

まだ 学者の中にこんな「後出しじゃんけん」のシミュレーションをやる学者がいるのかと。

中身を読むとほとんど先の西浦シミュレーションの感染再生産者数/人と見えてきたピーク日を

それぞれ変更して導入して、シミュレーションしているようだ。一致するのが当たり前なのだ。

その数値の変更・ピーク日ができたことこそが今回の1ヶ月に及び3密行動規制を伴う緊急事態宣言の成果だ。

クラスターの極めて大きな感染力とその撲滅を明確に指摘し、今回の緊急事態宣言の日本版都市封鎖を指導した専門家集団そして 津々浦々市民に理解し、自制行動を起こさせた吉村知事の功績は極めて大きい。

日本版都市封鎖が1ヶ月という短期間で解除できたのは日本のみである。

今 政府・行政がやらねばならぬのは 街に残存するクラスターの根絶対策と新しいクラスター対に具体的に目を光らせ先手も打って、取り戻せた日常生活へのアプローチをもとに経済再建を進めることである。

関東圏も一つになって自分のことと認識して、早く手を打つ道を!!。そしてお互い2波・3波に備えよう。

政府のコロナ対応給付金の申請書類が5.19.我が家にも届いた。俺も絶対もらうぞ!!と 昨日申請書を提出。でも、申請書手続きがいくつまで 本当に受け付けてもらえるのか大変。政府が本当に付け焼刃で作った制度であることまるわかり。

1. 一番スピーディと言われた電子申請は大混乱  
二重申請や受け付けられた申請のほぼ半分が記載不備などで申請完了にならず、受付窓口である自治体は照会作業におわれ、ついに電子申請ストップに。なんで電子申請なのに、受理チェックしないのか・・・。税務署やってるのに・・・。
2. 申請書を送付で手続きも書いてあることがややこしい、迷うこと多し。  
細かいこと書いてある割にいらんこと書いてあってよくわからぬ。  
面白いのは通帳のコピー添付。  
銀行の通帳名義人名前欄カタカナ印字なので 裏に漢字で氏名を書くこと  
また、口座の中身コピー添付。通帳の中身コピーはしたらかんでは?  
通帳の中はコピーすると全体が見えにくくするため、銀行印刷部はコピーでは見えにくい。黒の印字部と銀行印刷部両方見えるようにするには工夫がある。本当にこんなもの見るのだろうか? しかも預け付けの裏まで・・・  
まさにお役所仕事 政府が自治体に丸投げの構図がよく見える。  
ほんまに給付金送ってくれるかなあ? 2重に送ってくれるでしょうか・・・



2020.5.19. 給付金 申請書  
いらぬぶつぶつ どうなるのやら・・・興味津々でポストに投函しました

なお、コロナの給付金 神戸はスピーディに送付が進み6月半ば給付されました。







2020. 5. 20. 旗振り山で 久しぶりに播磨灘に浮かぶ島々が遠望



2020. 5. 26. 布引の滝・雄滝



須磨離宮公園の春のバラ 閉園で今年はダメかと思っていましたが、やっと前日再開 間に合いました。2020.5.25.

◎ 2020. 6. 1. From Kobe お互いに接触しない生き方・暮らし方提唱 また安直な情報一辺倒?

やっとコロナ収束に向かって やっと一息。いかがでしょうか  
 一気にいろんな話がとびだしています。

今までにないお互いに接触しない生き方・暮らし方が広く提唱されています。

でもこれこそ弱い人間「ヒューマン」が幾多の困難を乗り越え、命をつないできた道ではないか・・・

■ NHK スペシャル視聴・購読メモ「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」

<https://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/iron8/1204human00.htm>

生活を変えよ! と今もてはやされている情報・AI・IT に頼り、万能と考える生き方が良いのか?疑問。  
 コロナ禍もそれらに助けられつつも また大きな問題を引き起こしていると。  
 同じ疑問を山際京大総長が継承として話しておられるのを知りました。

「ヒューマン」だけが有する行動機能「本能」と「表情・心」

相手を思いやる心なくしては 人は生き延びられぬと。

そんなことにも目をやる社会に変わってほしいなあ・・・と。

◎ 2020.7.10. 梅雨の末期 各地で集中豪雨災害 お見舞い申し上げます



コロナ禍がまたぞろ増加しだし、梅雨末期の集中豪雨毎日 うっとおしい曇天が続いていますが、いかがでしょうか  
 7月 梅雨末期の集中豪雨にコロナ禍 高齢者には命の危険を感じる厳しい時節  
 九州や岐阜・長野 各地で猛威を振るう集中豪雨 そしてじわじわ増えるコロナ禍  
 お見舞い申し上げます。

どうか無理せず 時には声出して助け合いながら御身をお守りください。

私の神戸でも 一昨日夜半の集中豪雨と風はすごかった。

スマホの防災情報・警報通知がひっきりなしで、  
 学校休校や一部崖崩れなどありましたが、  
 大きな被害なしでホッとしています。

本当にきびしいわが身の危険 ひしひしと。

加齢・病気・幾多の困難と闘っている仲間も気にかかる。

無理せず 時には助けも受けて スクラム組んで  
 今を元気に毎日を。

お互い無理せず 元気に前向いて God Be With You!!



新型コロナも峠を越して ホッと一息 でも収束には道半ば  
 油断は禁物 熱中症にもご留意を!!  
 God be with You!! from Kobe Mutsu Nakanishi

from Kobe 2020.7.10. Mutsu Nakanishi



【 From Kobe 2020 秋 】

2020.9.22.

真青な青空 秋の風

田圃には黄金色の稲穂がゆれ、畔を真っ赤な彼岸花  
素晴らしい秋景色 実りの秋 爽やかな秋の風を一杯吸い込んで



コロナ禍「3密」行動節制の中で From Kobe

高齢者の前症化 命の危機が我が身に迫る  
密閉・密接・密集の  
「3つの密を意識した自制の実践」  
「うつらない うつきない」  
マスク・手洗い・三密空間に近づかない  
仲間にも思いを馳せています



内閣は変わっても 期待の持てぬ仲間政治の継続  
新型コロナの収束は道半ば 生活・経済もへとへとに  
でも愚痴は言うまい 前向いての「3密」自製の毎日を

真青な青空 爽やかな秋の風 田圃には黄金色の稲穂がゆれ、畔を飾る真っ赤な彼岸花 素晴らしい秋景色  
でも コロナはなかなか収束せず、自制を強いられる毎日。年寄りには厳しい今年の秋になりました。  
なんとなく 仲間が気になり、人恋しい家籠り みなさまにはいかがでしょうか…  
安倍政権が倒れ、菅政権に。

でも何も変わらぬ仲間政治の継承。コロナに正面から向き合わず、発症者の増減ばかりに目を向け、「経済の再建・Goto トラベル」と叫ぶのが政府の行動アクションという無策ぶり。  
今はみんなが徹底した「3密自製」に注力しているが、若者を中心にこの「3密自製」が緩みだし、まるで政府はそれを後押ししているかに見える。

国会は政治の場じゃなくて、年寄りの「サロン」の場になり下がっている。

コロナ禍中の厳しい国内状況・国際情勢変化のなかで、年寄りの経験手法が立ち行かぬことが、こんなにはっきりしたのに、まだ出しゃばりの年寄り連中に政治を任せるとか??? もう飽き飽きしています。

「理念も創造もなく、美辞麗句・理解なき丸投げ政策が続く仲間政治」国難時代と言いつつ知恵も行動力もない仲間集めの仲間政治の継続まだ続けるのだろうか?

若者までもこの無責任な風潮に毒されて・・・ひそかに日本沈没が怒り寄る。

インターネット・テレビのニュースショー・NHKのニュースまでもが、芸能化して 正確に伝えることを忘れ、無責任な放言のたぐい。「赤信号みんなで渡れば怖くない」との自己弁護。口癖は「自己責任で」と。馬鹿の一つ覚え「なんでもかんでも デジタル・IT」

「今一度 みんな立止まって 自分の立ち位置 行く先を見直そう。」

管政権が誕生した9月17日朝の朝刊には そんな日本の危機感がにじみ出ている。

**でも 愚痴は言うまい。うまい空気を胸一杯 吸い込んで 気分も新らた God Be With You!! 朝が来れば「よっ」と元気に今を**

島国日本「同調圧力・科学的思考の欠如」美辞麗に隠された無責任さの中でフレッシュな若者たちの取り組みが日本の希望。藤井棋聖 抜群の“AI 脳”で2冠に！AIを超えた最善手！一気に形勢逆転

ほかにも若者たちが次々とAIを逆に自分の知恵・創生に

また、久し振りにお立ち台に立ったタイガースのベテラン糸井選手も

「あきらめるような日もあるけど そこは朝、よしって」と。

もう人任せはやめねばと自戒をこめて また、困難の中にある仲間思いを馳せつつ エールを送ります 仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌

みんなでスクラム組んで 元気に今を God Be With You!!

2020.9.20. 爽やかな秋の風を一杯吸い込んで

「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」

また、コロナ禍の中での四季折々の新しい発見 好奇心いっぱいのCountry Walk

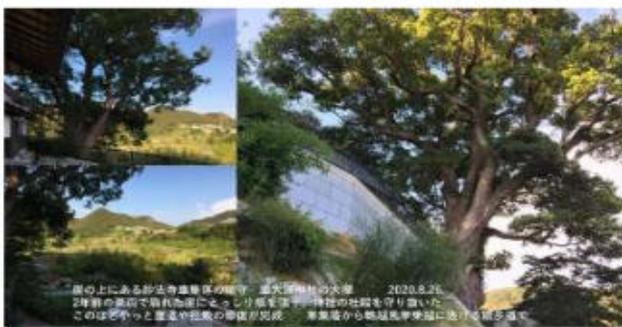
とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いて。

何かのお役に立てばと、季節の便り送ります。ありがとうございます

From Kobe Mutsu Nakanishi



2018年夏の台風でがけ崩れ  
崖にどっしり根を張り、社殿の倒壊を守り、  
また、崖崩れの道もやっと修復  
散歩の度に見上げては  
エネルギーをもらう大樹です



From Kobe 2020.9月 秋 コロナ禍の中での家籠り

収録 1. 新しく管内閣が発足した9月17日の朝日新聞長官が実に興味深い記事が躍っていました。まだ続く年寄り仲間うち内閣 もううんざり 朝日も皮肉つた紙面満載!

収録 2. 【参考】余計なお世話ですが、カード:ばかりに頼り、通帳記載せぬ危うさにご用心 ドコモ口座事件 一番わかりやすいと感じたインターネット解説 参考になれば ドコモ口座/ピニック拡大、他人事ではない「本当に怖い落とし穴」

鈴木貴博：百年コンサルティング代表 2020.9.18. <https://diamond.jp/articles/-/249070>

## 「知恵の学び・行動を軽んじ、自ら考えることを放棄し、 通信・情報・AI そのものに頼ろうとする」最近の風潮に疑問

お互いに接触しない生き方・暮らし方提唱 また安直な情報評価一辺倒？  
お互いがコンタクトし、表情を見て、相手の心と通じ合う」これがヒューマン

「お互いがコンタクトし、表情を見て、相手の心と通じ合う。」

これこそが弱い人間「ヒューマン」が幾多の困難を乗り越え、命をつないできた道

■ NHKスペシャル視聴・購読メモ「ヒューマン なぜヒトは人間になれたのか」

<https://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/iron8/1204human00.htm>

生活を変えよ! と今もてはやされている情報・AI・ITに頼り、万能と考える生き方が  
良いのか?疑問。

ヒューマン」だけが有する行動機能「本能」と「表情・心」

相手を思いやる心なくしては 人は生き延びられぬと。

そんなことにも目をやる社会に変わってほしいなあ・・・と。

From Kobe 2020.8月より

つい最近の囲碁本因坊戦を防衛した井山本因坊の記事や将棋の藤井棋聖の記事に  
下記見出しが躍っていた。

● 井山覚醒 最強挑戦者を圧倒 囲碁本因坊戦 柴野下し9連覇」

「実ったAI研究 [考え わかってきた]」

● 藤井棋聖の一手 「“AI対人”を超越した一番の例

「将棋ソフトが6億手を読んで到達した最善手」が話題 AIが進化しても「超えられない壁」

なにか「AIやインターネット・デジタル情報に勝る知恵はない」みたいな昨今に  
それを打ち破る知恵があるという。なにかホッと嬉しかった。

2020.9.20. From Kobe Mutsu Nakanishi

## 9月の涼風を呼び込んで 何もかもリフレッシュに!!

島国日本「同調圧力・科学的思考の欠如」美辞麗に隠された無責任さの中で

藤井棋聖 抜群の“AI脳”で2冠に! AIを超えた最善手! 一気に形勢逆転

ほかにも若者たちが次々とAIを逆に自分の知恵に AIを知恵の創生に

朝晩は涼しい秋の風

でもまだまだ暑い9月の始まり。コロナはなかなか収束せず、自制を強いられる毎日。安倍政権が倒れ、菅政権に。でも何も変わらぬ仲間政治の継承。国会は政治の場じゃなくて、年寄りの「サロン」の場になり下がっている。コロナ禍中の厳しい国内状況・国際情勢変化のなかで、年寄りの経験手法が立ち行かぬことが、こんなにはっきりしたのに、まだ出しゃばりの年寄り連中に政治を任せるのか・・・もう飽き飽き。

「理念も創造もなく、美辞麗句・理解なき丸投げ政策が続く仲間政治」

国難時代と言いつつ知恵も行動力もない仲間集めの仲間政治の継続まだ続けるのか?。若者までもこの無責任な風潮に毒されて・・・

ひそかに日本沈没が忍び寄る。

インターネット・テレビのニュースショー・NHKのニュースまでもが、芸能化して正確に伝えることを忘れ、無責任な放言のたぐい。

「赤信号みんなで渡れば怖くない」との自己弁護。口癖は「自己責任で」と。

「今一度 みんな立止まって 自分の立ち位置を考えよう。生きる道を」

菅政権が誕生した9月17日朝の朝刊には そんな日本の危機感がにじみ出ている。

馬鹿の一つ覚え「なんでもかんでも デジタル・IT」もう人任せはやめねばと

自戒をこめて 2020.9.20. From Kobe Mutsu Nakanishi

新しく菅内閣が発足した9月17日の朝日新聞長官が実に興味深い記事が躍っていました。  
 まだ続く年寄り仲間うち内閣 もううんざり 朝日も皮肉った紙面満載!!



**天声人語**

「政治は言葉のアートだと  
 言ったのは、コラムニストの故  
 天野祐吉さんだったか。きのう  
 首相に就任した菅義偉さんの言  
 葉は芸術からは遠いが、アート  
 には技巧の意味もある。官房長  
 官時代、批判を受けるたびに決まり文句  
 を繰り返していた▼(一)指摘はあたらない  
 「全く問題ない」との言葉はこれ以上話  
 す気はないというサインで、様々な場  
 で便利に使っていた。「肅々と進める」  
 は主に沖縄・辺野古への米軍基地移設の  
 話で用いられた▼強い反対にもかかわらず  
 ず始まった辺野古の埋め立て工事は、軟  
 弱地盤も見つかり大幅に遅れている。そ  
 れでも新首相は、官房長官時代の問答無  
 用の姿勢で工事を続けるつもりらしい。  
 総裁選で「見直す」の言葉は聞かれな  
 った▼世に飛び交う新首相のイメージに  
 は二面性がある。一つは雪深い秋田の出  
 身で地方のことをたいに思う政治家。  
 もう一つは、異論を差し挟むのを許さな  
 い冷徹な政治家、どちらが実相に近いの  
 か、沖縄への対応で分かる気がする▼菅  
 義偉には忘れてはいけない言葉がある。  
 戦後、米軍に土地を強制収用されて、基  
 地を押しつけられたのが普天間問題の原  
 点。そう訴えた沖縄県知事へのコメント  
 である。「賢明でない。戦後は日本全  
 国、悲惨な中で皆が大変苦労して平和な  
 国を築いた▼地上戦として米軍統治。  
 本土とは異なる沖縄の人たちの辛苦を思  
 い、問題に向き合った政治家がかつて  
 の自民党にはいた。新首相の師である  
 故郷山崎六さんその一人なのだ。」  
 2020・9・17

**毎日新聞デジタル 2020年9月17日 13時00分 山内真弓**

**安倍政権下で『情報は国民の持ち物』という意識が喪失した  
 安倍政権が残したものの挑むことを「ガー」視する不寛容な時代  
 政府側で情報発信もした下村健一さんが見たもの**

第2次安倍晋三政権下では、政策論争が軽視された。批判的な意見を「ガー」視する時代の空気を作った。2010年秋から約2年半、民主党（菅、野田政権）と自民党（第2次安倍政権の初期3カ月）の3政権で、首相官邸の情報発信に政府側で従事した元報道キャスターの下村健一さん（60）は、「安倍政権下で『情報は国民の持ち物』という意識が喪失した」と指摘する。

【山内真弓/統合デジタル取材センター】

——約7年8カ月続いた安倍政権は、社会にどんな影響を与えたのでしょうか。  
 ◆異なる意見に対するリスペクトが、喪失しました。政権運営という至難の業をこれだけ長く続けた労苦には敬意を表しますが、違う意見に対し、「自分たちの意見はこうなんだ」ともっと誠実に答え、議論をしてほしかった。  
 平行線や堂々巡りの時間を長くにとって「議論を尽くした」と言われても、本来は、議論をそらしていた時間は議論の時間に含めるべきではないので、カウントの仕方がおかしいですね。  
 よく野党やメディアは「説明責任」というワンパターンな言葉を使いますが、本質は「違う意見をリスペクトして議論する責任」。この喪失は、安倍さんの言動も残念ながらお手本の一つとなって、時代の空気としてまん延しました。  
 象徴的なのは、SNS（ネット交流サービス）に出現した「アベガー」という言葉です。  
 何でも「安倍が」悪い、という批判的言動を揶揄（やゆ）したのが語源ですが、「ガー」という雑音のような語感も安倍支持層のネット民に受けて広がりました。  
 以前は「●●ガー」なんて言葉、なかったですね。「異なる意見はただのノイズだ」という感覚。国民も、安倍政権の大臣や官僚たちの不誠実な回答を国会中継や記者会見で度々見ているうちに、「異論に対してはこうやってそらしていけばいいんだ」と慣らされてしまった。  
 もともと議論が苦手だった日本人が、ますます議論を軽んじ、そらすことを当然視するようになっていったら、これは政策の是非以前の問題です。

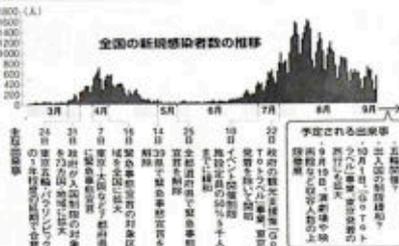
[https://mainichi.jp/articles/20200916/k00/00m/040/168000c?cx\\_fm=mailyu&cx\\_ml=article&cx\\_mdate=20200917](https://mainichi.jp/articles/20200916/k00/00m/040/168000c?cx_fm=mailyu&cx_ml=article&cx_mdate=20200917)

# コロナと経済両立は

「経済成長を維持しながら、感染症の蔓延を抑え、雇用を創出する。これが政府の目標である。しかし、そのためには、経済政策と感染症対策の両立が不可欠である。政府は、経済政策と感染症対策の両立を図る必要がある。」

## イベント制限緩和の〇〇〇東京追加

「イベント制限緩和の〇〇〇東京追加」は、政府が発表した新たな緩和策の一部である。これは、経済活動の再開を促進し、雇用創出を図るための重要な措置である。政府は、この緩和策を通じて、経済の回復を加速させたいと考えている。



### 五輪開催可否難しい判断

「五輪開催可否難しい判断」は、政府が発表した新たな判断である。これは、感染症の蔓延を抑え、経済活動を再開させるための重要な措置である。政府は、この判断を通じて、経済の回復を加速させたいと考えている。

### 追加対策 辞さぬ構え

「追加対策 辞さぬ構え」は、政府が発表した新たな追加対策である。これは、経済活動を再開させるための重要な措置である。政府は、この追加対策を通じて、経済の回復を加速させたいと考えている。

### 「トランプ大統領、同盟強化を楽しみに」

「トランプ大統領、同盟強化を楽しみに」は、政府が発表した新たな判断である。これは、経済活動を再開させるための重要な措置である。政府は、この判断を通じて、経済の回復を加速させたいと考えている。

### 「お友達を好ホスト」外交能力確保

「お友達を好ホスト」外交能力確保は、政府が発表した新たな判断である。これは、経済活動を再開させるための重要な措置である。政府は、この判断を通じて、経済の回復を加速させたいと考えている。

## SOBI証券 9864万円流出

### 顧客資金、偽口座に送金

「顧客資金、偽口座に送金」は、SOBI証券が発表した新たな判断である。これは、顧客の資金を偽りの口座に送金したことが明らかになった。政府は、この判断を通じて、顧客の資金を保護するための措置を講じている。

## ゆうちょ銀 被害181万円

### メルペイ、ラインペイでも

「メルペイ、ラインペイでも」は、ゆうちょ銀行が発表した新たな判断である。これは、メルペイやラインペイなどの決済サービスを通じて被害を受けたことが明らかになった。政府は、この判断を通じて、被害者の資金を保護するための措置を講じている。

銀行	被害額
ゆうちょ銀行	181万円
三菱UFJ銀行	1546万円
三井住友銀行	149万円
東京三菱銀行	49万円
りそな銀行	23万円
北沢銀行	1万円

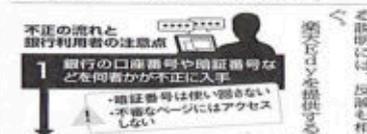
## ゆうちょ銀 VS 決済側

### 食い違う言い分

「ゆうちょ銀 VS 決済側 食い違う言い分」は、ゆうちょ銀行と決済サービス側との言い分が食い違うことが明らかになった。政府は、この食い違いを解消するための措置を講じている。

### 不正引き出し

「不正引き出し」は、ゆうちょ銀行が発表した新たな判断である。これは、不正な引き出しが行われたことが明らかになった。政府は、この不正な引き出しを防止するための措置を講じている。



### 口座連携確認窓口でも可

「口座連携確認窓口でも可」は、ゆうちょ銀行が発表した新たな判断である。これは、口座連携確認窓口でも不正な引き出しを防止するための措置を講じている。

### 被害に気づけば…通帳記入・明細確認を

「被害に気づけば…通帳記入・明細確認を」は、ゆうちょ銀行が発表した新たな判断である。これは、被害に気づいたら通帳記入や明細確認を行うことが重要である。政府は、この判断を通じて、被害者の資金を保護するための措置を講じている。

## SOBI証券 9864万円流出

### 顧客資金、偽口座に送金

「顧客資金、偽口座に送金」は、SOBI証券が発表した新たな判断である。これは、顧客の資金を偽りの口座に送金したことが明らかになった。政府は、この判断を通じて、顧客の資金を保護するための措置を講じている。

## ゆうちょ銀 被害181万円

### メルペイ、ラインペイでも

「メルペイ、ラインペイでも」は、ゆうちょ銀行が発表した新たな判断である。これは、メルペイやラインペイなどの決済サービスを通じて被害を受けたことが明らかになった。政府は、この判断を通じて、被害者の資金を保護するための措置を講じている。

銀行	被害額
ゆうちょ銀行	181万円
三菱UFJ銀行	1546万円
三井住友銀行	149万円
東京三菱銀行	49万円
りそな銀行	23万円
北沢銀行	1万円

**本人が全く知らぬ本人なりすましで銀行口座引き出し！  
そんなサイトが通信の中心に今も動いている。**

ドコモなど「本人が全く知らぬまま不正銀行決済が行えるドコモ口座など銀行決済サービス」の新規窓口を停止しないのか？本人確認があまりない決済サービスの査察をなぜしないのか？これって、ビッグデータと称してコロナ禍のターミナルの人物解析に知らぬ間にデータが使われたのと同じ。

通信業界では個人データの守秘義務など全くないかのような扱い。自己責任で通帳を自分で確認せよと。こりや大変だ。

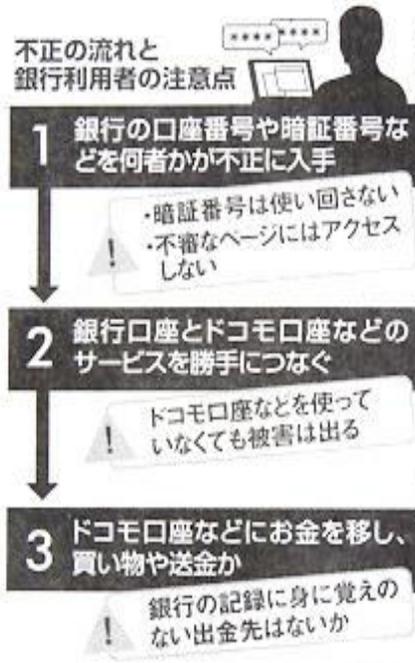
政府はデジタル庁作り、規制緩和をさらに排除し、遅れている通信技術の高度化取戻しを図るといふ。全く見当違い。通信お宅を気取って、本質を理解せず丸投げの政策手法の継続。理念・創造の先頭に立って進める政策論議からやらないとその差は広がるばかり。不思議と思いませんか？

日に日に状況変化 間違った受け止めあればお許しを Mutsu

**被害に気づくには…通帳記入・明細確認を**

ゆうちょ銀行被害181万円 SBI証券 9864万円流出  
メルペイ、ラインペイでも 顧客資金、偽口座に送金

ゆうちょ銀行 vs 銀行側 決済側  
食い違いう言いい分



●ゆうちょ銀行の口座の被害

決済サービス	件数	被害額
・ドコモ口座	82件	1546万円
・ペイペイ	17件	141万円
・メルペイ	3件	49万円
・ラインペイ	2件	49万円
・キャッシュ	3件	23万円
・ペイパル	2件	1万円
・支払秘書		「詳細を調査中」

※ゆうちょ銀行と連携しているが、被害が確認されていない決済サービスは次の通り。  
楽天Edy、PayPay、ゆめカード、ファミペイ、プリン

【参考】余計なお世話ですが、カードばかりに頼り、通帳記載せぬ危うさにご用心

ドコモ口座事件 一番わかりやすいと感じたインターネット解説 参考になれば

ドコモ口座/パニック拡大、他人事ではない「本当に怖い落とし穴」

鈴木貴博：百年コンサルティング代表 2020.9.18.

<https://diamond.jp/articles/-/249070>

## ◎ ドコモ口座不正引き出しが今までのサイバー犯罪と違う点

「ドコモ口座」不正引き出し事件のパニックが、静かに広がりつつあります。後述するように、事件の経済被害自体は銀行やドコモから見れば少額で、そのこともあって、被害者を全面的に保護し、被害を補償する方向で対応が進みつつあります。一方で、今回のドコモ口座事件には、これまでのサイバー金融犯罪と比較して大きく違う点があります。それは基本的に被害者がドコモと無関係の消費者だったことです。

これまで不正利用という、被害者は心当たりがあるケースばかりでした。たとえばクレジットカード被害に遭う場合、自分が持っているクレジットカードを誰かが不正に使うという被害だったので、明細書を見て使った覚えがない請求があったらそれに気づき、調査をかけてもらうことができました。

去年はセブンイレブンが導入したセブンペイで、今回とよく似た不正利用被害が起きました。ただ、この事件における被害者はあくまでセブンペイの口座を自分で開いた人で、その後犯人グループから勝手にパスワードの変更をかけられ、口座を乗っ取られたというケースでした。なので、被害者は被害に遭う「心当たり」があったわけです。

**今回のドコモ口座事件が怖いのは、被害者の大半がドコモユーザーではなかった点です。**

あるとき銀行通帳に記帳してみたら、ドコモ口座という身に覚えのないサービスから数度にわたって合計 30 万円が引き落とされている。慌ててドコモに問い合わせると、「そのドコモ口座はあなたの口座ではないので、情報を開示できない」と門前払いを食らわされる。事件が大きな社会問題になるまでこんなことが起きていたのです。

突然、通帳から大金がドコモに支払われて消えてしまう。

**訴えて口座を止めようにも対応してくれない——。銀行ユーザーから見れば対策のしようがありません。**

いったい何が起きているのか、パニックになるのは当然です。

1 つユーザーが安心できることは、9 月 4 日にドコモの丸山副社長に報告が上がって大問題になったことで、現在はドコモも責任を認め、過去に遡って全額補償を表明していることです。

昨年 5 月にりそな銀行で最初の事件が起きた際にはもみ消されたといえます。

その点では、これから先、万一被害に遭っても心遣いはいらなと思います。

一方で心配なのは、9 月 15 日の高市早苗総務大臣の記者会見において、**総務省管轄ののうち銀行にヒアリングをした結果、ドコモ口座以外にもペイペイなど 5 社で、即時振替サービスに関連した被害が起きていたことが公表されたこと**です。ドコモ口座と違って被害は一桁小さいとはいえ、ペイペイでは今年 1 月以降、17 件 141 万円の被害が報告されました。ドコモ口座の上限が 30 万円なのと比較して、ペイペイの場合は上限が低いため被害額は平均 8 万円と小規模ではありますが、被害者にとって甚大な損失であることには変わりありません。

## ◎ 銀行ユーザーにとっての「2 つの不安」

そうした状況下、一般の銀行ユーザーにとって心配なことは、以下の 2 点です。

(1) なぜこのような被害に遭うのか。

(2) このような被害がこれからドコモ以外で起きたときも、補償してもらえるのか。

この事件の最大の問題点と思われるのは、必ずしも銀行口座に元通りにお金が戻るとは限らないだろうということです。これから先も、おそらく違う形で似たようなサイバー犯罪が起きることは、まず間違いありません。

組織的な犯罪集団は常にイノベーションを図っていて、警察どころか銀行やドコモなどの決済サービス事業者を常に出抜く努力(?)を重ねています。彼らがセキュリティの穴を発見するたびに、何らかの不正事件がこれからも必ず起きます。そして、**ユーザーに対して犯罪が実行される条件としては、大半のケースにおいて、銀行やサービス事業者のセキュリティが甘いだけでなく、自分でも何らかのミスをしなければ、犯人グループはお金を盗むことができません**

(細かく言うと違うのですが、大半の場合についてはその通りのはずです)。

ここがポイントで、今回の事件も犯人グループがドコモ口座を開設してお金を吸い上げるために用いたログイン情報の大半は、被害者のミスで盗まれたと警察は見ています。

## ◎ 他人事ではない教訓 「なぜこんな目に遭うのか」

今回の事件において「なぜこのような被害に遭うのか？」について、解説したいと思います。

今回のドコモ口座事件では、第三者が自分の銀行口座のインターネットバンキングのログイン情報を不正に入手して、本人に成りすまして勝手にドコモ口座を開設し、銀行口座からドコモ口座に上限である30万円をチャージして使ってしまうという手口で、犯罪が行われました。

**その際に狙われたのは、ウェブ口座振替というサービスでの確認強度が弱い銀行でした。**

**具体的に言えば、口座番号、ログインパスワード、キャッシュカードの暗証番号4ケタ、この3つの情報さえあればドコモ口座に資金を移動できる仕組みになっている銀行が狙われたこととなります。**

逆に確認強度が強い銀行の場合、二段認証をしなければならないようになっています。

1. 本人しか持っていないワンタイムパスワードを発生させるトークンという機器を提供して本人認証
2. 口座開設時に登録した携帯電話宛にSMSでメッセージを送り本人確認を

このような強度の強い銀行は今回狙われなかったし、今後も狙われることは少ないと一旦は考えられます

(今後、犯罪グループも技術が向上していくので、慢心はよくないとは思いますが)。

では、犯人グループはどうやってユーザーの口座番号、ログインパスワード、キャッシュカードの暗証番号を盗んだのでしょうか。警察の話では、今回の事件の大半のケースでは、フィッシング詐欺が用いられたと見ているようです。

ご存じでない、ないしはお気づきでない方もいるかもしれませんが、

**プライベートでこんなメールが届くことはありませんか。「あなたの〇〇アカウントは一時的に停止しました」**

この「〇〇」は、アマゾンでも楽天でもLINEでも銀行でも、何でもいいのですが、とにかくあなたの何らかの口座に不正なアクセスと見られる動きがあったので、一時的にアカウントを停止しているという、一見親切なメールです。

**しかしこのメール、送り付けるのは大半の場合、犯罪グループです。**

メールの中で「アカウント停止の解除はこちらから」と書かれてあるリンクをクリックすると、そこが不正の入り口で、銀行の場合なら、本物の銀行のホームページそっくりの画面が表示されます。

そして、本人確認に必要な情報だとして口座番号、ログインパスワード、キャッシュカードの暗証番号を順番に入力していくと、「本人確認が完了しました。口座の停止を解除しました」といった、ユーザーを安心させるメッセージが表示されます。しかしそのときにはすでに、銀行口座の口座番号、ログインパスワード、キャッシュカードの暗証番号は、犯罪グループに盗まれているわけです。

このような罠を仕掛けなくても、リバースブルートフォースという手口のように、手当たり次第にログインIDと暗証番号を試す攻撃もあります。フィッシング詐欺に引っかかった経験がなくても、暗証番号やパスワードに簡単なものを設定している人は、このような攻撃に対して脆弱だと言えます。4桁の暗証番号 繰り返し入力するとどこかで当たる

## ◎ 第二段認証の壁がない「緩い銀行」が狙われた

口座情報を盗んだ犯人にとって難しいのは、ここからです。

大半の場合、個人の銀行口座にインターネットバンキングでログインしても、普通はお金を送金できない。

第二段認証の壁があるからです。

しかしときどき、そういった壁を越える必要のない新サービスが登場します。

ドコモ口座もその1つで、上限30万円までなら低いセキュリティで資金を移動できる銀行が何行もありました。

だから、その銀行の預金者が狙われたわけです。

ドコモ口座事件の被害者がある意味でラッキーだったのは、事件が大きな社会問題になった一方で、被害額が9月15日時点で143件、2676万円というレベルにとどまっている点です。

被害者にとっては平均17万円と大きな被害でも、ドコモのような大企業にとっては役員決裁で補償できるくらいの少ない金額です。だから、補償が決まるのもスムーズだったわけです。

さらに高額な不正事件が起きたら誰も被害を補填してくれなくなる？

しかし、もし将来別の事件が起きて被害件数14万件、被害額267億円などと高額になったら、話は変わってきます。

ドコモのミスや銀行のミスに加えて、被害者のミスも重ならないと事件は起きないため、関係者間で「被害額をどう分担するか」という話し合いが持たれるでしょう。

その場合、「そもそもパスワードを盗まれたユーザーの責任が一番重い」などと、大企業や銀行が主張することだって

あるかもしれません。それが裁判で争わなければいけない事態にまで発展すれば、弁護士を雇うお金もない被害者が一方的に不利になります。そんなケースも、これからは出てくるかもしれないのです。

今回の事件で私が一番気になったのは、銀行の当事者意識が低かったことです。

事件に関係した銀行幹部はドコモの会見に出席すらしません。背景を推察するに私たちが銀行のサービスを利用する際には銀行側からの確認事項に対して全て「同意」しているため、その後どのような事件が起きても、法的には自分たちに何の責任もないということがわかっているからでしょう。

しかし、だからこそこうした事件は、銀行にとっても危険なのです。

消費者が「IT が進化すればするほど、銀行にお金を預けておくと危なくなるんだ」と気づき始めるからです。

ドコモ口座事件は、ユーザーがそんなことを肝に銘じる最初の事件だったかもしれません。

(百年コンサルティング代表 鈴木貴博)

---

## よけいな世話ついでにもう一つ

◎こまめに銀行の預金通帳を記帳して、契約もしていない決済業者の引き落としがないか調べるしか銀行預金者側にはチェックするすべなし。

便利だとカードに頼り、預金通帳見ないで、カード引き落としやっているとかんな目にあうことになる。

また、ネット決済する人は2段階決済に慣れておくことねも大切か…

2段階決済のない業者は危ないかも…

◎「あなたの〇〇アカウントは一時的に停止しました」といったメールの類はしょっちゅうきています。

どこでもれているのか・・・漏れていると覚悟しておかねば・・・

また、暗号通信を示す URL の🔒マークも信用ならぬそうだ。

メール本文のリンク誘導 🔒マークあり信用して入力して引っかけたという例があると聞く。

2020.9.20. From Kobe Mutsu Nakanishi

【From Kobe 2020 秋 11月 コロナ禍の中で】 2020. 11. 1.  
コロナ禍の中で秋が猛烈なスピードで駆けてゆく 2020 秋 11月 季節の便り届けます  
愚痴は言うまい スクラム組んで笑顔で毎日を

●収録

収録 1 コロナ禍の中で見えてきたインターネット・通信にははびこる無責任

無責任な通信・SNSなどの通信仲介業に仲介責任がとえないのか・・・

収録 2 政権交代一か月 新聞等を読んで もう老練政治家から若者へ政治をわたしては・・・

老練が負け惜しみで口にするパワーも知恵も・スピードもそれに裏付けられた判断・直観力も  
若者はみんな持っている

コロナ禍の中で秋が猛烈なスピードで駆けてゆく 2020 秋 11月 季節の便り届けます  
愚痴は言うまい スクラム組んで笑顔で毎日を



街路樹が色付き始めた須磨妙法寺・名谷・高倉台ニュータウンの街で 2020.10月下旬



閉塞感漂う秋 薔薇の花とその香りに気分もリフレッシュ 明るくなりました

# From Kobe コロナ禍の中で秋が猛烈なスピードで駆けてゆく 2020 11 月の始まり

by Mutsu Nakanishi 2020.11.1.



木枯らし1号と共にすっかり色付き始めた街 学園都市・総合運動公園の散歩道で 2020.10.末

いまだコロナ禍収束せず、先が見えず不安が募る毎日ですが、相変わらず勝手気ままな風来坊 2020 年秋 秋晴れの空に街路樹も色付きはじめ、里は秋桜・そして秋のバラが秋を彩る。秋の味覚も届き 里では秋の収穫に忙しい。コロナ禍の中 秋が猛烈なスピードで駆けてゆくでも、祭りの便りや賑わいもなくなんとなく物足りない 11 月色鮮やかな大輪のバラの香りに一機こリフレッシュ



もう木枯らし 1 号が吹いたという 2020 年秋 11 月の始まりです

先の暮らしに不安は募りますが、愚痴はいうまい スクラム組んで笑顔で毎日  
政治は「AI・digital・改革・時代が変わる」と煽るが中身がない。現実に向き合わず、美辞麗句 決め文句は説明なき「自助努力」。理念も知恵もなき政治の空虚さに 未来への不安と行き場のない閉塞感に立ち尽くすコロナ禍の秋  
中身のないスピードなんて 何の助けにもならずと つい強がり口から出る。  
でも、良い悪いは別にして このコロナ禍から確実に社会は変わり、時代は変化するだろう。  
高齢者にとってはますます募る先の不安 でも仲間さえいれば乗り切れる  
年寄りの知恵がある 今まででもそうして、幾多の時代変化を乗り切ってきました。  
愚痴は言うまい God be with You!! スクラム組んで笑顔で今を

政治や情報に振り回されず、わが身の健康と仲間に感謝しつつ、毎日の時を刻む。

若者は生意気ぐらいがちょうどいい 年寄りには……

自分のことばかりを言っておれないのですが、好奇心と気力さえあればと

「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」

また、コロナ禍の中での四季折々の新しい発見 好奇心いっぱいの Country Walk

とりとめもないことばかりですが、好奇心あり 気力は気持ちだけになりましたが、前向いて。

コロナ禍の中での四季折々の新しい発見 好奇心いっぱいの Country Walk

とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いて

こんなコロナ禍の過ごし方もある何かのお役に立てばと。 ありがとうございます

2020.11.1. From Kobe Mutsu Nakanishi

収録1 コロナ禍の中で見えてきたインターネット・通信にははびこる無責任

無責任な通信・SNSなどの通信仲介業に仲介責任がとえないのか・・・

収録2 政権交代一か月 新聞等を読んで もう老練政治家から若者へ政治をわたしては・・・

老練が負け惜しみで口にするパフォーマンスも知恵も・スピードもそれに裏付けられた判断・直観力も若者はみんな持っている

収録1 コロナ禍の中で見えてきたインターネット・通信にははびこる無責任

無責任な通信・SNSなどの通信仲介業に仲介責任がとえないのか・・・

関西には下記のような巷で噂話を楽しむ空気がある。

「私 よう知らんけどな『 …… なんやて 』」

「ほう そうかいな」

「私に言うてもらっても困る。そやから よう知らんというたやん ごめん」

無責任やと思っても「しゃ～ないな」で済む

噂話の領域であれば、これで済むが、今の情報化社会ではこれで済まぬ時代に!! ご用心ください。

こんな噂話が前置きなしで、真実としてインターネット・SNSの世界で流布され、また、猛烈なスピードで拡散してゆく。それが今や社会や政治を動かす時代になってきた。

インターネット通販・広告 大量に送られてくるメール。なんせボタン一つで記事に同意とし、他の人に次から次へ回せる時代になっている。

無責任な噂話的な通信情報に閲覧側はまったく無防備。



いわゆるフェイクな情報が「真実」として乗ったために、知らぬ間に自己責任を背負われ、また拡散に一役買うことになる。こんな事例が急増している。

コロナ禍の中でインターネットと接する機会が多くなり、これらの情報に惑わされる事例が数多く見えてきた。苦々しく思うが、そんな事例に立ち向かう訴訟の事例が上記の新聞記事。

さあ どんな判例が出るのか 興味津々で眺めている。

何度も耳にするインターネットのSNSやポータルサイトなどの情報仲介サイトは「無責任にも、投稿された記事には すべて仲介では責任を負わないというのが基本姿勢。」

通販やサイトの紹介等々のビジネスがこんなに伸びている時代にある。

カード詐欺や過大広告とその逆評価宣伝等々 訴訟が起こり始めたが、しっかり画定された判例はいまだなし。

引かなかったものの自己責任 犯罪とされた例もある。

流布側が意図的にブロガーを集めて、SNS やインターネットに流すビジネス会社が幾つもあると聞く。

もう SNS は噂話・フェイクニュースの一言で済まぬ。流布にはそれだけの責任を持たねばと

私は思っている。一方、そんな場を無責任に提供した側のほおかむりも許されぬのが常識と。

政治家やリーダーの放言も大阪のおばちゃんの噂話ではない。だんまりで無責任で逃げ去ることはできない。

そんなスタートになればとこの訴訟を注視している。

まだまだ 自己責任のみが強調される時代 あまりにもスピードに乗せられぬようご用心



## 国民と向き合えぬ菅首相の所信演説

菅政権が発足して1か月、所信表明演説がおこなわれたが、コロナ禍の中、激変する社会の中で、あまりにもぼろが見える...

- 初の所信表明：菅政権、携帯値下げ急ピッチ 乗り換えに課題
- 人事で報復  
菅首相の「新自由主義」に潜む恐怖
- 菅首相「50年までに脱炭素社会実現」宣言 学術会議に触れず
- 実務型で「夢」がない？  
所信表明の単語分析で透けた本音
- 大事な説明を欠いている
- 説明しない菅政権  
その先にある「日本政治の中国化」
- 同調圧力・集団主義 頂点同調
- 官邸、6年前から学術会議選考に関心
- 志も理念もない人が増えた  
古賀・元自民幹事長が昨今の国会議員をう

「進める」「取り組む」「目指す」に終始 自ら指揮する姿勢が見えぬ強がりの表明人・モノ・カネ・組織・運営・指揮、そしてゴール 国民に響く結果の姿がない

縦割りの何一つ語らぬ今の会 頂点同調を求める日本の老練リーダーの姿そのものに見える 新聞・インターネットのサーフィンからわたし流に拾いました

学術会議問題 覆い隠す思惑か 2020.10.29. Mutsu Nakanishi

菅首相が所信表明演説で使用した単語と回数	回数		菅首相が1月の施政方針演説で使用した単語と回数	回数	
	単語	回数		単語	回数
進める	26		日本	24	
経済	19		世界	22	
改革	16		皆さん	21	
社会	16		社会	20	
実現	14		時代	19	
コロナ	12		支える	17	
取り組む	12		進める	17	
ウイルス	11		現実	16	
地方	11		我が国	14	
対策	10		新しい	14	
方々	10		世代	14	
デジタル	9		安全	13	
企業	9		強化	13	
行う	9		地域	13	
新型	9		企業	12	
世界	9		今	12	
全て	9		地方	12	
目指す	9		目指す	12	
			拡大	11	
			更に行う	11	
			国	11	

11月1日神戸新聞の朝刊にはこんなコラムが掲載されていました。

### 調平正

メモの日付は「4月23日」。耳にした感染症専門家の話が分かりやすかったので、書きとめた。「収束までの道のりで、今はどのあたりか？」と問われ、野球にたとえて答えていた◆「まだ一回裏です。一回表はウイルスの攻撃だった。その戦力を分析し、弱点を見つけ、反撃に入った一回裏です」。さらに続けて、「ただし試合は九回まであります」◆4月23日といえば、新型コロナウイルスの感染が急速に広がり、政府が緊急事態宣言を出した2週間ほど後だ。街を行く人は減り、シャッターだけが目についた。重苦しいあのころが一回裏なら、今は何回の攻防だろう。国内感染者が10万人を超えた◆秋が深まる北の国から、クラスターと呼ばれる感染者集団の報が伝わる。寒くなると部屋を閉め切って換気が悪くなる。それが大敵、という指摘も聞く。感染再拡大におびえる欧州の姿は決して遠い世界ではない◆政府の取り組みを検証した「コロナ民間臨調」の報告が忘れられない。死亡率などは抑えられた。しかし「場当たりの判断の積み重ねだった」。そして「今後危機管理がうまくいく保証はない」と断じた◆手洗い、マスク、3密の回避。選手は一生懸命なのに、ベンチの指示が的外れでは勝てる試合だって勝てない。 2020.11.1

2020. 11. 1. 神戸新聞朝刊より

予期せぬあまりの事態変化についてゆけぬ今の政治 経験則が通用せず、すり寄る官僚たちに丸投げの任せきり。任せきり。さあどう見ればよいのか.....  
おりしも 11月1日 大阪では大阪市解体の「都」構想を問う住民投票が行われている。  
大阪のひとたちはどう 判断するのでしょうか.....

コロナ禍のなかで またぶつぶつ勝手なことをほざいています。  
愚痴は言うまい 仲間さえいれば!! 何はともあれ、元気に今を!!  
2020. 11. 1. from Kobe Mutsu Nakanishi

【 From Kobe 2020 師走 12月 コロナ禍の中で 】

2020. 12. 5.

コロナ禍の3波が急速に拡大、出口が見いだせない中で一年が過ぎてゆく  
街も家中也「3密」自製のコロナに振り回された一年 師走の雰囲気もなし  
残念ながら神戸ルミナリエも中止、クリスマス飾りも控え目  
でも 神戸にはルミナリエに託した思いがふつふつと・・・

●収録

収録1 コロナ感染者急増の3波襲来の中で、もう一度基本を問い直おそう

コロナ禍2波がやっと峠を越えてほっと一息。  
みんなの「3密」行動節制が緩んで具体的な感染拡大の防止施策が示されぬ中で  
東京発信の樂觀情報 経済と感染防止両立の大キャンペーン go to travel  
これらが都市部の気のゆるみを誘発し、人の移動接触の急増を招き、  
3波襲来 感染の急拡大を招いている  
コロナ感染者急増の3波襲来の中で、もう一度基本を問い直おそう

今年一年 いろんな思いが駆け巡る師走 2020 12月 師走の神戸便り届けます



一年お付き合いありがとうございました  
また一年来年もよろしくご指導お願いします



新型コロナウイルスの猛威が止まらぬ師走 収束の道はみんなの願い・  
医療従事者の皆さんの寝食をいとわぬ対応で、なんとか持ちこたえている現状  
医療現場の皆さんへ ありがとう 御身も大切に!! がんばろう 日本!!

2020 紅葉 コロナ禍の中 色付きは遅れましたが、美しい景色が見られました

コロナ禍 行動自主規制の中 ほっと一息 丹波・但馬の山里の紅葉見物に



2020.11.27. 真っ赤に色付いた名谷ニュータウンの街で



但馬朝来市/丹波吉野の峰 栗鹿山 2020.11.17.  
但馬 朝来市与布土の郷より  
秋晴れの朝来市与布土の郷 但馬/丹波の境 栗鹿山の空に美しい翺雲 穴は開いてませんが…2020.11.17.



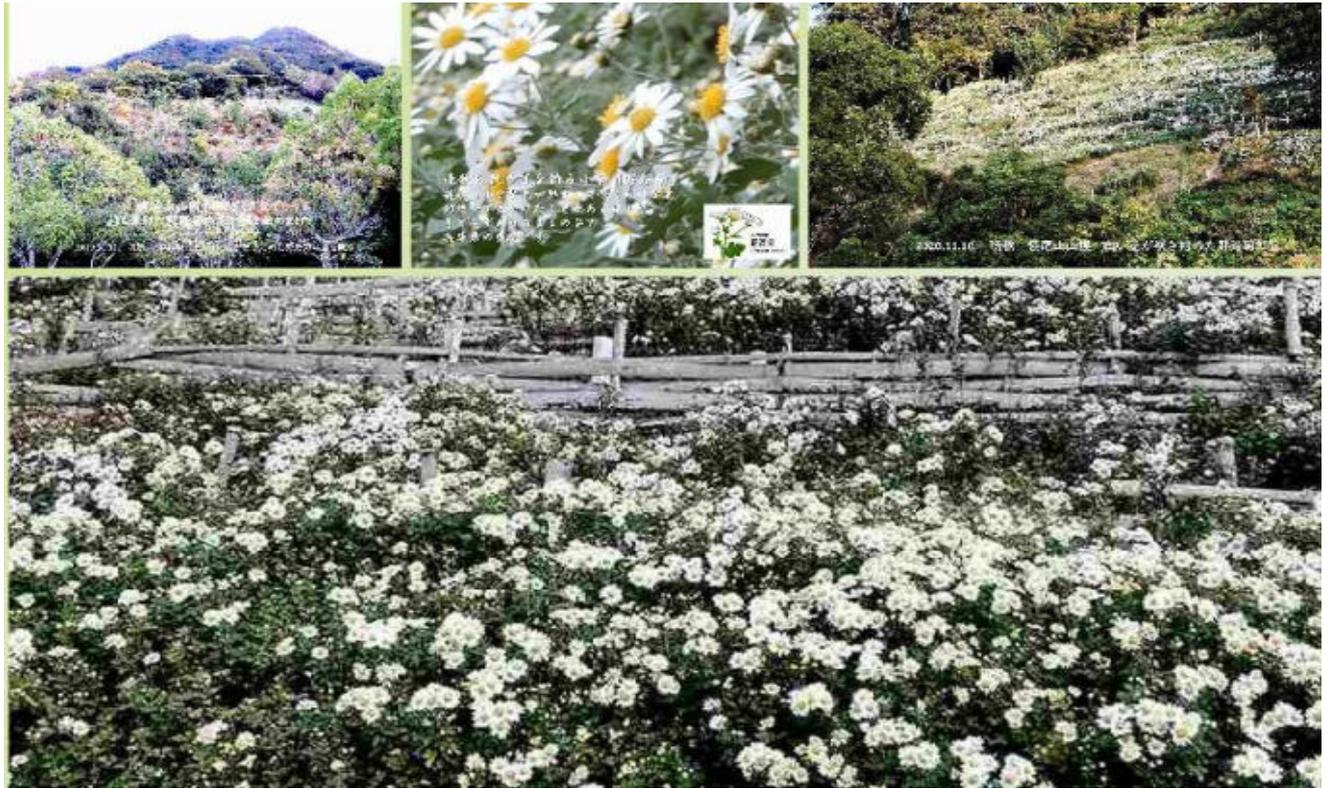
丹波の紅葉の名所 青垣 高源寺の紅葉 2020.11.17.



但馬朝来市 和田山中央文化公園 メタセコイアの並木道 2020.11.17.

## 私の秋送り 晩秋 11月の散歩道を楽しみしてくれる「野路菊」

「真実」との花言葉もあるが、どこにでもある花「気取らぬ身近な親しさ」の言葉が似あう  
思いもかけず、道ばたで見かけると思わず「よう!!」と近づき、なにかうれしい気分。



11月になって街の街路樹の木々もすっかり紅葉。毎日の散歩で見上げる横尾山の山腹野路菊の丘も白くなり始め、晩秋の街角や山裾の道端のあちこちで一塊になって白い小菊が咲く季節に。

横尾山山腹が真っ白になると毎年この横尾山山腹の「野路菊の丘」で眼下に見える西神戸の海や街を眺めながらこの一年を思い浮かべて、ひと時を過ごす。今年は仲間や知人の逝去が続き、思いもひとしお。毎年11月真っ白になった野路菊の丘ですごす晩秋 私の秋送り。毎年かかかせぬ機会です。

### ■ コロナ禍の中で home page 和鉄の道・Iron Road を振り返って

コロナ禍の中で過ごした一年 「3密」自己規制神戸籠りの中でアッと過ぎた一年でした  
今年は喜寿に 今できることを精一杯 あれも これもやろう……

でも、ほとんど県外へ出ることができず、また楽しみにしていた仲間との交流もなかなかできず。

特にこの11月は知人・仲間喪中の知らせが次々と届き、思いが次々と頭を駆けまわり、もう一度 元気な顔を見たかったと。丘に登って今年も逝った仲間の秋送りを済ませ、気持ちも区切り、元気に前向いてとカラ元気です。

### ■ home page も神戸籠りで たっぴり時間が来て、読み返し再整理に手を付け始めています。

一番はライフワーク「和鉄の道・Iron Road 日本の源流・和鉄探訪」

愛媛大村上教授グループ10数年にわたるプロジェクト「鉄の起源・ユーラシア大陸東遷の道探求」の報告を聴講させていただき、そのまとめ記録を掲載できたことで一区切り。ほっと一息です。

### ■ 次は個々バラバラに訪ねたたら製鉄探訪記の記事をどう整理するか……

絶滅を繰り返してきた多くの生物の中で 人類が生き延びてきた道が鉄と共に、

唯一人類だけが「相手を思う心」を持ち合わせにあったこと「ヒューマン」。

過酷な今の時代に人々が忘れ捨てようとしていることが、唯一人類が生き延びてきた道。

コロナ禍で壊れた社会の再建にそんな視点が無視されぬよう声を上げねば……と。

「鉄の惑星地球」産業の側面ばかりでなく、時代時代の中で人の営みに欠かせなかった「鉄」  
そんな視点で記事を掘り起こしてみたい。新しい時代感がみえるかも……………  
コロナ禍の中で、 そんな思いを広く伝えたいと。

また、重厚長大から情報・通信への時代変化と共に産業・社会を支えた鉄の影が随分薄くなっている。  
でも、このポストコロナの新しい時代に 必ずや鉄は新しい顔を見せ、新しい産業を生むに違いないと期待している。  
そんな鉄の姿も追ってみたい。

home page 「Iron Road・和鉄の道」に終止を打つことも視野に入れながら実現出ませんでした。色々考えたこの一年でした。本当に有難うございました。引き続き、ご指導のほどお願いします。

何はともあれ、近々の課題 早くコロナ収束の出口を見たい。行動自粛はもう本当にきついなあ・・・  
ワクチン開発が今一つ希望の出口。これもみんなに行き渡るようにと期待しています。

勝手なことをばつばつ 他意なく、好奇心のみ。もともと我慢が苦手。ますますわがままに。心せねば……と。  
「変えよう 変わろう でも変えてはならぬこともしっかりと」

健康でいることに感謝しつつ、知恵と判断力と行動力そして好奇心 この思いを失わぬようと。  
とりとめもないことばかりですが、気持ちだけは前向いと。

また、困難の中にある仲間思いを馳せつつ エールを送ります

仲間がいる 仲間の元気はみんなの応援歌

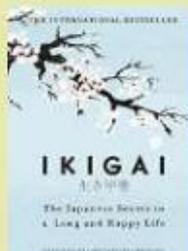
みんなでスクラム組んで 元気に今を

God Be With You!!

2020.12.5. 真っ青な空 近年にない暖冬 いつもの散歩を楽しみながら

From Kobe Mutsu Nakanishi

#### 【4】Cool Japan 今世界の若者が評価する日本 「IKIGAI」と「EMOJI」



#### 「IKIGAI」

#### 「EMOJI」

先日NHKBS 日本在住の外国人日本在住の外国の若者たちが、今の日本を評価し、話し合う番組「Cool Japan」を見ていて、驚いた。世界の若者が一番よく知り、評価しているのは「回転ずし」などとならんで、「IKIGAI」「EMOJI」だという。

「IKIGAI・生き甲斐」「EMOJI・絵文字」。今世界の若者はこの言葉をみんな知っているという。

ある若者は日本の面接試験で「あなたの生き甲斐は何ですか?」と聞かれて、目を白黒。答えられなかったと。

世界では「生き甲斐」やそれに類する言葉はないという。

ある日本在住の作家が日本で生き甲斐という言葉を知って、

日本の「生き甲斐」について解説した本「IKIGAI」を出し、世界でベストセラーになっているという。

番組で「自分の国にこのIKIGAIの言葉あるか」と聞かれ、一斉にみんなない。

でも「IKIGAI」の本はみんな知っている。目が白黒でした。

また、「EMOJI・絵文字」はみんなそのまま「EMOJI」で通用し、みんな使っているという。

その理由は世界の人たちが知らなかった価値観がそこにあり、みんな欲していたものだったと。

こんな素晴らしい価値があるとみんな驚き、共有できたから世界に広がったという。

「EMOJI」も同じ。メールやSMSなど その文面を見ても、全く感情が伝わらなかったのが、

いっぺんに見えなかった相手の表情や感情 伝えたかったことが文面から浮かんで来て、

瞬く間に世界のインターネットの世界に「EMOJI」として広がっているという。

日本というと半導体・ウオークマンなど冷たいハードが得意な国と受け取られていると思っていましたが、世界の若者たちはすでに日本の良さを世界標準に組み込みつつあると。日本観光のブームもこれなんだと。

予想もなかった日本のCOOL JAPANにびっくりしました。

これこそ今一番世界に求められている「他人を思いやる心」日本が誇る多様性文化の賜物。

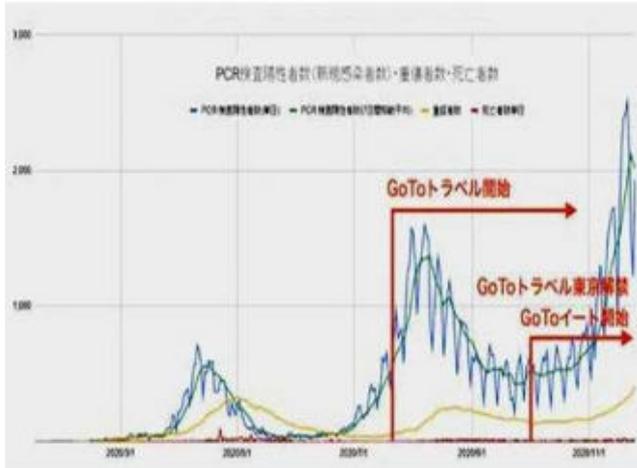
そして、はっと気が付く。日本の若者もそんな日本の良さを自分なりにくみ取り始めている。

無味乾燥のデジタル・情報の社会をソフトで温かい自分の世界に変えている。

コロナ後の新しい時代は若者たちに任せて、年寄りには主役を降りてフォローに  
高度成長時代のごとくそれこそ「やってみなはれ!!」と。

●収録 収録1 コロナ感染者急増の3波襲来の中で、もう一度基本を問い直そう

コロナ禍2波がやっと峠を越えてほっと一息。  
 みんなの「3密」行動節制が緩んで具体的な感染拡大の防止施策が示されぬ中で  
 東京発信の楽観情報 経済と感染防止両立の大キャンペーン go to travel  
 これらが都市部の気のゆるみを誘発し、人の移動接触の急増を招き、  
 3波襲来 感染の急拡大を招いている  
 コロナ感染者急増の3波襲来の中で、もう一度基本を問い直そう



この冬第3波 自衛のための  
コロナ禍対策

2020.12.3.NHK朝のニュースより

我々が頑張らねばならぬことが、解りやすく解説  
 されていましたので、ご参考になれば

1. 街で 3密を避ける飛沫対策と換気  
 主役は飛沫 接触感染は脇役  
 家族以外とマスクのない顔を近づけた  
 会話・食事を避ける
2. 家で  
 ●外から家に帰った時の1回を大切に  
 家の全員がウィルスを持ち込まない対応  
 ●手洗いが最重要  
 家の全員がやるのがこの冬の感染対策

老いも若きも みんなの自制で  
 このコロナ3波を食い止めよう  
 God Be With You!!  
 がんばろうKobe! がんばろう日本!  
 2020.12.3. From Kobe

新型コロナウイルスの猛威が止まらぬ師走 収束の道はみんなの願い・  
 医療従事者の皆さんの寝食をいとわぬ対応で、なんとか持ちこたえている現状  
 医療現場の皆さんへ ありがとう 御身も大切に!! がんばろう 日本!!

コロナ感染者、指数関数的に増加 「8割おじさん」が著書出版

11/25(水) 17:09 配信 99 KYODO



インタビューに答える  
 宇野浩二の著書 著者

新型コロナウイルス拡大防止策として人の接触8割減を提言し「8割おじさん」として知られる西浦博・京都大教授が、これまでの取り組みを振り返る著書「新型コロナウイルスからのいのちを守れ!」(中央公論新社)を来月出版。25日に報道各社のインタビューに応じ「都市部で感染者が指数関数的に増加している」と述べ、現状に懸念を示した。

西浦氏は感染症の数理モデルが専門。菅先の第1波の際、厚労省クラスター対策班のメンバーとして接触を約8割減らせば止めをかけられると試算した。現在の状況は、第2波と比べ増加スピードが速いと指摘。「政策として責任を持って接触の削減をやらねえといけな」と語った。

インターネットより 2020.11.26.



1・2波と3波の感染者状況で 一番の違いは、都市の巷に数多くの感染者を残したままで対策が打たれなかったこと。  
「若者は重症化せずに回復するので、若者対策に目を向ける必要はなし。

また、1・2波の経験から、治療法がかなりわかってきたので、急速な重症化防止・回復治療法が病院にノウハウとして蓄積され、誰いとはなしに、本当はインフルエンザ並みの怖さなんだ」とわけのわからぬ発信。  
専門家が言うならばまだしも、わけのわからぬか TV コメントーターや都合の良い解釈しかしない政治家が乗っかり、「経済の立て直しとの両立。経済再建のため、人の動きの活発化こそ今必要なんだ」と「Go to Travel」へと突き進む。何の根拠もなしに、峠を越えたとお題目のごとく「3密」自制を唱得ながら、患者数集計とその発表にのみに走る。これは、3波の今の街の状況が1・2波の状況と全く違うことを全く理解せず、対策もなおざりのままコロナは収束に向かうとの論である。

大丈夫と動き出し、その後の状況は一変。コロナ感染は都市部を中心に急拡大し、指数関数的な急増を続け、治療に当たる関係者の努力ににもかかわらず、患者数は増え続け、病院はもうパンク寸前に。

1・2波と3波との決定的な違いは下記の通りで、もう現状で1・2波のごとく、クラスターをあぶりだし、感染者を隔離できなくなっている。3波では市中に感染者が多数いるのである。このことを誰も指摘しない。もうびっくりだ。

◎ この第3波では、感染した人の感染源・クラスターが半分近く不明。

多くの感染者が街に残っていることを示し、クラスターを今や追いきれなくなっている。

仕方なしとでもいうか、クラスター撲滅に必死になった1・2波の状況と全く違う。

1・2波の時には町からほぼクラスターが隔離一掃されていた。

しかし、今は街中で、職場で ちょっと「3密」が緩めば感染の危険は急拡大。そしてそれが家まで持ち帰られる。そんな構図が見えている。

◎ 東京や都市圏のPCR検査の急増そのものは感染者発見に極めて有効。

しかし、発見された感染者の隔離処置は極めてあいまいという。若者は厳しい隔離・治療せずとも直るのだという。そんな感染者が2次・3次感染者とともに街にどんどん増えている。

現に、家庭内感染・職場感染など「3密」対策の抜けたところでの感染がそれを示している。

◎ 感染した若者もまた隔離管理しなくてはならないのだ。

都市の巷では みんながみんな感染キャリアーになって、指数関数的な感染者数増大を招いている。

こんなことをいうと、それこそ病院崩壊やと批判を受けそうであるが、今それをクリヤーにしておかないと、都市封鎖・経済崩壊の道しかない。感染者はいわゆる2週間隔離の徹底は本人の意思・重要性認識があればやれるはず。少なくとも行動規制と自己隔離の認識場で切ると思うのですが……

そもそもGo to Travel は感染が収束に向かい、落ち着いた中で行われるべき施策であったはず。

でも、経済再建優先の錦の御旗で、停止されず、人の動きは節制から解放されたように活発化。

一機に感染者急増へ。それでも停止せず、的外れな「年寄りと疾患のある人のみ動くな」と。

本末転倒ではないか……

なにひとつコロナ撲滅策を講ずることなく、ただひたすら、個人の自制に頼り、ワクチン開発をまつ。

これが日本の頂点同調、トランプと同じスタイルだ。

根幹となる感染対策に目を向けず、一方的に経済的理由最優先で、一番の感染拡大誘発要因「人の動きの活発化」を進める施策。愚策と言わざるを得ない。全く自分に都合のいいことにしか目を向けぬ発信・政治家の不勉強が露呈したコロナ対応。

では、我々はどうすればよいのか……

巷の愚策に惑わされず、まだまだ、先の見えぬ厳格な「3密」自制と家籠りの城をしっかりと守らねば……

救いは明かりの見てきたワクチン 日本は相当数の開発ワクチンを確保しているという。

まあこれは、政府の唯一のヒット施策と言えるようになるかもしれない。

1・2波の感染防止対策のリーダーで、なぜか新政権の対策会議メンバーから外された感染拡大予測シミュレーションの専門家 西浦元北大教授(現京大教授)の3波の現状を見る視点が新聞に掲載されていたので転載。

今もしっかりしたばれない視点だと思います。

# コロナ感染者、指数関数的に増加 「8割おじさん」が著書出版

11/25(水) 17:09 配信 99



インタビューに答える  
京都大の西浦 博教授

新型コロナ拡大防止策として人の接触8割減を提言し「8割おじさん」として知られる西浦博・京都大教授が、これまでの取り組みを振り返る著書「新型コロナからいのちを守れ！」（中央公論新社）を来月出版。25日に報道各社のインタビューに応じ「都市部で感染者が指数関数的に増加している」と述べ、現状に懸念を示した。

西浦氏は感染症の数理モデルが専門。春先の第1波の際、厚労省クラスター対策班のメンバーとして接触を約8割減らせば歯止めをかけられると試算した。現在の状況は、第2波と比べ増加スピードが速いと指摘。「政策として責任を持って接触の削減をやらないといけない」と語った。

インターネットより 2020.11.26.

## この冬第3波 自衛のための コロナ禍対策

2020.12.3 NHK朝のニュースより

我々が頑張らねばならぬことが、解りやすく解説されていきましたので、ご参考になれば

1. 街で 3密を避ける飛沫対策と換気  
主役は飛沫 接触感染は脇役  
家族以外とマスクのない顔を近づけた  
会話・食事を避ける
2. 家で  
●外から家に帰った時の1回を大切に  
家の全員がウィルスを持ち込まない対応  
●手洗いが最重要  
家の全員がやるのがこの冬の感染対策

老いも若きも みんなの自制で  
このコロナ3波を食い止めよう  
God Be With You!!  
がんばろうKobe! がんばろう日本!  
2020.12.3. From Kobe

新型コロナウイルスの猛威が止まらぬ師走 収束の道はみんなの願い・  
医療従事者の皆さんの寝食をいとわぬ対応で、なんとか持ちこたえている現状  
医療現場の皆さんへ ありがとう 御身も大切に!! がんばろう 日本!!

